

令和元年度

杉並区教育

令和元年7月



杉並区教育委員会

はじめに

杉並区教育委員会は、平成24年3月に本区の目指す教育を実現するための指針として「杉並区教育ビジョン2012」を策定し、その具体的な道筋となる「杉並区教育ビジョン2012推進計画」を定め、計画的な取組を進めております。

本年5月に、次年度から順次全面実施となる新学習指導要領への対応を含め、教育ビジョンの目標の実現に向けた最終段階における取組を推進するため、昨年11月に改定された「杉並区総合計画」等との整合を図ったうえで「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の改定を行い、令和3年度までに取り組むべき内容を明確にしました。

今年度の主な事業としては、就学前教育分野では、区内全ての就学前教育施設（保育所、幼稚園等）に対する教育的支援を総合的・一体的に展開する拠点となる就学前教育支援センターを9月に開設するほか、就学前教育施設と小学校との交流・連携を小学校全校に拡大します。

学校教育分野においては、小学校における外国語教育の教科化への対応など、令和2年度から順次全面実施となる新学習指導要領への更なる準備を進めます。また、子どもたちに望ましい教育環境を提供するための取組として、区内で2校目となる高円寺地域の施設一体型小中一貫教育校の開校に向けた建設工事を着実に進めるとともに、富士見丘小学校・富士見丘中学校の一体的整備に向けた基本設計・実施設計、杉並第二小学校の改築に向けた基本設計に着手します。更に、タブレットパソコンの配備を計画的に進めるほか、特別教室や体育館への空調設備の設置を順次進めていきます。

このほか、生涯学習分野では、民間事業者や科学教育団体などとの連携・協働による次世代型科学教育を推進するとともに、中央図書館の大規模改修や（仮称）永福三丁目複合施設として移転改築する永福図書館の建設工事に着手するなど、図書館サービスの充実を図る取組を進めます。

本書は、こうした本区における教育行政のあらましをご紹介するために発行するものです。具体的な計画事業を掲載する「杉並区教育ビジョン2012推進計画」（令和元～3年度）と合わせてご覧いただくことで、本区が取り組んでいる様々な教育施策・事業への理解を深める一助となれば幸いに存じます。

令和元年7月

杉並区教育委員会

目 次

I 教育委員会	移動教室	47
	○移動教室	47
1. 共に学び共に支え共に創る 杉並の教育の実現に向けて	3. 学校教育の充実	
1. 杉並区教育ビジョン 2012	切れ目のない教育	48
2. 杉並区教育ビジョン 2012 推進計画	○小中一貫教育	48
	○ [*] 就学前教育	48
2. 教育委員会	○幼保小連携教育	49
教育委員会の制度と仕組み	○就学前教育支援センターの開設準備	49
教育委員会の活動	○学力向上の支援	49
	○パワーアップ教室	50
3. 教育委員会の組織	○体力向上の支援	50
組織機構図	○オリンピック・パラリンピック教育の推進	50
職員現員数	○防災教育	51
分掌事務	○中学生レスキュー隊	51
	○社会とかかわる力を育む教育の推進	51
4. 教育予算	○フレンドシップスクール	52
予算の概要	○特色ある学校づくりの充実	52
主な事業とその内容	○危機管理体制の強化	52
	学校の経営力・教育力	53
5. 教育機関環境方針	○指導教授・教育指導教員の配置	53
	○教員研修の活性化と授業力向上塾の運用	53
6. 教育委員会の刊行物	○学校司書の配置	53
	○区費教員の効果的な活用	53
	○補助教員の活用	53
II 学校教育	○学校法律相談の実施	53
1. 区立学校の概要	○部活動の支援	54
児童・生徒・園児数、学級数	○区内都立学校との連携協働	54
区立学校等の施設規模	○学校評価	54
特別支援学級	○教員の働き方改革の推進	54
特別支援学校	個に応じた学び・成長	55
	○特別支援教育	55
2. 学校生活	○特別支援学級（知的障害）の整備	56
就学事務	○学習支援教員の配置	56
○区立小・中学校への入学	○副校長校務支援員の配置	56
○区立子供園への入園	○教育 SAT	56
○特別支援学級・特別支援学校への入学	○教育相談	56
○区立小・中学校における外国人就学数	○スクールカウンセラーの配置	58
及び帰国児童・生徒数	○いじめ対策	59
○通学路の設定等	○不登校対策	60
就学奨励	○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置	60
○就学援助費の支給	○新就学児童の発達障害支援	61
○特別支援学級等就学奨励費の支給	○健康教育・健康相談	61
○私立幼稚園等への助成	○食育の推進	61
○区立子供園の保育料の減免	○アレルギー対策の推進	61
○奨学金の貸付	○30人程度学級	61
学校保健	○帰国児童生徒等への訪問指導・補充指導	62
○環境衛生	○次世代育成基金を活用した体験交流事業	62
○健康診断	家庭・地域・学校の協働	62
○独立行政法人日本スポーツ振興センター	○新しい学校づくり	63
災害共済給付事業	○地域運営学校（コミュニティ・スクール）	64
学校給食	○学校評議員	65
○学校給食の推進	○学校支援本部	66
	○学校活動の支援	67

ご利用にあたって

◆特に記載がない場合は、平成31年4月1日現在の内容です。

◆*施設名は「就学前教育支援センター」、担当する所管（組織名）を「(仮称)就学前教育支援センター開設準備担当」と表記しています。

○PTA 活動の支援	67
○家庭教育の支援	68
○青少年委員	69
○地域教育連絡協議会	69
○地域教育推進協議会	69
○子どもの居場所づくり	69
学校教育環境の整備	70
○区立小・中学校の改築	70
○学校教育諸施設の整備充実	70
○空調設備整備	71
○エコスクールの推進	71
○杉並第一小学校長寿命化対策	71
○学校 ICT の推進	71

4. 済美教育センター

済美教育センターの概要	72
教育・保育活動の支援	72
○済美教育センターの主な事業	72
研究・研修の充実	73
○教育課題研究指定校・園の指定、自主研究の奨励	73
○杉並区教育委員会が主催する研修一覧	76
○教育図書館	78
○教科書センター	78

III 社会教育

1. 社会教育の推進

生涯学習の支援	80
○生涯学習振興室	80
○生涯学習活動の指導者傷害保険	80
○社会教育事業への支援	80
○区内大学等との連携協働事業	80
○小学生名寄自然体験交流	81
学校施設の開放	81
○遊びと憩いの場の開放	81
○登録団体への開放	81
○プール開放	81
文化財の保護	84
○文化財の指定・登録	84
○文化財の保護・奨励	84
○文化財の調査	85
○埋蔵文化財の調査	85
○文化財保護ボランティア	85
○文化財案内標示板等の設置	85

2. 社会教育センター

社会教育センターの概要	86
○情報資料コーナー	86
○団体交流室	86
成人学習支援	87
○学級・講座・講演会等	87
○すぎなみ大人塾	88
○すぎなみ社会教育セミナー	89
○区民企画講座	89
○広報すぎなみ～なかま集まれコーナー	90
社会参加支援	90

○にほんご教室	90
○済美日曜教室	90
芸術・文化活動	90
○杉並区総合文化祭	90
○ユネスコ活動	91
団体育成等	92
○文化団体等の助成	92
○社会教育団体の支援	92
○社会教育活性化支援プログラム	92
次世代型科学教育の推進	93
○移動式プラネタリウム上映会	93
○移動式天文台車「ポラリス2号」による観望会	93
○科学巡回展示	93
○展示「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」	93
○すぎなみサイエンスフェスタ	94
○サイエンスワークショップ・科学講演会	94
○フューチャーサイエンスクラブ (FSC)	94

3. 郷土博物館

郷土博物館の概要	95
郷土博物館の事業	96
郷土資料展示室	98
○西田小学校郷土資料展示室	98

4. 図書館

図書館の概要	99
蔵書	100
貸出	101
図書館の整備	102
図書館の情報化推進	102
図書館のサービス機能	102
一般向けサービス	103
○レファレンス（調査・相談）サービス	103
○図書サービスコーナー及びふれあい図書室	103
○区内大学図書館等との連携	104
○図書館の行事活動	104
○視聴覚サービス	104
障害者向けサービス	105
○障害者サービス	105
児童向けサービス	105
○地域・家庭文庫の育成	105
○ブックスタート	106
○子ども読書活動推進計画	106
図書のリサイクル	106

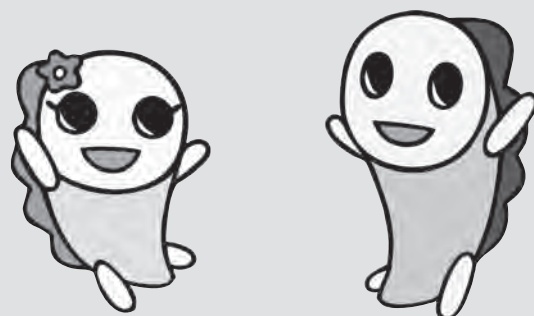
IV 教育委員会の附属機関

1. 杉並区いじめ問題対策委員会	108
2. 社会教育委員	109
3. 文化財保護審議会	110
4. 郷土博物館運営協議会	111
5. 図書館協議会	112

教育施設の一覧	113
---------	-----

さくいん	115
------	-----

I 教育委員会



1. 共に学び共に支え共に創る 杉並の教育の実現に向けて

1. 杉並区教育ビジョン2012

教育委員会では、平成24年度からの10年間における、杉並の目指す教育を実現するための指針となる「杉並区教育ビジョン2012」を、平成24年3月に策定しました。

また、この「杉並区教育ビジョン2012」は、平成27年5月に開催された杉並区総合教育会議において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第一項規定に基づき区長が策定する大綱に位置付けられました。

(1) 目指す教育

共に学び共に支え共に創る杉並の教育

生涯にわたり、誰もが共に学びあい、そして支えあって、明日の杉並を創り出せるよう、人々が世代を超えて共感し響きあえる「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」を目指します。

(2) 目指す人間像

- 夢に向かい、志をもって、自らの道を拓く人
- 「かかわり」を大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人

【育みたい力】

- ① 自分の持ち味を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動する力
- ② 変化の時代をとらえ、たくましく生きる心と体の力
- ③ 豊かな感性をもち、感動を分かちあう力
- ④ 他者の存在を認め、多様な関係を結ぶ力
- ⑤ 持続可能な社会を目指し、次代を共に支えていく力

(3) 目標達成に向けた取組の視点

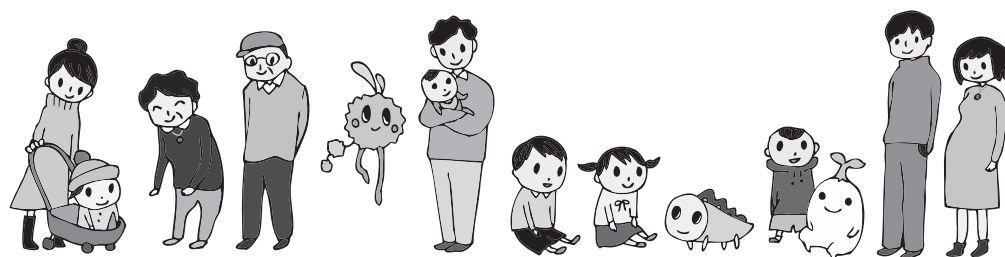
- ① 「学び」と「循環」の重視
誰もが主体的に学び、その成果が継承・発展・循環できる環境
- ② 「連続性」と「きめ細かさ」の重視
生涯を通した学びの連続性と成長・発達に応じたきめ細かな支援
- ③ 「かかわり」と「つながり」の重視
家庭・地域・学校のかかわりとつながりを重視した教育

(4) 取組の方向

- ① 子どもの豊かな人間性を育てる、より質の高い学校づくりを進めます
- ② 家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育を進めます
- ③ 地域と共に歩む「新たな公共空間」としての教育基盤を整えます
- ④ 生涯にわたる豊かな学びや文化・スポーツ活動等を通じ、誰もが輝く地域づくりを進めます

(5) 目標実現に向けて

- ① 家庭・地域・学校それぞれが、教育の重要な担い手として（誰もが主役）
誰もが教育ビジョン2012を共有し、共に取り組むことで、目標を実現します。
- ② 協働の拡大と地域コミュニティの形成による教育の展開へ（まちが育てる）
教育の最大の基盤ともいえる地域コミュニティの形成に努めます。
- ③ 行政の横断的な連携を深めた施策の展開で
関連部局との横断的な施策の展開に努めます。
- ④ 教育ビジョン2012の計画的な推進に向けて
教育ビジョン2012推進計画を策定し、目指す教育を計画的に推進します。

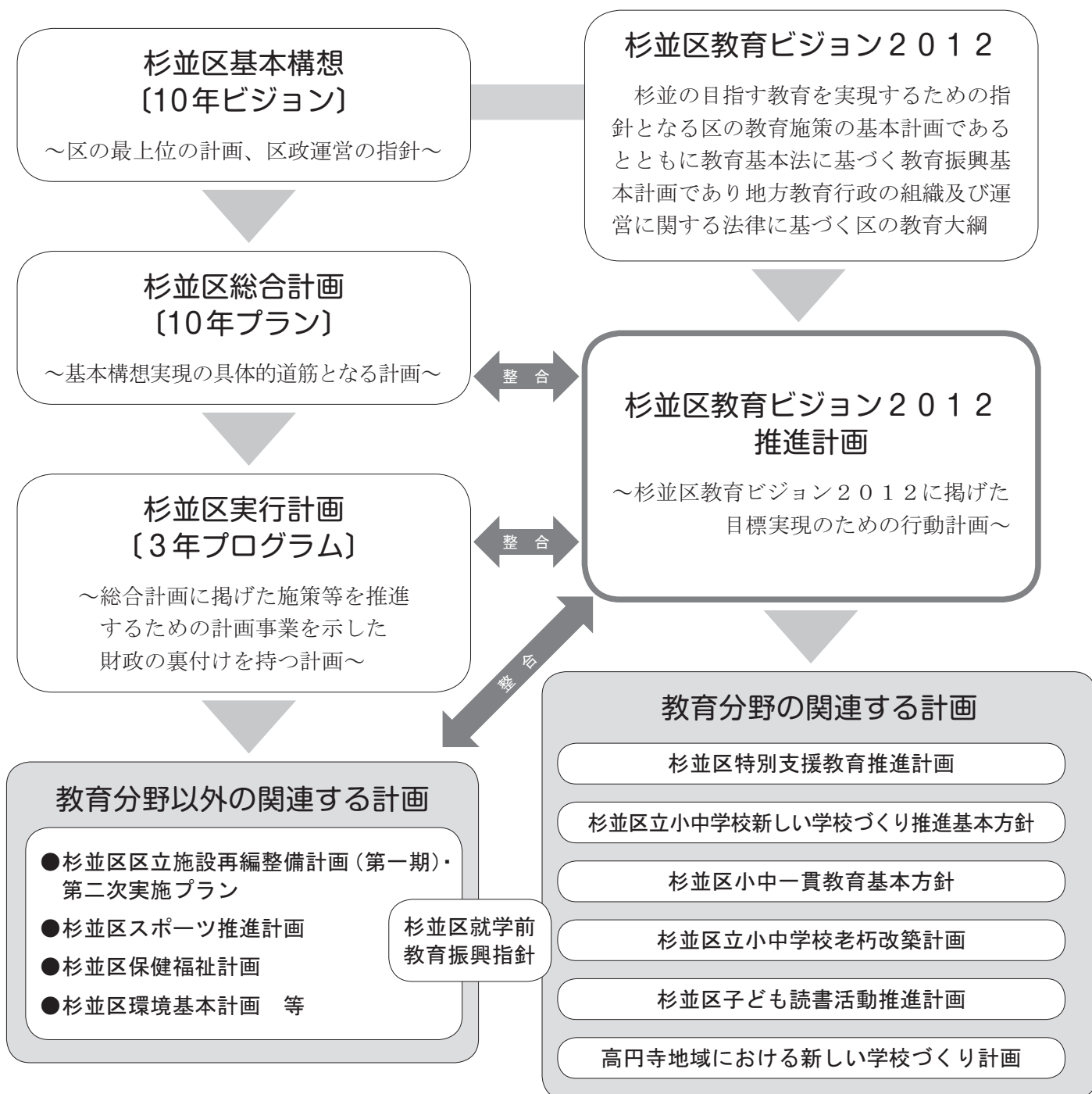


2. 杉並区教育ビジョン2012推進計画（令和元～3年度）

「杉並区教育ビジョン2012」に掲げた目標実現のための行動計画として、区の「杉並区総合計画」、「杉並区実行計画」や関連する計画と整合を図った教育の分野別計画である「杉並区教育ビジョン2012推進計画」（平成29～31年度）を定め、各取組の推進に努めてきました。

令和元年5月には、令和2年度から順次全面実施となる新学習指導要領への対応を含め、教育ビジョンの目標の実現に向けた最終段階における取組を推進するため、平成30年11月に改定された「杉並区総合計画」等との整合を図った上で、令和元年度から3年度までの3年間の計画期間として、計画を改定しました。

杉並区教育ビジョン2012推進計画の位置付けと関連する計画



【計画の体系】	ページ	本書における表記
目標1 学びをつなげ、切れ目のない教育を進めます		
1 小中一貫教育の推進		
小中一貫教育のカリキュラムの活用・改定、補助教材の作成	P48	すぎなみ9年カリキュラム
教育課題研究の実施	P73	
杉並区小中一貫教育基本方針の改定	検討	
2 就学前教育の充実		
(仮称) 就学前教育支援センターの整備・運営	P49	
就学前教育研修の実施	P76, 77	幼児教育研修、区立私立保育共同研修、幼児期の特別支援教育研修
幼児教育に関する調査・研究の実施	P49	
教育課題研究の実施	P73	
杉並区立子供園「育成プログラム」の活用	P48	
幼保小連携推進校の指定	P49, 74	
3 学力・体力向上の支援		
外国語教育の充実	P49	
I C Tを活用した学力向上のための教育課題研究の実施	P73	
プログラミング教育の実施	P49	
中学生パワーアップ教室の実施	P50	
小学生パワーアップ教室の実施	P50	
体力づくり教室の実施	P50	
4 防災教育の充実		
震災時対応マニュアルの配布・活用	P51	防災マニュアルミニブック
学校安全に関する研修の実施	P51	
中学生レスキュー隊の編成	P51	
体験型防災教育の実施	P51	
5 社会とかかわる力を育む教育の推進		
フレンドシップスクールの実施	P52	
職場体験学習の実施	P51	
生き方を学ぶ教育活動の実施	P51	
6 特色ある学校づくりの支援		
特色ある学校づくりの支援	P52	
7 理科教育の充実		
出前実験授業の実施	P49	
移動式プラネタリウムの実施	P49	
小学校理科専科教員・理科支援員の配置	P49	
8 オリンピック・パラリンピック教育の推進		
オリンピック・パラリンピック教育の実施	P50	

目標2 学校の経営力・教育力を高めます

1 教員の指導力の向上		
指導教授の配置	P53	
授業力向上塾の実施	P53	
教育指導教員の配置	P53	
I C T活用研修の実施	P76	
2 全面実施となる新学習指導要領への対応		
「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の推進	P77	
小学校外国語教育の充実	P77	
プログラミング教育の充実	P77	
3 区費教員の効果的な活用		
区費教員の効果的な活用	P53	
4 補助教員の配置		
補助教員の配置	P53	
5 学校図書館の充実		
学校司書の配置	P53	
学校司書研修の実施	P53	
学校図書館活用実践校の指定	P73	
6 部活動支援の充実		
部活動活性化事業の実施	P54	
外部指導員の配置	P54	
部活動指導員の配置	検討	
7 副校長校務支援員の配置		
副校長校務支援員の配置	P56	
8 学校法律相談の実施		
学校法律相談の実施	P53	
9 教員の働き方改革の推進		
教員の働き方改革の推進	P54	

目標3 個に応じた学び・成長をきめ細かく支えます

1 特別支援教育の充実		
特別支援教室の設置	P36	
特別支援学級（知的障害）の整備	P36, 56	
学習支援教員の配置	P56	
通常学級支援員の配置	P55	
通常学級介助員ボランティアの配置	P55	
教育支援チームの巡回支援	P55	

2 教育相談体制の充実		
教育相談の実施	P56	
スクールカウンセラーの配置	P58	
スクールソーシャルワーカーの派遣	P60	
新就学児童の発達障害支援事業の実施	P61	
3 いじめ対策の推進		
いじめ対応マニュアルの活用	P59	
すぎなみいじめ電話レスキューの実施	P59	
すぎなみネットでトラブル解決支援システムの運用	P59	
すぎなみ小・中学生未来サミットの実施	P59	
杉並区いじめ問題対策委員会の活用	P59	
4 不登校対策の推進		
不登校解消支援システムの運用	P60	
ふれあいフレンドの実施	P60	
さざんかステップアップ教室の運営	P60	
5 健康教育・食育の推進		
小児生活習慣病の予防	P61	
健康づくり事業の実施	P61	
食育の推進	P61	
薬物乱用防止教室の実施	P61	
6 アレルギー対策の推進		
研修会・講演会の実施	P61	
アレルギー対応ホットラインの運用	P61	

目標4 家庭・地域・学校が協働し、共に支える教育を進めます

1 新しい学校づくりの推進		
新しい学校づくり計画の策定	P63	
高円寺地域における新しい学校づくりの推進	P63	
2 地域と連携・協働する学校づくりの推進		
地域運営学校の推進	P64	
学校支援本部の活動支援	P66	
学校・地域コーディネーター研修等の実施	P66	
3 子どもの育ちを支える地域づくり		
地域教育推進協議会の支援	P69	
土曜日学校の支援	P67	
放課後子ども教室の支援	P67	

4 家庭教育支援の充実			
家庭教育講座の実施	P68		
家庭教育フォーラムの実施	P68		

目標5 学校教育環境の整備充実を図ります

1 区立小中学校老朽改築計画の改定			
杉並区立小中学校老朽改築計画の改定	検討		
2 区立小中学校の改築			
高円寺地区小中一貫教育校の整備	P70		
桃井第二小学校の改築	P70		
富士見丘小学校の改築	P70		
富士見丘中学校の改築	P70		
杉並第二小学校の改築	P70		
中瀬中学校の改築	検討		
老朽校の改築	検討		
3 学校教育諸施設の整備・充実			
学校教育諸施設の整備	P70		
4 学校空調設備の整備			
空調設備の設置	P71		
5 学校ICT環境の整備・充実			
電子黒板機能付プロジェクターの運用	P71		
タブレットPCの運用	P71		
6 通学路等安全対策の推進			
通学路等防犯カメラの設置	P40		
学校安全マップの作成・活用	P40		
通学路等安全点検の実施	P40		

目標6 誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めます

1 学び合いを支える学習機会の充実			
すぎなみ大人塾の開催	P88		
区民企画講座の開催	P89		
郷土博物館区民参加型展示の実施	P97		
社会教育関連施設等との連携	P80	夏休みの催し情報	
区内大学等との連携	P80, 87		
2 社会教育施設の整備			
社会教育センターの改修	検討		

3 科学教育の推進		
次世代型科学教育事業の実施	P93, 94	
次世代型科学教育の新たな拠点の整備	検討	
4 図書館サービスの充実		
図書館における電子情報サービスの推進	P102	
効率的な蔵書管理に向けた検討	検討	
区内大学図書館との連携	P104	
5 図書館の整備		
中央図書館の改修	P102	
永福図書館の改築・複合化	P102	
高円寺図書館の改築・複合化	検討	
高円寺地域の新たな図書館整備に向けた検討	検討	
6 子ども読書活動の推進		
区内学校との連携	P106	調べ学習資料の貸出、学校司書との連絡会
中学生・高校生向けサービスの充実	P106	
乳幼児向けサービスの充実	P106	あかちゃんタイム、保護者向けの講座
7 体験交流事業の推進		
中学生海外留学事業の実施	P62	
中学生小笠原自然体験交流事業の実施	P62	
小学生名寄自然体験交流事業の実施	P62, 81	

2. 教 育 委 員 会

教育委員会 の制度と 仕組み

教育行政は、政治的中立性・継続性の確保が求められることから、教育委員会は区長の行政権限から独立した合議制の執行機関として設置され、区立学校、その他教育機関を管理し、学校教育・社会教育に関する事務を管理・執行しています。

教育委員会は、教育長及び4名の委員で構成されており、いずれも区議会の同意を得て区長が任命します。

教育長は、教育委員会の会議を主宰するとともに、教育委員会が執行する事務を統括します。

教育長及び4名の委員は、教育委員会の会議に出席して教育行政の基本方針や計画策定等を審議し、合議によって教育委員会の意思決定を行っています。

教 育 長



氏 名	任 期
い で たか やす 井 出 隆 安	自 H30. 4. 1 至 R 3. 3. 31

委 員



(教育長職務代理者)
対馬初音
委員



久保田 福美
委員



伊井 希志子
委員



折井 麻美子
委員

職 名	氏 名	任 期
委 員 (教育長職務代理者)	つ しま はつ お 對 馬 初 音	自 H28. 10. 11 至 R 元. 10. 31
委 員	く ぼ た ふ く み 久 保 田 福 美	自 H28. 6. 17 至 R 2. 6. 16
委 員	い い き し こ 伊 井 希 志 子	自 H30. 10. 15 至 R 4. 10. 14
委 員	おり い ま み こ 折 井 麻 美 子	自 H28. 12. 1 至 R 元. 10. 31

教育委員会の活動

教育委員会では、教育行政の基本方針や計画・規則の制定・改正など、重要な事項の決定のほか、教育に係る条例・予算など区議会の議決を得る必要がある案件について審議するため、月2回の定例会（第2・4水曜日）のほか、必要に応じて臨時会を開催しています。会議は原則として公開していますので、審議の内容はどなたでも傍聴することができます。（平成30年の教育委員会会議の開催状況は、下表のとおりです。）

また、教育長及び委員は、各学校の授業及び運動会等の学校行事のほか、児童・生徒が参加する各種事業や小・中学校のPTAの方々と懇談する機会等を通して、様々な状況把握を行い、本区における教育行政への反映に努めています。

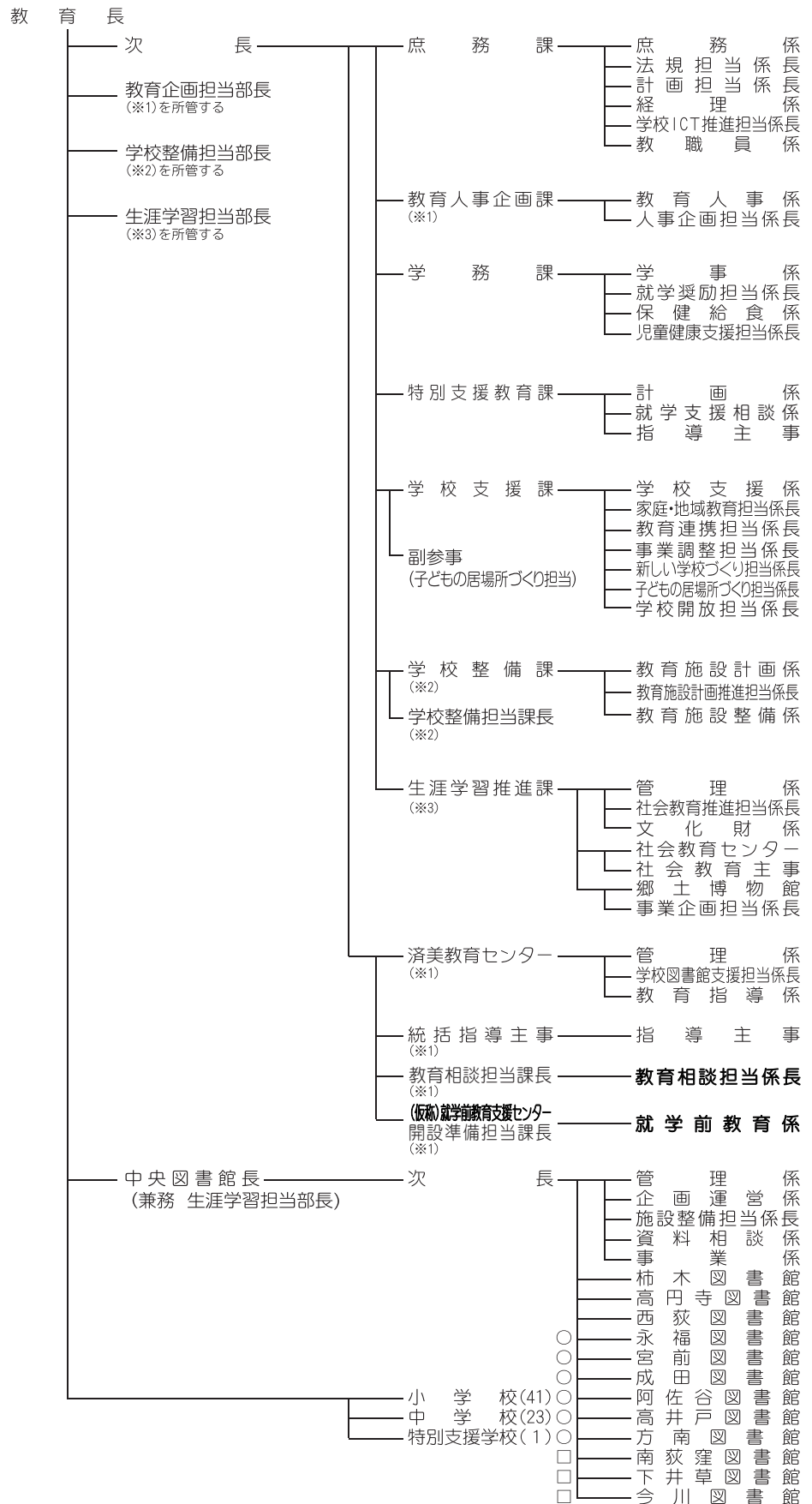
教育委員会会議の開催状況（平成30年）

区分	議案	議案													請願				選挙	報告事項	協議事項等
		上程										審議結果			審査結果						
種別	日付	条例	規制	訓令	人事	予算	契約	財産	その他	可決	否決	継続	採択	趣旨採択	不採択	継続	取り下げ				
1 定	H30. 1.10																			3	
2 定	H30. 1.29	3				2	1		3	9										4	
3 定	H30. 2.28	1			1				3	5										3	
1 臨	H30. 3.15				1					1										1	
4 定	H30. 3.28		15	3					1	19										4	
5 定	H30. 4.11																			2	1
6 定	H30. 4.25																			4	
7 定	H30. 5. 9								2	2										2	
8 定	H30. 5.23																			4	
9 定	H30. 6.13								1	1										2	
10 定	H30. 6.27																			2	
2 臨	H30. 6.27				1					1											
11 定	H30. 7.11																			3	
12 定	H30. 7.25								1	1										3	
13 定	H30. 8. 8								3	3											
14 定	H30. 8.30					1		1		2										4	1
3 臨	H30. 8.30																			1	
15 定	H30. 9.26				1			1	2	4										2	
16 定	H30.10.24																			5	
4 臨	H30.11. 1					1		1	1	3											
17 定	H30.11.14								1	1										8	
18 定	H30.12.12								1	1										3	
合計		4	15	3	4	4	1	3	19	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	2

定例会 18回 臨時会 4回 合計 22回

3. 教育委員会の組織

組織 機構図



○：指定管理者 □：業務委託 ※子供園(6)は子ども家庭部保育課で所管

職員
現員数

教育委員会事務局・教育機関

()内は女性職員で内数

課 係 名	常 勤 職 員 数				再任用 短時間 職員数
	内 訳				
	参 事	副参事	主 事		
庶 務 課	庶 務 係	7 (1)	2		5 (1)
	法 規 担 当 係 長	1			1
	計 画 担 当 係 長	1 (1)			1 (1)
	経 理 係	7 (2)			7 (2)
	学 校 ICT 推 進 担 当 係 長	3 (1)			3 (1)
	教 職 員 係	7 (3)			7 (3)
	計	26 (8)	2		24 (8)
教 育 人 事 課 企 画 課	教 育 人 事 係	7 (3)	1		6 (3)
	人 事 企 画 担 当 係 長	1			1
	計	8 (3)	1		7 (3)
学 務 課	学 事 係	10 (4)		1	9 (4)
	就 学 奨 励 担 当 係 長	2 (2)			2 (2)
	保 健 給 食 係	7 (5)			7 (5)
	児 童 健 康 支 援 担 当 係 長	1 (1)			1 (1)
	計	20 (12)		1	19 (12)
特 別 支 援 課 教 育 課	計 画 係	4 (2)		1	3 (2)
	就 学 支 援 相 談 係	3 (3)			3 (3)
	指 導 主 事	1			1
	計	8 (5)		1	7 (5)
学 校 支 援 課	学 校 支 援 係	7 (3)		1	6 (3)
	家 庭 ・ 地 域 教 育 担 当 係 長	2 (2)			2 (2)
	教 育 連 携 担 当 係 長	1			1
	事 業 調 整 担 当 係 長 (兼 務)				
	新 しい 学 校 づ くり 担 当 係 長 (兼 務)				
	学 校 開 放 担 当 係 長	4 (1)			4 (1)
	子 ども の 居 場 所 づ くり 担 当 係 長 (兼 務)				
計	14 (6)		1	13 (6)	
学 校 整 備 課	教 育 施 設 計 画 係	6 (2)	1	2	3 (2)
	教 育 施 設 計 画 推 進 担 当 係 長	6 (1)			6 (1)
	教 育 施 設 整 備 係	4 (2)			4 (2)
	計	16 (5)	1	2	13 (5)
生 涯 学 習 推 進 課	管 理 係	5 (2)	2		3 (2)
	社 会 教 育 推 進 担 当 係 長	1			1
	文 化 財 係	3 (3)			3 (3)
	社 会 教 育 セ ン タ ー	9 (5)			9 (5)
	郷 土 博 物 館	3			3
	事 業 企 画 担 当 係 長	1			1
	計	22 (10)	2		20 (10)
済 美 教 育 セ ン タ ー	管 理 係	5 (3)		1	4 (3)
	学 校 図 書 館 支 援 担 当 係 長	1 (1)			1 (1)
	教 育 指 導 係	7 (3)			7 (3)
	統 括 指 導 主 事	2 (1)		2 (1)	
	計	15 (8)		3 (1)	12 (7)
教 育 相 談 担 当 課 長	教 育 相 談 担 当 係 長	4 (2)		1	3 (2)
就 学 前 教 育 支 援 セ ン タ ー 開 設 準 備 担 当 課 長	就 学 前 教 育 係	2 (1)		(兼 務)	2 (1)
中 央 図 書 館	管 理 係	5 (2)		1	4 (2)
	企 画 運 営 係	6 (2)			6 (2)
	施 設 整 備 担 当 係 長	1			1
	資 料 相 談 係	7 (3)			7 (3)
	事 業 係	8 (4)			8 (4)
	地 域 図 書 館 (6)	29 (11)			29 (11)
計	56 (22)		1	55 (22)	
教 育 委 員 会 事 務 局 ・ 教 育 機 関		191 (82)	6	10 (1)	175 (81)
					19 (4)

※ 学校支援課には、常勤職員数にフルタイム再任用職員 1 名分を含む。
 ※ 学校整備課には、常勤職員数にフルタイム再任用職員 1 名分を含む。
 ※ 生涯学習推進課には、常勤職員数にフルタイム再任用職員 2 名分を含む。
 ※ 中央図書館には、常勤職員数にフルタイム再任用職員 3 名分を含む。

小 学 校

(都費負担職員には、再任用を含む)

令和元年5月1日現在

学 校 名	都 費 負 担 職 員								区 費 負 担 職 員							合 計	
	校 長	副 校 長	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務	栄 養 士	計	第 一 副 校 長	教 諭	一 般 事 務	用 務	調 理	(用 務 従 事)	介 護 指 導 員		警 備
杉 並 第 一	1	1	15	1		1		19		0	0	2	3		0	5	24
杉 並 第 二	1	1	23	1		1		27		1	0	0	0		0	1	28
杉 並 第 三	1	1	18	1		1		22		3	0	2	4		0	9	31
杉 並 第 四	1	1	15	1		1	1	20		1	0	2	0		0	3	23
杉 並 第 六	1	1	15	1		1		19		0	0	0	0		0	0	19
杉 並 第 七	1	1	19	1		1		23		1	0	0	0		0	1	24
杉 並 第 八	1	1	10	1		1		14		1	0	2	0		0	3	17
杉 並 第 九	1	1	19	1		1	1	24		1	0	3	4		0	8	32
杉 並 第 十	1	1	22	1		1	1	27		2	0	0	0		0	2	29
西 田	1	1	24	1		1	1	29		2	0	0	0		0	2	31
東 田	1	1	16	1		1		20		1	0	2	0		0	3	23
馬 橋	1	1	26	1		1		30		1	0	0	0		0	1	31
桃 井 第 一	1	1	30	1		1	1	35		1	0	4	0		0	5	40
桃 井 第 二	1	1	29	1		1	1	34		2	0	1	0		0	3	37
桃 井 第 三	1	1	21	1		1		25		2	0	2	5		0	9	34
桃 井 第 四	1	1	22	1		1		26		1	0	0	0		0	1	27
桃 井 第 五	1	1	27	1		1		31		2	0	2	0		0	4	35
四 宮	1	1	31	1		1	1	36		2	0	0	0		0	2	38
荻 窪	1	1	25	1	1	1	1	31		3	0	0	0		0	3	34
井 荻	1	1	17	1		1	1	22		1	0	1	4		0	6	28
沓 掛	1	1	25	1		1		29		1	0	0	0		0	1	30
高 井 戸	1	1	33	1		1	1	38		2	0	0	0		0	2	40
高 井 戸 第 二	1	1	32	1		1	1	37		3	0	3	0		0	6	43
高 井 戸 第 三	1	1	19	1		1		23		2	0	0	0		0	2	25
高 井 戸 第 四	1	1	26	1		1	1	31		1	0	0	0		0	1	32
松 庵	1	1	17	1		1	1	22		2	0	0	0		0	2	24
浜 田 山	1	1	31	1		1	1	36		1	0	0	0		0	1	37
富 士 見 丘	1	1	22	1		1		26		1	0	0	0		0	1	27
大 宮	1	1	22	1		1		26		2	0	2	0		0	4	30
堀 之 内	1	1	18	1		1		22		2	0	0	0		0	2	24
和 田	1	1	18	1		1	1	23		2	0	2	0		0	4	27
方 南	1	1	19	1		1	1	24		2	0	2	0		0	4	28
済 美	1	1	21	1		1	1	26		1	0	0	4		0	5	31
八 成	1	1	29	1		1	1	34		2	0	0	0		0	2	36
三 谷	1	1	29	1		1	1	34		1	0	0	0		0	1	35
松 ノ 木	1	1	19	1		1		23		1	0	0	0		0	1	24
高 井 戸 東	1	1	23	1		1		27		2	0	0	0		0	2	29
久 我 山	1	1	16	1		1	1	21		5	0	0	0		0	5	26
天 沼	1	1	28	1		1		32		1	0	0	0		0	1	33
永 福	1	1	25	1		1	1	30		4	0	2	0		0	6	36
新 泉 和 泉	0	2	31	2		1		36		2	0	0	0		0	2	38
合 計	40	42	927	42	1	41	21	1,114		68	0	34	24	0	0	126	1,240
前 年 度 合 計	40	42	881	41	1	41	20	1,066		73	0	40	28	0	0	141	1,207

※新泉和泉小学校校長は和泉中学校校長が兼務

中 学 校

(都費負担職員には、再任用を含む)

令和元年5月1日現在

学 校 名	都 費 負 担 職 員							区 費 負 担 職 員							合 計	
	校 長	副 校 長	教 諭	養 護 教 諭	事 務	栄 養 士	計	第 一 副 校 長	教 諭	一 般 事 務	用 務	調 理	警 備	計		
高 円 寺	1	1	12	1		1	1	17		0	0	0	0	0	0	17
高 南	1	1	12	1		1		16		0	0	0	0	0	0	16
杉 森	1	1	16	1		1		20		0	0	0	0	0	0	20
阿 佐 ヶ 谷	1	1	23	1		1		27		0	0	3	0	0	3	30
東 田	1	1	21	1		1	1	26		0	0	2	0	0	2	28
松 溪	1	1	17	2		1		22		0	0	0	0	0	0	22
天 沼	1	1	16	1		1		20		1	0	1	0	0	2	22
東 原	1	1	14	1		1	1	19		0	0	0	0	0	0	19
中 瀬	1	1	25	1		1		29		0	0	1	0	0	1	30
井 荻	1	1	19	1		1	1	24		0	0	2	0	0	2	26
井 草	1	1	28	1		1	1	33		0	0	0	0	0	0	33
荻 窪	1	1	12	1		1		16		0	0	0	0	0	0	16
神 明	1	1	15	1		1		19		0	0	2	5	0	7	26
宮 前	1	1	19	1		1		23		0	0	0	0	0	0	23
富 士 見 丘	1	1	14	1		1		18		0	0	0	3	0	3	21
高 井 戸	1	1	25	1		1		29		0	0	0	0	0	0	29
向 陽	1	1	16	1		1	1	21		0	0	0	0	0	0	21
松 ノ 木	1	1	13	1		1		17		0	0	2	3	0	5	22
大 宮	1	1	15	1		1	1	20		0	0	2	0	0	2	22
泉 南	1	1	15	1		1	1	20		0	0	2	3	0	5	25
和 田	1	1	14	1		1	1	19		0	0	1	0	0	1	20
西 宮	1	1	17	1	1	1		22		0	0	0	0	0	0	22
和 泉	1	1	16	1		1	1	21		2	0	0	0	0	2	23
合 計	23	23	394	24	1	23	10	498	0	3	0	18	14	0	35	533
前年度合計	23	23	386	24	1	23	11	491	0	5	0	17	11	1	34	525

特別支援学校

(都費負担職員には、再任用を含む)

令和元年5月1日現在

園 名	都 費 負 担 職 員							区 費 負 担 職 員							合 計
	校 長	副 校 長	教 諭	養 護 教 諭	事 務	栄 養 士	計	教 諭	一 般 事 務	用 務	調 理	警 備	児 童 指 導	計	
済美養護学校	1	1	50	2	1	1	56	1	0	2	2	0		5	61
前年度合計	1	1	47	2	1	1	53	1	0	2	3	0		6	59

子 供 園 ・ 幼 稚 園

(再任用を含む)

令和元年5月1日現在

園 名	区 費 負 担 職 員												合 計	
	園 長	副 園 長	教 諭	保 育 士	養 護 教 諭	事 務	栄 養 士	一 般 事 務	用 務	調 理	学 童 擁 護	警 備		児 童 指 導
下 高 井 戸	1	1	2	4										8
堀 ノ 内	1	1	3	4										9
高 円 寺 北	1	1	1	2										5
成 田 西	1	<1>	3	4										8 <1>
高 井 戸 西	1	1	3	4										9
西 荻 北	1	1	2	4										8
合 計	6	5<1>	14	22										47 <1>
前年度合計	6	4<2>	15	23										48 <2>

※ < > は園長事務取扱で外数

教育委員会事務局

庶務課

庶務係

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 教育委員会 | 10. 組織・定数 |
| 2. 教育予算・決算 | 11. 事務管理 |
| 3. 教育行政相談 | 12. 調査・統計 |
| 4. 職員（区立学校に勤務する職員及び指導主事を除く。）の身分取扱い | 13. 表彰・ほう賞 |
| 5. 職員の研修 | 14. 庁中取締り |
| 6. 文書の受発・審査・保存 | 15. いじめ問題対策委員会 |
| 7. 公印 | 16. 他の課及び教育機関との連絡調整（他の課、係等に属するものを除く。） |
| 8. 請願・陳情 | 17. 他の課、係等に属さないこと |
| 9. 公告式 | |

法規担当係長

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 教育委員会関係条例・規則等 | 2. 特命事項 |
|------------------|---------|

計画担当係長

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 教育施策の企画、立案、総合調整 | 3. エネルギー使用量等削減計画 |
| 2. 教育に関する事務の点検・評価 | 4. 教育委員会に係る広報等 |

経理係

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 区立学校予算の令達・経理事務等（他の課、係等に属するものを除く。） |
|--------------------------------------|

学校ICT推進担当係長

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 区立学校のICTに係る計画・調整等 | 2. 区立学校の学習用コンピュータの整備等 |
|----------------------|-----------------------|

教職員係

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 区立学校に勤務する職員（教職員を除く。）の身分取扱い | 4. 区立学校に勤務する職員（教職員を除く。）の研修 |
| 2. 区立学校に勤務する職員及び指導主事の給与等 | 5. 区立学校に勤務する職員の被服貸与 |
| 3. 区立学校に勤務する職員及び指導主事の公務災害等 | 6. 区立学校の労働安全衛生 |
| | 7. 教職員住宅の管理 |

教育人事企画課

教育人事係

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 教職員（学校教育職員を除く。）及び指導主事の身分取扱い | 4. 学校司書、学習支援教員等の採用、配置及び育成 |
| 2. 学校教育職員の任免その他の人事（他の係等に属するものを除く。） | 5. 教育管理職の研修等能力開発（他の課、係等に属するものを除く。） |
| 3. 区立学校に置く主任等の発令及び報告 | 6. 課内他の担当係長に属さないこと |

人事企画担当係長

1. 学校教育の施策の企画、立案
2. 学校教育職員の任免その他の人事
3. 学校教育職員等の人事配置計画

学務課**学事係**

1. 学齢児童・生徒の就学（他の課に属するものを除く。）
2. 区立学校の通学区域
3. 出席簿、卒業証書及び修了証書の様式
4. 区立学校の学級編制（他の課に属するものを除く。）
5. 校外教育（宿泊を伴うものに限る。他の課に属するものを除く。）
6. 通学路の指定・安全対策
7. 私立専修学校及び私立各種学校
8. 学齢簿システムに関すること
9. 課内他の係等に属さないこと

就学奨励担当係長

1. 児童・生徒の就学奨励
2. 奨学資金

保健給食係

1. 区立学校の保健衛生
2. 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師
3. 区立学校に勤務する職員及び指導主事の健康診断
4. 健康教育の推進
5. 区立学校の給食
6. 食育の推進
7. 日本スポーツ振興センターの学校安全・災害共済

児童健康支援担当係長

1. 小児生活習慣病予防検診
2. 児童の健康教育

特別支援教育課**計画係**

1. 特別支援教育の推進
2. 区立学校における特別支援教育の支援
3. 課内他の係等に属さないこと

就学支援相談係

1. 特別支援学校及び特別支援学級の学級編制
2. 特別支援学校及び特別支援学級の就学支援相談及び入級調整

指導主事

1. 学校教育に関する専門的事項の指導に関する職務

学校支援課

学校支援係

1. 学校運営協議会
2. 学校評議員
3. 学校支援本部等の運営等
4. 中学生レスキュー隊
5. 部活動支援
6. P T A等の支援
7. 課内他の係等に属さないこと

家庭・地域教育担当係長

1. 家庭教育支援
2. 青少年委員
3. 地域教育連絡協議会
4. 地域教育推進協議会

教育連携担当係長（社会教育主事）

1. 家庭・地域・学校の連携推進

事業調整担当係長（社会教育主事）

1. 社会体育に係る区長の事務部局との連絡調整に関すること

新しい学校づくり担当係長

1. 区立小中学校新しい学校づくり
2. 小中一貫教育の推進（他の課に属するものを除く。）

子どもの居場所づくり担当係長

1. 区立学校施設内の子どもの居場所づくり

学校開放担当係長

1. 区立学校開放事業
2. 区立学校施設の使用許可（短時間使用の場合に限る。）

学校整備課

教育施設計画係

1. 区立学校施設等の改築計画
2. 区立学校の設置及び廃止
3. 教育施設の建設計画（他の課に属するものを除く。）
4. 課内他の係等に属さないこと

教育施設計画推進担当係長

1. 区立学校施設等の改築（他の課に属するものを除く。）
2. 新しい学校づくりにおける懇談会、改築検討懇談会等の運営

教育施設整備係

1. 区立学校施設の整備（営繕課に属するものを除く。）
2. エコスクールの整備
3. 教育財産の管理
4. 区立学校施設の使用承認（学校支援課に属するものを除く。）

生涯学習推進課

管理係

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 社会教育の施策に係る計画及び調整 | 6. 郷土博物館との連絡調整 |
| 2. 社会教育に係る調査及び統計 | 7. 杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会の事務局 |
| 3. 社会教育委員 | 8. 旧新泉小学校施設の管理 |
| 4. 生涯学習活動の支援 | 9. 科学教育の新たな拠点等 |
| 5. 社会教育センターとの連絡調整 | 10. 課内他の係等に属さないこと |

社会教育推進担当係長（社会教育主事）

- 生涯学習活動支援

文化財係

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 文化財の保護、保存及び活用 | 3. 文化財に係る刊行物 |
| 2. 文化財の調査及び記録 | 4. 文化財保護審議会 |

社会教育センター

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. センターの公印の管守 | 8. 社会教育に係る資料の収集及び提供 |
| 2. センターの文書の收受、発送及び保存 | 9. 社会教育に係る学級、講座、展示会その他の各種事業（家庭教育に関するものを除く。） |
| 3. センターの施設及び備付器具の利用並びに維持管理 | 10. 社会教育活動に対する指導、助言及び相談 |
| 4. センターの経理 | 11. 社会教育指導者の養成及び研修 |
| 5. 社会教育関係団体等の育成及び連絡調整 | 12. ユネスコ活動 |
| 6. センターの広報 | |
| 7. センターに係る調査及び統計 | |

郷土博物館

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 公印の管守 | 9. 調査・研究 |
| 2. 文書の收受、発送及び保存 | 10. 刊行物等 |
| 3. 経理 | 11. 講演会等の開催 |
| 4. 事業の企画 | 12. 学校教育等における郷土学習の援助 |
| 5. 郷土博物館運営協議会 | 13. 他の博物館等との連絡調整 |
| 6. 施設の利用及び維持管理 | 14. 資料の寄贈及び寄託 |
| 7. 資料の収集、保管及び展示 | 15. 前各号のほか、郷土博物館の運営上必要なこと |
| 8. 利用者の奉仕 | |

済美教育センター

管理係

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 公印の管守 | 6. 帰国及び外国人児童・生徒の教育事業 |
| 2. 文書の收受、発送、保存 | 7. 教育SAT |
| 3. 施設の維持管理 | 8. 課内他の係等に属さないこと |
| 4. 指導要録及びその抄本の様式 | |
| 5. 教科用図書の採択及び無償給与 | |

学校図書館支援担当係長

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 学校図書館への支援 | 3. 学校司書、教職員等の研修 |
| 2. 学校における読書教育活動への支援 | 4. 教育図書館（教科書センター） |

教育指導係

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1. 区立学校の経営計画 | 8. 区立学校の連合行事 |
| 2. 教育課程、教科書その他教材の
取扱い | 9. 学校の安全指導 |
| 3. 学習指導、生活指導、進路指導 | 10. 学力・体力の向上 |
| 4. 区立学校の休業 | 11. 国際理解教育事業 |
| 5. 教職員及び指導主事の研修等
能力開発、授業力向上支援 | 12. 区立学校教育関係団体、
その他教育活動 |
| 6. 学校評価 | 13. 小中一貫教育の推進 |
| 7. 調査研究、研究指定 | 14. 生徒の国内外交流事業 |
| | 15. 区内都立学校との連携 |

教育相談担当係長

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 1. 教育相談事業 | 5. 教育SAT事業
(他の係に属するものを除く。) |
| 2. 不登校対策 | |
| 3. いじめ問題 | 6. 区立学校における課題解決支援 |
| 4. 新就学児童の発達障害支援 | |

就学前教育係

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 幼保小連携教育の推進 | 3. 区立子供園の教育課程 |
| 2. 教職員に対する就学前教育に関する
研修等能力開発 | 4. 区立子供園の教育的支援 |
| | 5. 就学前教育支援センターの開設
準備 |

統括指導主事・指導主事

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 学校教育に関する専門的職務 | 4. 教育相談の事業 |
| 2. 学校経営等の支援事業 | 5. 特別支援教育の事業 |
| 3. 教育指導の事業 | 6. 学校図書館支援の事業 |

中央図書館

管理係

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. 中央図書館の公印の管守 | 6. 図書館の広報 |
| 2. 中央図書館の文書の收受、発送
及び保存 | 7. 図書館協議会 |
| 3. 図書館施設の管理 | 8. 図書館に係る調査及び統計 |
| 4. 図書館の経理 | 9. 車両の管理及び運行 |
| 5. 図書館職員の服務及び研修 | 10. その他他の係及び担当係長、
地域図書館に属さないこと |

企画運営係

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 図書館サービスの企画、実施及び
総合調整 | 7. 子ども読書活動推進計画 |
| 2. 地域図書館の統括 | 8. 図書館サービスコーナーの運営 |
| 3. 地域図書館の指定管理化 | 9. 図書館の電子化（デジタルアー
カイブを除く。）の推進 |
| 4. 図書館経営評価及びモニタリング | 10. 図書館システムの運用 |
| 5. 第三者評価 | 11. 図書館ホームページの管理及び
運用 |
| 6. 区内大学図書館との連携の推進 | |

施設整備担当係長

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 中央図書館の改修 | 2. 地域図書館の建設計画 |
|-------------|---------------|

資料相談係

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 図書館資料の選定、収集、保存
及び廃棄 | 4. 図書館資料の利用案内及び利用相談 |
| 2. 図書館資料の受贈 | 5. 利用者の調査研究活動への支援 |
| 3. 図書等の相互貸借 | 6. 杉並資料室及び参考図書室 |
| | 7. デジタルアーカイブの推進 |

事業係

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 読書活動の推進及び読書環境の
整備充実 | 5. 障害者に対するサービスの推進 |
| 2. 読書会、講演会、研究会等の実施
及び図書館資料の展示 | 6. NPO、ボランティア等との
協働の推進 |
| 3. 団体貸出 | 7. 地域・家庭文庫への支援 |
| 4. 学校図書館との連携協力 | 8. ふれあい図書室の運営 |
| | 9. 視聴覚教材の管理及び貸出 |

地域図書館

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 地域図書館の公印の管守 | 7. 利用者の調査研究に対する支援 |
| 2. 地域図書館の文書の收受、発送
及び保存 | 8. ブックスタート事業 |
| 3. 地域図書館施設の管理 | 9. 読書会、講演会及び研究会等の
実施 |
| 4. 図書館資料の館内利用及び貸出 | 10. 図書館資料の選定及び収集への
関与 |
| 5. 図書等の相互貸借 | 11. その他地域図書館サービスに
関すること |
| 6. 図書館資料の利用案内及び利用
相談 | |

4. 教 育 予 算

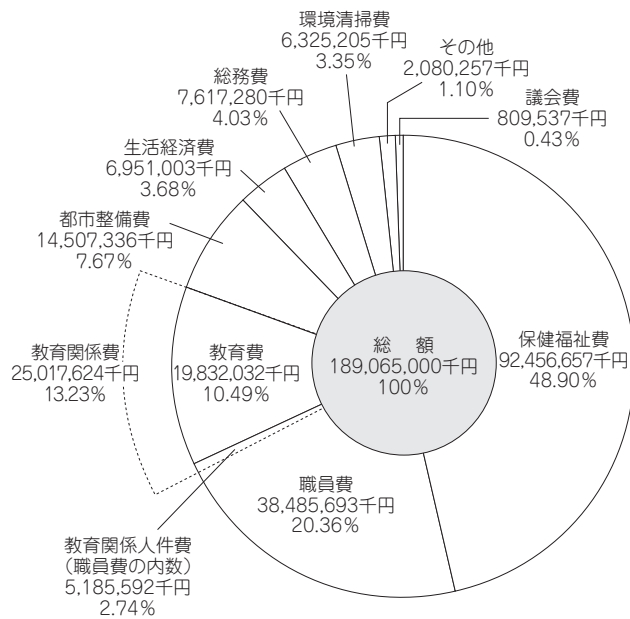
予 算 の 概 要

令和元年度当初予算

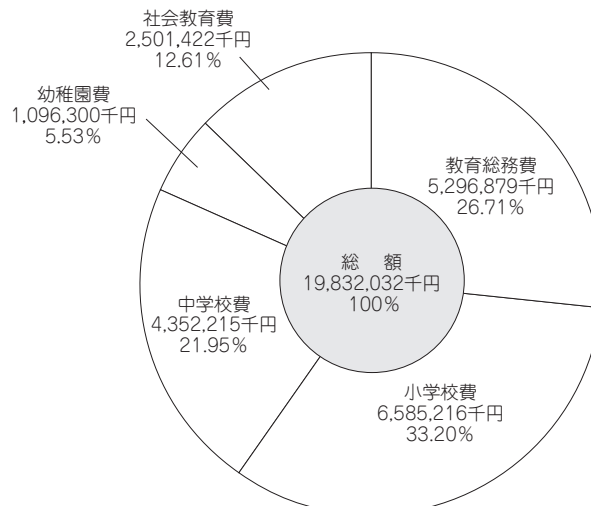
区は、新しい時代の幕開けに向けて、区民福祉の向上の礎として、区民の暮らしの安全・安心の向上を図ることが極めて重要であると考え、区民の暮らしの安全・安心の向上を、時代を超えて不断に貫いていくという思いを込め、令和元年度の予算を「新たな時代に安全・安心を貫く予算」と名付けました。

教育委員会においても、平成24年度からの10年間を見据えて策定した「杉並区教育ビジョン2012」の基本目標の実現を確固たるものとするため、同ビジョンの実現に向けた具体的な行動計画である「杉並区教育ビジョン推進計画」の改定を行うとともに、その取組を着実に推進する観点から、教育予算を編成しています。

令和元年度一般会計予算額に占める教育関係費予算額の割合



令和元年度教育費予算額の内訳



令和元年度教育関係費予算額の対前年度比率（歳出）

単位=千円

区 分		令和元年度 当初予算額 A	平成30年度 当初予算額 B	増減額 (△減) A-B	前年比 A/B (%)
教 育 費	教育総務費	5,296,879	4,482,267	814,612	118.2%
	小学校費	6,585,216	8,207,632	△1,622,416	80.2%
	中学校費	4,352,215	3,118,186	1,234,029	139.6%
	幼稚園費	1,096,300	1,157,775	△61,475	94.7%
	社会教育費	2,501,422	1,595,267	906,155	156.8%
	計	19,832,032	18,561,127	1,270,905	106.8%
教育関係 人件費	職員費	3,785,337	4,001,101	△215,764	94.6%
	嘱託員費	878,965	885,859	△6,894	99.2%
	パート タイマー 人件費	521,290	521,001	289	100.1%
	計	5,185,592	5,407,961	△222,369	95.9%
合 計		25,017,624	23,969,088	1,048,536	104.4%

※パートタイマーの経費については、平成30年度から人件費に計上しています。

令和元年度教育関係費予算額の対前年度比率（歳入）

単位=千円

区 分	令和元年度 当初予算額 A	平成30年度 当初予算額 B	増減額 (△減) A-B	前年比 A/B (%)
使用料及び手数料	64,439	51,257	13,182	125.7%
国庫支出金	702,905	977,900	△274,995	71.9%
都支出金	266,543	316,433	△49,890	84.2%
財産収入	27,231	27,063	168	100.6%
寄附金	1	15	△14	6.7%
繰入金	1,747,627	1,020,923	726,704	171.2%
諸収入	292,180	138,785	153,395	210.5%
特別区債	2,837,000	3,064,000	△227,000	92.6%
合 計	5,937,926	5,596,376	341,550	106.1%

主な事業

と

その内容

令和元年度当初予算

新規・臨時事業

単位=千円

事業名	予算額	摘要
学校跡地活用事業	757	学校跡地活用事業 旧新泉小学校跡地の活用
学校における働き方改革の推進	3,410	意識改革研修
小中一貫教育校開校準備 (高円寺地区) 小学校費	4,267	開校準備 記念式典
小中一貫教育校開校準備 (高円寺地区) 中学校費	2,628	開校準備 記念式典

投資事業

単位=千円

事業名	予算額	摘要
就学前教育支援センターの整備	472,855	建設工事 建設地 成田西二丁目24番(成田西子供園併設) 延床面積 1,996.01㎡ 工事期間 平成30年3月~令和元年8月 工事監理 開設準備
小学校の施設整備	715,412	施設整備 校舎屋上防水 2校 校舎外壁補修 1校 給食室改修 1校 便所・排水管改修 2校 受変電設備改修 1校 その他施設整備 プール改修ほか 延11校 施設整備の事務経費
小学校空調設備整備	156,420	設置工事 屋内運動場空調機設置工事 4校 賃貸借 屋内運動場空調機賃貸借 9校
小中一貫校の施設整備(高円寺地区) 小学校費	1,921,083	設計 環境整備工事設計 改築工事 建設地 高円寺北一丁目4番 延床面積 18,007.70㎡ 工事期間 平成28年12月~令和元年7月 工事監理 初度調弁 建設事務費
桃井第二小学校の改築	376,438	改築工事 解体工事 環境整備工事 初度調弁 落成式 建設事務費
杉並第一小学校長寿命化対策	77,015	工事 照明設備改修工事ほか 事務費

単位=千円

事業名	予算額	摘要
富士見丘小・中学校の改築 小学校費	71,484	調査及び測量 設計 基本設計・実施設計 —令和2年度までの債務負担行為— 建設事務費
杉並第二小学校の改築	71,131	調査及び測量 設計 基本設計 建設事務費
中学校の施設整備	367,637	施設整備 校舎屋上防水 1校 校舎外壁補修 1校 給食室改修 2校 便所・排水管改修 1校 受変電設備改修 1校 兼用工レベータ取替 1校 その他施設整備 プール改修ほか 延5校
中学校空調設備整備	234,508	設置工事 屋内運動場空調機設置工事 3校 美術室 16校 賃貸借 屋内運動場空調機賃貸借 3校
小中一貫校の施設整備(高円寺地区) 中学校費	2,077,586	設計 環境整備工事設計 改築工事 建設地 高円寺北一丁目4番 延床面積 18,007.70㎡ 工事期間 平成28年12月～令和元年7月 工事監理 初度調弁 建設事務費
富士見丘小・中学校の改築 中学校費	71,484	調査及び測量 設計 基本設計・実施設計 —令和2年度までの債務負担行為— 建設事務費
社会教育センターの改修	10,800	改修設計 —令和2年度までの債務負担行為—
永福図書館の移転改築	262,771	改築工事 建設地 永福三丁目51番 ((仮称)永福保育園等併設) 延床面積 1,115.15㎡ 工事期間 令和元年7月～令和2年11月 —令和2年度までの債務負担行為— 工事監理 —令和2年度までの債務負担行為— 建設事務費

※下線は新規項目

単位=千円

事業名	予算額	摘要
中央図書館の改修	851,384	改修工事 -令和2年度までの債務負担行為- 工事監理 -令和2年度までの債務負担行為- 施設維持管理 建設事務費

主な既定事業

単位=千円

事業名	予算額	摘要
杉並区教育委員会の運営	18,696	教育委員会の運営 教育行政の調査・研究 教育広報の推進 教育ビジョンの推進
新しい学校づくりの推進	840	新しい学校づくりの推進 小中一貫教育校の設置
地域運営学校等推進	41,711	地域運営学校 学校運営協議会 56校 (うち新規 3校) 学校評議員
学校の支援	211,330	学校サポーター PTA活動の推進 学校支援本部等支援 学校支援本部 64校 中学校部活動支援 中学生レスキュー隊 管理事務費
特別支援教育	154,166	特別支援教育の就学相談 特別支援学級の運営 特別支援学級介助員 30名 作業療法士による巡回指導等 特別支援教育の推進 通常学級支援員 36名 介助員ボランティア 5,000日 特別支援学級の増設
国際理解教育の推進	94,721	外部指導員英語指導 帰国・外国人児童生徒教育 国際理解教育の推進 中学生海外留学

単位=千円

事業名	予算額	摘要
情報教育の推進	1,379,028	コンピュータ教育の推進 学習用パソコンの整備 学校 IT の推進 教室 ICT 環境整備 タブレット PC、電子黒板の運用
教育相談等運営	26,053	教育相談 不登校対策の推進 さざんかステップアップ教室運営 宿泊行事の実施
教職員の研修	9,039	教職員の研修
学校教育への支援	134,328	学校経営支援 土曜授業の支援、防災教育の推進 学力・体力の向上 教育調査・研究 補習授業支援 夏季及び休日パワーアップ教室 特色ある学校づくり 中学生小笠原自然体験交流 学校理科室支援 出前授業、移動式プラネタリウム実施 小中一貫教育の推進 中学生東京駅伝大会
学校支援教職員	69,208	補助教員 17名 理科支援員 32名 学習支援教員 52名 副校長校務支援員 15名
就学前教育	13,224	幼保小連携教育 幼保小連携推進校 41校 教育課題研究指定園 2園
いじめ対策の充実	19,891	教育 SAT ネット被害の防止 小・中学生未来サミット
オリンピック・パラリンピック教育の推進	17,000	教育調査・研究 オリンピック・パラリンピック教育推進事業
小学校就学諸援助	233,124	小学校就学諸援助 小学校入学準備金の前倒し支給
文化財調査・保護	11,859	文化財保護審議会運営 文化財の保存 文化財の活用 文化財の調査

※下線は新規項目

事業名	予算額	
地域教育力の向上	10,783	青少年委員活動 地域教育推進協議会 家庭教育支援
成人学習支援	3,784	すぎなみ大人塾 区民企画講座 社会教育セミナー
郷土博物館の運営管理	15,689	博物館事業の運営管理経費 運営協議会の経費 特別・企画展の開催経費 郷土史講座等の開催経費 伝統芸能実演の開催経費
図書館運営	912,550	中央図書館 永福図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 柿木図書館 高田寺図書館 宮前図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 成田図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 西荻図書館 阿佐谷図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 南荻窪図書館 下井草図書館 高井戸図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 方南図書館 指定管理者による運営 -令和2年度までの債務負担行為- 今川図書館
次世代型科学教育の推進	14,358	新たな天文学習 移動式プラネタリウム、観望会等 科学博覧会 サイエンス・コミュニケーション 科学講座等

5. 教育機関環境方針

杉並区立教育機関環境方針

オゾン層の破壊や温暖化など、地球規模の環境破壊はますます深刻になっています。また、みどりなどのやすらぎ環境も年々減少しています。

わたしたちの未来、子どもたちの将来のために、いのちと健康を支える豊かな環境を、みんなで力を合わせて身近なことから守っていく必要があります。

そこで杉並区立の教育機関は、次のことを重点項目として、環境保護の活動を行っていくことといたしました。

- 1 学校の授業や行事、社会教育の講座など、さまざまな場面で、たくさんの方が環境を守ることに気づき、環境を守ろうとする心が育っていくことを目指します。
- 2 教育施設のみどりを増やします。生き物とふれあうことのできる場として、自然環境を大事にする気持ちへつながることを目指します。
- 3 電気、ガス、水の節約などエネルギーや、紙などの資源を大切にします。レジ袋を使用しないことや、リサイクル活動などで、ごみを減らします。
- 4 環境についての法律や規則などに従い、環境汚染の予防に努めます。
- 5 リサイクル材料による物品を購入するなど、教育機関の施設運営が環境保護に結びつくものとなるように努力します。
- 6 環境保護の活動が、児童・生徒、保護者や、社会教育事業への参加者をとおして、より大きく地域へと広がっていくように努めます。

これらの重点項目には、達成状況などの目標を定めます。その内容を定期的に見直し、継続的によりよいものに改めます。

この環境方針は文書にして、教育機関の全ての職員に知らせるとともに、どなたにもご覧いただけるものにいたします。

平成18年4月1日

杉並区教育委員会教育長

井出隆安

杉並区教育機関は、「杉並区立教育機関環境方針」に基づき、環境にやさしい組織や施設の運用を行ってきました。

杉並区では、平成22年度から教育委員会を含む区役所全体の環境・省エネ対策として、「杉並区環境・省エネ対策実施プラン」を策定し、現在、下記の削減目標の達成に向けて取り組んでいます。

また、学校においては、環境教育に引き続き取り組むとともに、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等を活用し、その充実を図っています。

エネルギー使用量削減の取組目標

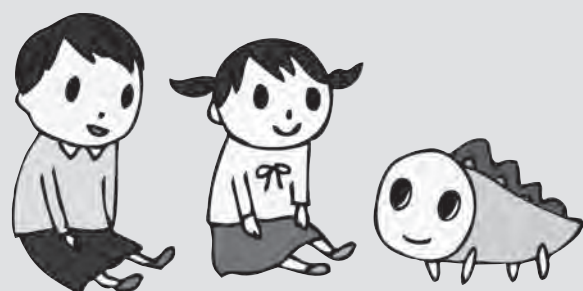
取組目標値	計画期間	取組目標（令和3年度）
前年度比1%の削減	令和元～3年度 (3年間)	平成22年度比12%の削減

6. 教育委員会の刊行物

主な刊行物の発行状況（平成30年度）

名 称	発行部数	名 称	発行部数
庶務課		生涯学習推進課	
すぎなみ教育報定期号（年4回）	延138,000部	すぎなみ大人塾2017記録集	300部
杉並区の教育	700部	郷土博物館だより「炉辺閑話」（第59、60号）	延 8,000部
学務課		郷土博物館研究紀要（第26号）	800部
移動教室手引書	延 8,100部	愛新覚羅浩展	1,000部
富士移動教室	4,150部	石山太柏	1,000部
弓ヶ浜移動教室	3,950部	すぎなみの地域史Ⅱ 高井戸	1,000部
杉並区学校環境衛生検査報告書	240部	済美教育センター	
杉並区の学校保健統計	250部	わたしたちの杉並区（小学校社会科副読本）	3,800部
小児生活習慣病予防検診結果について	220部	のびゆく杉並（中学校社会科副読本）	2,560部
杉並区の学校給食	450部	かけはし（小学校・中学校福祉副読本）	6,360部
特別支援教育課		地震に備えて（小学校・中学校防災副読本）	14,210部
教育相談概要	300部	職場体験学習プロジェクト&ワークブック	2,240部
杉並区の特別支援教育	1,000部	防災マニュアルミニブック	17,800部
学校支援課		杉並区中学生海外留学（第6期）成果報告書	350部
PTAハンドブック2018	6,400部	杉並区中学生小笠原自然体験交流（平成29年度派遣生徒報告書）	400部
青少年委員だより（71号、72号）	8,000部	杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム（概要版）	7,000部
平成30年度青少年委員実践集録	800部	中央図書館	
2018年家庭教育支援事業の記録	1,600部	杉並区立図書館利用案内（一般用）	35,000部
杉並区の学校開放	1,000部	杉並区立図書館利用案内（児童用）	4,000部
生涯学習推進課		杉並区立図書館要覧	500部
小学生名寄自然体験交流事業報告書	400部	よんでみよう 1ねんせい（1年生用ブックリスト）	4,000部
杉並区史跡散歩地図	4,000部	いま、この本（中・高校生用ブックリスト）	3,100部
埋蔵文化財保護の手引き	600部	赤ちゃんといっしょに絵本を	5,500部
平成29年度 杉並区文化財年報	300部	ねえ、よんで（3～5歳向けブックリスト）	5,500部

II 学校教育



1. 区立学校の概要

児童・生徒
園児数、
学級数



桃井第三小学校にて

小 学 校

令和元年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計									
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数								
杉並第一	60	2	68	2	52	2	56	2	53	2	53	2	342	12								
杉並第二	120	4	105	3	87	3	94	3	97	3	79	3	582	19								
杉並第三	2	29	1	32	1	5	25	1	2	27	1	5	29	1	5	35	1	20	177	3	6	
杉並第四	57	2	59	2	38	2	42	2	48	2	47	2	291	12								
杉並第六	58	2	56	2	51	2	60	2	57	2	51	2	333	12								
杉並第七	58	2	63	2	49	2	63	2	58	2	66	2	357	12								
杉並第八	42	2	24	1	32	1	26	1	26	1	25	1	175	7								
杉並第九	80	3	84	3	82	3	74	3	64	2	62	2	446	16								
杉並第十	98	3	81	3	96	3	62	2	77	3	72	3	486	17								
西田	109	4	114	4	117	4	91	3	115	4	102	3	648	22								
東田	63	2	81	3	47	2	68	2	75	3	48	2	382	14								
馬橋	3	83	3	4	92	3	0	86	3	3	102	3	0	86	3	2	88	3	12	537	2	18
桃井第一	126	4	145	4	135	4	134	4	106	3	143	5	789	24								
桃井第二	5	89	3	3	64	2	1	92	3	3	73	3	3	92	3	3	96	3	18	506	3	17
桃井第三	1	74	3	1	64	2	4	61	2	3	84	3	0	80	3	3	74	3	12	437	2	16
桃井第四	91	3	90	3	95	3	91	3	97	3	120	4	584	19								
桃井第五	98	3	116	4	124	4	124	4	101	3	120	4	683	22								
四宮	3	114	4	5	136	4	3	121	4	3	132	4	4	116	4	6	129	4	24	748	3	24
荻窪	114	4	123	4	105	3	124	4	115	4	120	4	701	23								
井荻	82	3	65	2	83	3	53	2	76	3	66	2	425	15								
沓掛	109	4	91	3	91	3	98	3	109	4	103	3	601	20								
高井戸	125	4	141	5	107	4	130	4	106	4	97	3	706	24								
高井戸第二	1	111	4	7	123	4	2	121	4	5	119	4	5	110	4	1	129	4	21	713	3	24
高井戸第三	97	3	70	2	89	3	89	3	73	3	70	2	488	16								
高井戸第四	73	3	76	3	50	2	55	2	48	2	55	2	357	14								
松庵	67	2	73	3	86	3	62	2	77	3	79	3	444	16								
浜田山	149	5	125	4	154	5	127	4	131	4	134	4	820	26								
富士見丘	68	2	59	2	71	3	82	3	62	2	64	2	406	14								
大宮	80	3	84	3	73	3	58	2	59	2	67	2	421	15								
堀之内	81	3	75	3	63	2	90	3	79	3	74	3	462	17								
和田	78	3	78	3	93	3	69	2	72	3	73	3	463	17								
方南	85	3	70	3	77	3	70	2	89	3	93	3	484	17								
済美	3	71	3	5	64	2	3	66	2	3	51	2	5	55	2	4	49	2	23	356	3	13
八成	86	3	92	3	114	4	129	4	106	3	93	3	620	20								
三谷	91	3	77	3	90	3	88	3	93	3	107	3	546	18								
松ノ木	42	2	40	2	42	2	47	2	23	1	51	2	245	11								
高井戸東	81	3	96	3	81	3	94	3	107	4	100	3	559	19								
久我山	58	2	83	3	76	3	74	3	79	3	78	3	448	17								
天沼	4	121	4	2	102	3	3	100	3	3	111	3	2	96	4	3	87	3	17	617	3	20
永福	85	3	101	3	78	3	119	4	87	3	101	3	571	19								
新泉和泉	4	139	4	3	126	4	3	129	4	7	120	4	8	124	4	1	97	3	26	735	4	23
計	26	3,542	123	31	3,508	118	24	3,429	119	32	3,462	115	32	3,353	118	28	3,397	114	173	20,691	26	707
済美養護	23	5	17	4	15	4	13	3	9	2	8	2	85	20								
合計	3,591	128	3,556	122	3,468	123	3,507	118	3,394	120	3,433	116	20,949	753								
前年度合計	3,571	124	3,463	123	3,487	119	3,377	119	3,389	115	3,233	115	20,520	736								

※点線の左側の欄は、知的障害の特別支援学級で外数

中 学 校

令和元年5月1日現在



松ノ木中学校にて

学校名	1年		2年		3年		計						
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数					
高 円 寺		37	1		45	2		36	1		118		4
高 南		67	2		66	2		53	2		186		6
杉 森		91	3		83	3		97	3		271		9
阿 佐 ヶ 谷	6	71	3	9	68	2	9	87	3	24	226	3	8
東 田		106	3		87	3		99	3		292		9
松 溪		106	3		87	3		121	4		314		10
天 沼		102	3		82	3		105	3		289		9
東 原		74	2		85	3		53	2		212		7
中 瀬		150	5		135	4		123	4		408		13
井 荻		132	4		154	4		164	5		450		13
井 草	10	159	5	10	151	4	6	172	5	26	482	4	14
荻 窪		78	3		62	2		78	2		218		7
神 明		81	3		102	3		73	2		256		8
宮 前	4	113	4	4	88	3	3	99	3	11	300	2	10
富 士 見 丘		61	2		80	2		75	2		216		6
高 井 戸		160	4		146	4		121	4		427		12
向 陽		105	3		88	3		94	3		287		9
松 ノ 木		65	2		61	2		97	3		223		7
大 宮	2	46	2	4	51	2	3	47	2	9	144	2	6
泉 南		79	3		77	2		82	3		238		8
和 田		83	3		70	2		71	2		224		7
西 宮		128	4		109	3		106	3		343		10
和 泉	4	69	2	6	63	2	6	59	2	16	191	2	6
計	26	2,163	69	33	2,041	63	27	2,112	66	86	6,315	13	198
済 美 養 護	18		3	15		3	13		3	46		9	
合 計		2,207	69		2,088	63		2,152	66		6,447		220
前 年 度 合 計		2,072	70		2,127	67		2,170	68		6,369		217

※点線の左側の欄は、知的障害の特別支援学級で外数

子 供 園

令和元年5月1日現在



西荻北子供園にて

園 名	3歳児		4歳児		5歳児		合 計	
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数
下 高 井 戸	23	1	32	1	35	1	90	3
堀 ノ 内	17	1	32	1	32	1	81	3
高 円 寺 北			12	1	20	1	32	2
成 田 西	22	1	33	1	33	1	88	3
高 井 戸 西	19	1	30	1	34	1	83	3
西 荻 北	21	1	27	1	33	1	81	3
合 計	102	5	166	6	187	6	455	17
前 年 度 合 計	102	5	170	6	186	6	458	17

※下高井戸と堀ノ内は平成22年4月から、高円寺北と成田西は平成23年4月から、高井戸西と西荻北は平成25年4月から子供園に転換しました。子供園は学校教育法上の幼稚園の認可を継承しつつ、教育及び保育を一体的に行う区独自の幼保一体化施設です。

※高円寺北は3歳児を受け入れていません。

区立学校等の
施設規模



桃井第二小学校

小 学 校

令和元年5月1日現在

学 校 名	敷地面積	校舎面積	体育館面積	普通教室	特別教室	プール（*は屋上）	
						設置年度	規 模
杉 並 第 一	5,599㎡	3,736㎡	544㎡	12	11	昭39	25×10.5m
杉 並 第 二	10,781	5,926	614	19	21	*昭53	25×10.6
杉 並 第 三	9,905	4,639	594	9	19	昭37	25×9
杉 並 第 四	9,277	4,413	910	12	8	*平3	25×10
杉 並 第 六	9,163	4,637	596	12	14	*昭49	25×10.3
杉 並 第 七	8,808	5,059	594	12	22	昭43	25×10
杉 並 第 八	8,857	4,391	594	7	19	昭31	25×9.3
杉 並 第 九	8,843	5,265	622	16	18	昭37	25×10
杉 並 第 十	10,000	6,199	2,942	17	14	昭60	25×10
西 田	12,353	5,970	659	22	16	昭45	25×10
東 田	7,714	5,006	594	14	14	*昭52	25×9.6
馬 橋	9,814	5,309	630	20	14	昭36	25×10.5
桃 井 第 一	11,652	5,200	636	24	12	昭43	25×10
桃 井 第 二	8,913	6,957	1,970	20	17	平31	25×10
桃 井 第 三	6,764	4,672	605	18	15	*昭49	25×9.6
桃 井 第 四	8,153	4,689	594	19	12	昭29	25×9.3
桃 井 第 五	9,095	6,035	920	22	10	*平6	25×10
四 宮	12,039	5,507	655	27	16	昭36	25×10
荻 窪	11,022	7,282	1,006	23	10	*平21	25×10
井 荻	9,061	4,564	630	15	12	昭37	25×10
沓 掛	11,909	6,226	589	20	13	平2	25×11
高 井 戸	10,885	7,517	1,227	24	18	*平19	25×10
高井戸第二	12,356	7,987	1,104	27	22	*平26	25×10
高井戸第三	10,166	5,797	629	16	15	*昭53	25×9.6
高井戸第四	7,837	4,519	617	14	16	昭27	25×9.3
松 庵	10,150	4,262	597	16	12	昭35	25×10
浜 田 山	11,343	6,226	599	26	14	*昭53	25×9.3
富 士 見 丘	9,488	5,202	594	14	23	*昭59	25×10
大 宮	7,983	4,733	594	15	19	*昭49	25×9.6
堀 之 内	8,379	4,590	1,002	17	10	*平11	25×10
和 田	10,487	4,891	599	17	13	昭43	25×10
方 南	10,819	7,433	938	17	13	*平19	25×10
済 美	9,497	5,241	594	16	16	*昭50	25×9.6
八 成	10,791	5,288	703	20	14	*昭56	25×9.6
三 谷	11,426	4,588	604	18	13	昭35	25×10.5
松 ノ 木	10,553	4,049	631	11	12	昭36	25×10
高 井 戸 東	8,572	4,768	650	19	13	昭47	25×10
久 我 山	9,539	5,179	756	17	17	*昭52	25×9.7
天 沼	6,661	7,185	906	23	18	*平22	25×10
永 福	11,123	4,800	1,103	19	9	*平24	25×10
新 泉 和 泉	9,048	7,118	828	27	19	*平27	25×10
合 計	396,825	223,055	32,773	733	613		

面積は小数点以下四捨五入

※普通教室数には特別支援学級含む

※新泉和泉小学校の敷地面積は杉並和泉学園の1/2とする。

※新泉和泉小学校の校舎面積は杉並和泉学園小学部棟の面積とする。

※新泉和泉小学校の特別教室数は杉並和泉学園小学部棟内の数

中 学 校

令和元年5月1日現在



杉並和泉学園

学 校 名	敷地面積	校舎面積	体育館面積	普通教室	特別教室	プール（*は屋上）	
						設置年度	規 模
高 円 寺	11,294㎡	5,018㎡	956㎡	4	21	改築工事中	
高 南	10,226	5,947	885	6	20	昭39	25×12
杉 森	11,900	7,105	948	9	19	*平元	25×11
阿 佐 ヱ 谷	6,954	7,645	921	11	22	*平元	25×11
東 田	16,742	5,862	978	9	20	昭56	25×11
松 溪	14,425	7,380	1,126	10	22	*平22	25×11
天 沼	11,601	5,790	834	9	20	昭40	25×11
東 原	13,134	5,813	1,019	7	23	*昭55	25×10
中 瀬	11,772	6,205	862	13	20	昭41	25×11
井 荻	11,837	6,442	1,436	13	16	*平11	25×11
井 草	14,049	8,988	1,178	18	19	*平23	25×11
荻 窪	9,673	4,577	878	7	19	昭54	25×11
神 明	8,226	5,361	585	8	22	昭40	25×11
宮 前	11,594	7,805	1,102	12	24	*昭54	25×10.1
富 士 見 丘	9,916	5,456	914	6	19	*昭55	25×10.1
高 井 戸	13,574	7,244	1,018	12	26	*昭58	25×11
向 陽	16,851	5,339	987	9	19	昭36	25×9.3
松 ノ 木	13,760	5,423	822	7	19	昭29	25×9.3
大 宮	13,301	5,947	1,341	9	20	*平4	25×13
泉 南	11,601	6,045	861	8	14	昭43	25×11
和 田	12,842	5,685	928	7	23	*昭55	25×10.1
西 宮	10,808	5,033	843	10	18	昭35	25×10.2
和 泉	9,048	5,621	807	8	19	*昭58	25×11
合 計	275,128	141,731	22,229	212	464		

面積は小数点以下四捨五入

※普通教室数には特別支援学級含む

※和泉中学校の敷地面積は杉並和泉学園の1/2とする。

※和泉中学校の校舎面積は杉並和泉学園中学部棟の面積とする。

※和泉中学校の特別教室数は杉並和泉学園中学部棟内の数

小 学 校 ・ 中 学 校

令和元年5月1日現在

	敷地面積	校舎面積	体育館面積	普通教室	特別教室
総 合 計	671,953㎡	364,786㎡	55,002㎡	945	1,077

面積は小数点以下四捨五入

特別支援学校

令和元年5月1日現在

学 校 名	敷地面積	校舎面積	体育館面積	普通教室	特別教室	プール（*は屋上）	
						設置年度	規 模
済 美 養 護	6,966㎡	4,132㎡	532㎡	27	8	*平5	14×11.5m 円形プール (直径6m)

面積は小数点以下四捨五入

子 供 園

令和元年5月1日現在

園 名	敷地面積	園舎面積	運動場面積	プールの有無
下 高 井 戸	1,694㎡	943	630	無
堀 ノ 内	2,242	700	1,006	有
高 円 寺 北	杉並第四小学校敷地内	421	603	無
成 田 西	1,732	714	836	有
高 井 戸 西	2,303	705	1,229	有
西 荻 北	1,395	728	488	無
合 計	9,366	4,211	4,792	

面積は小数点以下四捨五入

特別支援 学級

児童・生徒の発達や障害の特性等に応じて適切な教育ができるよう、区立小・中学校に特別支援学級（知的障害・難聴・言語障害）を設置しています。知的障害は小学校9校、中学校5校、難聴は小学校1校、中学校1校、言語障害は小学校3校に学級を設置しています。（P.55に関連記事「特別支援教育」があります。）

また、平成28年度から段階的に設置してきた特別支援教室は、平成31年4月で全区立小・中学校に設置となりました。教員が巡回して指導を行い、発達障害のある児童が在籍校において特別な教育的支援を受けられるよう、引き続き支援事業を充実していきます。

特別支援学級の現況

令和元年5月1日現在

障害の種類	学校名	児童・生徒数	学級数	障害の種類	学校名	児童・生徒数	学級数		
知的障害 (固定)	小学校	杉並第三	20	3	難聴 (通級)	小学校 高井戸	19	1	
		馬橋	12	2		中学校 高井戸	4	1	
		桃井第二	18	3	言語障害 (通級)	小学校	杉並第十	47	3
		桃井第三	12	2			高井戸	50	3
		四宮	24	3			高井戸第四	46	3
		高井戸第二	21	3	特別支援 教室	小学校 (41校)	451		
		済美	23	3		中学校 (23校)	145		
		天沼	17	3	合 計		1,021	50	
		新泉和泉	26	4	※令和2年度に高円寺地区小中一貫教育校に知的障害固定学級を新たに開設予定(小・中)				
	中学校	阿佐ヶ谷	24	3					
		井草	26	4					
		宮前	11	2					
		大宮	9	2					
		和泉	16	2					

特別支援教室の設置状況

	拠点校	巡回校
小学校	富士見丘	高井戸、高井戸第二、久我山
	杉並第三	杉並第四、杉並第八、杉並第十、馬橋
	杉並第七	杉並第一、杉並第二、杉並第六
	高井戸第四	桃井第三、井荻、松庵
	大宮	和田、方南、済美
	八成	杉並第九、桃井第五、沓掛
	三谷	桃井第一、桃井第四、四宮
	松ノ木	東田、浜田山、堀之内
	桃井第二	西田、荻窪、天沼
	永福	高井戸第三、高井戸東、新泉和泉
中学校	東田	高円寺、高南、阿佐ヶ谷、松ノ木、大宮、泉南、和田
	中瀬	杉森、天沼、東原、井荻、井草、荻窪、神明
	高井戸	松溪、宮前、富士見丘、向陽、西宮、和泉

※拠点校については、今後エリア内の学校数等を考慮して、必要な調整を進めていきます。

特別支援 学 校

済美養護学校は、知的障害（中・重度）のある児童・生徒の「自立と社会参加」を目指す教育を目的に、23区で初めての区立特別支援学校として昭和54年4月に開校しました。

現在、小学部20学級、中学部9学級、児童・生徒数131名で、①小規模校の特色を生かす、②個別指導計画や学校生活支援シートに基づく教育を進める、③地域や関係機関等との連携を深める、という方針に基づき運営しています。

済美養護学校の現況

令和元年5月1日現在

学 部	障害の種類	児童・生徒数	学 級 数
小 学 部	知 的 障 害	85	20
中 学 部		46	9
合 計		131	29
前 年 度 合 計		112	27

2. 学 校 生 活

就学事務

就学事務は、学校の入学から卒業に至る様々な事務があり、教育委員会における最も基本的な事務の一つです。

教育は人間の能力の開発、人格の形成、文化の伝達といった次の世代を創っていく社会の義務であり、特に、小・中学校への就学は、義務教育という国民の権利義務にかかわるものです。

このため、就学事務については、学校教育法等の法令によって詳細に規定され、運用されています。

具体的な事務としては、通学区域の指定、学級の編制、指定された学校の変更、区域外からの就学、外国人の就学などがあります。

区立小・中学校への入学 〈学務課〉

区立小学校41校、区立中学校23校には、それぞれ通学区域が定められており、下記日程で、新入学事務を行っています。

入学する学校は、原則として、住所地によって予め指定された小・中学校になります。

また、特色ある教育活動に参加を希望する場合や、やむを得ない事情がある場合は、指定された学校を変更する申立てをすることができます。

新入学事務の日程

10月	学齢簿の作成（10月1日現在）
11月	就学时健康診断の実施（11月末まで）
12月	小・中学校就学通知書の発送（12月中旬）
4月	学級編制基準日（4月1日） 入学式

新入学児童・生徒の内訳 平成31年4月7日現在

		学区域	指定校変更	区域外	合計
小学校	31年度新入学	3,300	234	10	3,544
中学校	31年度新入学	1,910	248	8	2,166

○区立子供園（3年保育）

子供園は区独自の幼保一体化施設であり、区内に6園設置しています。3歳から5歳までの短時間・長時間の幼児が共に生活します。

入園資格は、区内在住の3、4、5歳児です。（集団生活のできる軽度の障害がある幼児を若干名、受入れています。）

※長時間保育については、保護者の就労等のため長時間保育を必要とする幼児が対象です。

区立子供園の定員数

	3歳児	4歳児	5歳児
下高井戸子供園	23名	35名	35名
堀ノ内子供園	23名	35名	35名
高円寺北子供園	—	35名	35名
成田西子供園	23名	35名	35名
高井戸西子供園	23名	35名	35名
西荻北子供園	23名	35名	35名

保育時間は、短時間保育 月曜日～金曜日＝午前9時から午後2時
 （学年や時期により異なります。）

長時間保育 平日・土曜日の午前7時30分から午後6時30分のうち、保育を必要とする日及び時間
 ※年末年始はお休みです。

障害のある児童・生徒の就学については、保護者の意見を尊重しつつ、十分な相談を行い、保護者と一緒に適切な教育支援のあり方を考えていきます。

保護者からの申込みに基づき、障害の種類・程度、発達の特性等を把握し、医師・心理士等の専門的な所見を踏まえ、適切な就学先等を総合的に判断します。

就学先は、総合的判断と保護者の意向を踏まえ教育委員会が決定します。

区立小・中学校における外国人就学数及び帰国児童・生徒数

〈学務課〉

各年5月1日現在

年	外国人就学数			帰国児童・生徒数		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
26	76	42	118	85	9	94
27	82	36	118	80	22	102
28	96	46	142	93	22	115
29	118	47	165	77	25	102
30	140	37	177	109	30	139
元	158	42	200	133	19	152

※帰国児童・生徒数は、前年度中に帰国した数

通学路の設定等 〈学務課〉

小学校の児童の登下校時の交通安全を確保するため、平成31年4月1日現在582路線259,556mの通学路を設定しています。

通学路には、緑地に「文」の字の標識6,524組を電柱に取り付けるとともに、シルバー人材センターに通学安全指導業務を委託し、児童の事故防止を図っています。また、全区立小学校で毎年学校安全マップを作成するとともに、警察署や杉並土木事務所、PTAと協力し、通学路安全点検を実施しています。

さらに、学校の安全・安心を高めるため、警察署と連携を図りながら、全区立小学校の通学路に205台の防犯カメラを設置しました（1校につき5台）。令和元年・2年度の2箇年で89台の防犯カメラを通学路等に設置拡大していきます。

就学援助費の支給 〈学務課〉

経済的理由により、就学困難と認められる児童・生徒について、学用品費や給食費など学校で必要な費用の一部を、その保護者に対して支給します。（生活保護法による教育扶助を受けている場合は、それを除いた費用を支給します。）

就学奨励

就学援助費の内訳（平成30年度）

単位＝円

学 校	学 年	学用品費	給食費	学 校 行 事 費	入 学 準 備 金	該当者のみ						
						移動教室費	卒 業 ア ル バ ム 作 成 費	修 学 旅 行 費	体 育 実 技 用 具 費	学校生活管理指導表作成費	特別支援学級宿泊訓練費(固定学級)	通 学 費 特 別 支 援 学 級 在 籍 者
小 学 校	1年	10,906	実費	* 1,920	20,700	保護者負担相当額	実費	実費	実費	3,000	保護者負担相当額	実費
	2年	10,906		* 1,920								
	3年	10,906		* 3,570								
	4年	10,906		* 3,570								
	5年	10,906		* 4,030								
	6年	10,906		* 4,030								
中 学 校	1年	34,410	実費	7,370	22,900	保護者負担相当額	実費	実費	実費	3,000	保護者負担相当額	実費
	2年	34,410		7,370	保護者負担相当額							
	3年	34,410		7,370	保護者負担相当額							

* 小学校の学校行事費については、区外公立校及び国立学校に通われている方のみ対象

就学援助費の受給状況

各年度末現在

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	在籍者数	受給者数	認定率	在籍者数	受給者数	認定率	在籍者数	受給者数	認定率
26	18,637	3,324	17.8%	6,476	1,802	27.8%	25,113	5,126	20.4%
27	19,062	3,212	16.9%	6,552	1,678	25.6%	25,614	4,890	19.1%
28	19,436	2,909	15.0%	6,492	1,535	23.6%	25,928	4,444	17.1%
29	19,858	2,799	14.1%	6,445	1,523	23.6%	26,303	4,322	16.4%
30	20,463	2,699	13.2%	6,347	1,471	23.2%	26,810	4,170	15.6%

特別支援学級等就学奨励費の支給

〈学務課〉

小・中学校の特別支援学級及び済美養護学校在籍児童・生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減するため、就学に係る経費の一部を支給します。(就学援助を受けている場合は、交流学习交通費及び職場実習交通費のみ支給します。また、済美養護学校在籍者には、学校生活管理指導表作成費のみ支給します。)

特別支援学級等就学奨励費の内訳 (平成30年度)

単位=円

学校	学年	学用品費	給食費	通学費	入学準備費	校外活動費 (宿泊を伴うもの)	修学旅行費	特別支援学級 宿泊訓練	交流学习 交通費	職場実習 交通費	学校生活管理 指導表作成費
小学校	1年	3,184	実費の 1/2	実費	20,300	保護者負担 相当額の1/2		保護者負担 相当額の 1/2	実費		3,000
	2年	3,184									
	3年	3,184									
	4年	3,184									
	5年	3,184									
	6年	3,184									
中学校	1年	12,295	実費の 1/2	実費	23,700	保護者負担 相当額の1/2		保護者負担 相当額の 1/2	実費	実費	3,000
	2年	12,295									
	3年	12,295									

特別支援学級等就学奨励費の受給者数

各年度末現在

年度	小学校		中学校		合計		済美養護学校 学校生活管理指導表 作成費用
	学用品費	※通級費	学用品費	※通級費	学用品費	※通級費	
26	26	166	13	28	39	194	—
27	33	170	18	38	51	208	—
28	33	165	16	32	49	197	10
29	32	132	14	41	46	173	14
30	38	95	15	40	53	135	15

私立幼稚園等への助成

〈子ども家庭部保育課〉

杉並区内の私立幼稚園の園児数

各年5月1日現在

年	3歳児	4歳児	5歳児	合計
26	2,004	2,146	2,018	6,168
27	1,938	2,077	2,152	6,167
28	1,908	1,999	2,092	5,999
29	1,885	1,947	2,004	5,836
30	1,798	1,889	1,947	5,634
元	1,737	1,775	1,862	5,390

○私立幼稚園等園児の保護者に対する各種補助金

①入園料助成金

入園に際し、園児一人につき1回限り60,000円を助成します。

②保護者補助金 (杉並区と東京都の制度)

保護者全員に対し、所得 (区市町村民税額) に応じて、保育料の一部を補助します。

③就園奨励費補助金 (杉並区と国の制度)

所得 (区市町村民税額) に応じて、入園料・保育料の一部を補助します。

令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始されるため、本補助金は廃止される予定です。

補助金単価表（令和元年9月まで）

区分	目安の世帯の年収	区市町村民税所得割額（基準額） ※世帯の合計税額	補助金額（年額）			第1～3子以降の算定方法
			第1子	第2子	第3子以降	
1		生活保護受給世帯	462,800円	462,800円	462,800円	年齢を問わない兄・姉の人数
2		区民税所得割非課税世帯 ひとり親世帯等	426,800円	462,800円	462,800円	
			462,800円	462,800円	462,800円	
3	年収約360万円以下	77,100円以下の世帯 ひとり親世帯等	321,600円	401,800円	462,800円	小学校1～3年生に在学している兄・姉及び就園中の園児数
			426,800円	462,800円	462,800円	
4	年収約680万円以下	77,100円を超え211,200円以下の世帯	210,400円	332,600円	455,600円	
5	年収約730万円以下	211,200円を超え256,300円以下の世帯	159,600円	214,000円	368,000円	
6	年収約1,000万円以下	256,300円を超え366,000円以下の世帯	80,400円	154,000円	308,000円	
7	年収約1,000万円を超える	366,000円を超える世帯	48,000円	154,000円	308,000円	

※ひとり親世帯等とは保護者または保護者と同一世帯の方が下記に該当する世帯です。

- ア) 配偶者のいない者で現に児童を扶養している者
- イ) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（在宅の者に限る。）
- ウ) 特別児童扶養手当、国民年金の障害基礎年金の受給者（在宅の者に限る。）
- エ) その他区長が要保護者に準ずる程度に困難していると認められた者

④その他の補助金

私立幼稚園等設置者が行う園外保育、心身障害児教育、健康管理、長時間預かり事業に対して、補助します。

区立子供の保育料の減免 〈子ども家庭部保育課〉

生活保護受給世帯及び区市町村民税の所得割が非課税の世帯に対して、保育料を免除します（短時間保育のみ）。また、収入にかかわらず、小学校1～3年生あるいは就園中の兄姉がいて、当園児がその兄姉から数えて第二子に該当する場合は半額免除、同第三子に該当する場合は全額免除となります。ひとり親等世帯及び区市町村民税の所得割が77,101円未満の世帯は、兄姉の年齢を問わず半額免除、全額免除を適用します。

令和元年10月から、幼児教育・保育の無償化が開始されるため、保育料の減免制度は変更される予定です。

奨学金の貸付 〈学務課〉

区内居住者で、高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、高等専門学校又は専修学校（高等課程）へ進学を希望する人や在学中の人で、経済的な理由で進学することが困難な人に奨学金を貸し付けます。

奨学金の貸付状況

年	入学準備金		月額奨学金	
	件数	金額	件数	金額
26	28	6,600,000円	142	43,040,000円
27	28	6,200,000円	113	34,209,000円
28	20	5,400,000円	112	28,285,000円
29	18	4,400,000円	77	19,829,000円
30	14	3,000,000円	56	17,354,000円

近年の生活環境の変化は、肥満、体力低下、心の健康問題等、子どもたちの健康に大きな影響を及ぼしています。学齢期は、生涯を通じて心身ともに健康で安全な生活を送るための基礎を培う大切な時期であるため、学校保健では、児童・生徒が健康的な生活習慣を身に付けることを目標としています。

環境衛生 〈学務課〉

学校薬剤師による「学校環境衛生基準」に沿った検査（プールの水質・教室の照度・教室等の空気・ダニアレルゲン・室内空气中化学物質濃度）のほか、簡易専用水道の衛生管理検査、飲料水及び雑用水の水質検査等を行っています。

また、日常的にも毒物及び劇物の管理、環境衛生の改善向上を図っています。

なお、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき特定建築物に該当する大規模校（小・中学校13校）については、建築物環境衛生管理技術者を選任し、関係法令を遵守してよりきめ細かな環境衛生管理業務を行っています。

健康診断 〈学務課〉

園児・児童・生徒に対し、学校医・学校歯科医による定期健康診断（内科・眼科・耳鼻科・歯科）のほか、結核・心臓・尿・四肢の状態・脊柱側弯症・小児生活習慣病などの検診を実施し、疾病の予防・発見・治療の指導を行い、健康管理に努めています。

また、教員及び職員に対しては、定期健康診断（胃がん・大腸がん・肺がん・風疹抗体検査・VDT・C型肝炎検査・前立腺がん検診を同時実施）のほか、腰痛・乳がん・子宮頸がん検診・ストレスチェックを実施しています。

身体計測値の平均値（平成30年度）

区分			身長 (cm)		体重 (kg)	
			平均	標準偏差	平均	標準偏差
子供園	3歳	男	96.9	4.2	14.4	1.4
		女	95.5	3.1	13.9	1.3
	4歳	男	103.3	4.3	16.8	2.1
		女	102.7	4.0	16.1	1.8
	5歳	男	110.5	4.7	18.6	2.6
		女	108.7	4.5	17.9	2.3
小学校	6歳	男	117.1	4.9	21.5	3.1
		女	116.0	4.8	20.9	3.0
	7歳	男	123.1	5.2	24.0	3.6
		女	121.7	5.0	23.4	3.5
	8歳	男	128.4	5.3	26.8	4.7
		女	127.5	5.3	26.2	4.2
	9歳	男	134.0	5.7	30.2	5.7
		女	133.6	6.1	29.6	5.4
	10歳	男	139.3	6.0	33.7	6.8
		女	140.0	6.4	33.3	5.9
	11歳	男	145.2	6.7	37.9	7.6
		女	147.1	6.7	38.1	7.1
中学校	12歳	男	152.7	7.7	42.9	8.9
		女	152.3	6.0	43.1	7.3
	13歳	男	160.4	7.5	48.4	9.5
		女	155.3	5.6	46.8	7.4
	14歳	男	165.7	6.6	53.8	9.6
		女	157.5	5.2	49.9	7.1

定期健康診断結果（平成30年度）

	区 分	子 幼 園		小 学 校		中 学 校		備 考	
		男	女	男	女	男	女		
在	籍 者 数	305	233	10,651	9,862	3,501	2,870		
受	診 者 数	258	192	10,583	9,822	3,419	2,807		
栄養状態	栄 養 不 良	0	0	7	3	7	3		
	肥 満 傾 向	2	0	93	62	43	11		
脊柱胸郭	脊 柱 側 弯 症・脊 柱 異 常	0	0	107	109	62	87		
	胸 郭 異 常	0	0	11	6	4	3		
	四 肢 異 常	0	0	92	38	29	21		
裸眼視力	裸 眼 視 力 測 定	77	51	10,050	9,207	3,049	2,354	5歳クラスのみ測定 (眼鏡・コンタクト装 用者の欄は裸眼視力測 定者中の人数)	
	1.0以上	40	23	6,627	5,459	1,290	733		
	1.0未満0.7以上	20	13	1,368	1,412	384	304		
	0.7未満0.3以上	15	13	1,185	1,317	580	526		
	0.3未満	2	2	870	1,019	795	791		
	眼 鏡・コ ン タ ク ト 装 用 者	3	1	661	839	705	789		
眼 疾 患	眼 鏡・コ ン タ ク ト 装 用 の た め 矯 正 視 力 の み 測 定 者	2	1	491	588	359	451		
	受 診 者	254	193	10,554	9,793	3,388	2,772		
	感 染 性 眼 疾 患	1	0	10	1	0	1		
	ア レ ル ギ ー 性 眼 疾 患	6	4	1,198	982	363	221		
聴 力	そ の 他 の 眼 疾 患	5	3	378	374	166	115		
	受 診 者	0	0	6,990	6,635	2,285	1,858	小学校4・6年生、 中学校2年生を除く	
	難 聴	0	0	51	54	10	11		
耳鼻咽喉疾患	受 診 者	250	192	10,554	9,795	3,413	2,808		
	耳 疾 患	65	49	973	761	305	142		
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 疾 患	11	8	1,493	1,055	569	356		
	そ の 他 の 鼻・副 鼻 腔 疾 患	8	9	817	488	128	60		
皮 膚 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患	2	1	39	26	0	2		
	感 染 性 皮 膚 疾 患	6	4	17	9	1	0		
	ア レ ル ギ ー 性 皮 膚 疾 患 (ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎)	6	4	905	816	138	99		
	ア レ ル ギ ー 性 皮 膚 疾 患 (ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎 以 外)	0	—	101	88	19	26		
結 核	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	1	1	59	28	3	0		
	受 診 者	0	0	10,240	9,564	3,431	2,815		
	結 核 患 者	0	0	0	0	0	0	小・中学校のみ対象	
心 臓	精 密 検 査 対 象 者	0	0	20	25	5	7		
	受 診 者 (心 電 図 検 査)	0	0	1,843	1,701	1,043	898	小学校1年生、中学校1年生のみ対象	
	心 臓 疾 患	1	2	89	75	43	31		
検 尿	心 電 図 異 常	0	0	8	9	10	12	小学校1年生、中学校1年生のみ対象	
	受 診 者	259	192	10,584	9,818	3,432	2,820		
そ の 他	尿 蛋 白 検 出	1	0	25	67	49	31		
	尿 糖 検 出	0	0	2	4	6	3		
	気 管 支 喘 息	3	3	423	304	185	95		
歯 科	腎 臓 疾 患	0	0	12	22	8	11		
	言 語 障 害	3	0	55	20	3	2	特別支援学校以外全員	
	そ の 他 の 疾 病・異 常	2	2	124	107	62	42	特別支援学校以外全員	
歯 科	歯 科 受 診 者	251	188	10,508	9,761	3,369	2,785		
	う 歯・要 観 察 歯 関 の 状 態	乳 歯 又 は 永 久 歯 の う 歯	処 置 完 了	12	13	2,164	1,826	646	558
		未 処 置 歯 の 有 る 者	31	19	1,583	1,356	380	355	
	歯 列・咬 合 の 異 常	永 久 歯 の う 歯 経 験 者	1	1	893	986	930	864	
		乳 歯 又 は 永 久 歯 に 要 観 察 歯 の 有 る 者	26	16	774	728	545	393	
	顎 関 節 の 異 常	歯 周 疾 患 要 観 察 者	3	1	80	29	122	41	
		歯 周 疾 患 要 観 察 者	4	6	1,160	873	575	264	
	歯 垢 の 状 態	歯 列・咬 合 の 異 常	4	3	251	227	108	97	
		顎 関 節 の 異 常	0	0	2	5	7	6	
	そ の 他 の 歯・口 腔 の 疾 病・異 常	歯 垢 の 状 態	23	9	529	366	199	65	
		そ の 他 の 歯・口 腔 の 疾 病・異 常	11	4	307	330	61	54	
		永 久 歯 の う 歯 の 内 容	未 処 置 歯 数	0	0	157	234	181	155
	う 歯 に よ る 喪 失 歯 数		0	0	1	0	0	0	
	処 置 歯 数		0	0	286	324	356	403	

※在籍者数は平成30年5月1日現在 ※済美養護学校の児童・生徒を含む

区立小・中学校、子供園の管理下での災害（負傷、疾病、障害または死亡）に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと公費で災害共済給付契約を結んでいます。学校（園）の管理下での災害では、医療費や見舞金が給付されます。

独立行政法人日本スポーツ振興センター災害報告及び給付状況（平成30年度）

区 分	加入者数	災 害 報 告 状 況		給 付 状 況		
		件 数	発 生 数	給付件数	給付金額	1件当たりの平均給付額
子 供 園	458人	9件	1.97%	15件	216,532円	14,435円
小 学 校	20,445人	801件	3.92%	1,355件	10,196,265円	7,525円
中 学 校	6,332人	463件	7.31%	950件	9,581,753円	10,086円
特別支援学校	112人	1件	0.89%	1件	2,868円	2,868円
合 計	27,347人	1,274件	4.66%	2,320件	19,997,418円	8,616円

※ 加入者数は平成30年5月1日現在

※ 災害報告状況の件数は、給付を受けた災害報告の件数

※ 給付状況は、給付を受けた医療費の件数と金額

学校給食

学校給食の推進 〈学務課〉

学校給食は、児童・生徒に栄養のバランスのとれた安全・安心な食事を提供するとともに、給食内容の多様化を図っています。

平成20年6月から米飯給食を週4回以上実施しています。また、地元野菜の活用や国内産の食材のみで作る「国内産食材の日」給食を設定し、子どもたちと区内生産者等が交流する機会を設けるなど、食への関心を高める取組を行い、学校給食を食育の生きた教材として活用しています。(P.50に関連記事「食育の推進」があります。)

さらに、関係職員の研修会などを開催し、給食管理・安全衛生管理・食育の充実を図るとともに、児童・生徒に喜ばれる給食づくりに努めています。

- ・平成13年9月から始まった調理業務の民間委託は、令和元年度新たに小学校1校が加わり、小学校35校、中学校19校となりました。
- ・平成16年度2学期からは食育の一環として、全ての米飯給食に「麦ごはん」を取り入れ、栄養面の効果を得るとともに、心と体の健康を考えるきっかけづくりに努めています。
- ・学校では行事等に合わせ、児童・生徒が楽しく食事ができるよう、野外等での「弁当給食」、メニューを選択し予約する「リザーブ給食」、料理の種類を選択する「バイキング給食」を実施するなど、各学校が工夫して給食の多様化に取り組んでいます。



農家による出前授業
(杉並第八小学校)



食育授業の様子
(井荻小学校)

令和元年5月分標準献立の栄養摂取量

小学校（中学年）

区分	エネルギー (kcal)	たん白質 エネルギー 比(%)	脂質 エネルギー 比(%)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B1 (mg)	ビタミン B2 (mg)	ビタミン C (mg)	食物 繊維 (g)	食塩 相当量 (g)
摂取量	634	15.8	26.8	36.5	2.8	264	0.36	0.52	36	5.6	2.4
摂取基準	650	13~20	20~30	350	3.0	200	0.40	0.40	20	5.0以上	2.0未満

中学校

区分	エネルギー (kcal)	たん白質 エネルギー 比(%)	脂質 エネルギー 比(%)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B1 (mg)	ビタミン B2 (mg)	ビタミン C (mg)	食物 繊維 (g)	食塩 相当量 (g)
摂取量	782	15.7	25.7	372	3.9	294	0.44	0.60	45	6.6	3.0
摂取基準	830	13~20	20~30	450	4.0	300	0.50	0.60	30	6.5以上	2.5未満

一食当たりの標準食単価

年度		小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
25	通常	237	255	274	308
	多様化	308	331	356	400
26	通常	244	262	281	317
	多様化	317	341	365	412
27	通常	249	267	287	323
	多様化	324	347	373	420
28	通常	249	267	287	323
	多様化	324	347	373	420
29	通常	249	267	287	323
	多様化	324	347	373	420
30	通常	252	270	289	326
	多様化	328	351	376	424
元	通常	254	273	292	329
	多様化	330	355	380	428

米飯給食の実施回数（週平均）

年度	小学校	中学校	小・中平均
23	4.0	4.1	4.0
24	4.0	4.1	4.0
25	4.1	4.1	4.1
26	4.1	4.1	4.1
27	4.1	4.1	4.1
28	4.2	4.1	4.2
29	4.1	4.2	4.2
30	4.1	4.2	4.2

移 動 教 室 〈学務課〉

移動教室
(宿泊を
伴うもの)

移動教室（宿泊を伴うもの）は、恵まれた自然環境の中で、人間性豊かな児童・生徒を育成するための学校行事です。

自然に直接触れることによって、自然科学への関心を助長し、集団生活を通じて他人への思いやりの心を培います。小学校で2回、中学校で1回、実施します。（P.52に関連記事「フレンドシップスクール」があります。）



富士移動教室

○小学校の移動教室

- ・小学校5年生中心の富士移動教室（2泊3日）
- ・小学校特別支援学級児童（3～6年）の富士移動教室（2泊3日）
- ・小学校6年生中心の弓ヶ浜移動教室（2泊3日）
- ・済美養護学校小学部の夢の島公園移動教室（2泊3日）



弓ヶ浜移動教室

○中学校の移動教室

- ・中学校2年生の菅平等移動教室（3泊4日）
- ・中学校特別支援学級生徒の移動教室（夏：2泊3日、冬：3泊4日）
- ・済美養護学校中学部の移動教室（2泊3日）



菅平移動教室

富士移動教室については「富士学園」、弓ヶ浜移動教室については「弓ヶ浜クラブ」を宿泊利用施設として実施しています。平成14年度からは、従来実施していた2校が合同して移動教室を行う「2校合同実施」に加え、5・6年生が合同で移動教室を行う「異学年合同実施」を導入しています。

菅平移動教室については、平成14年度まで利用していた「菅平学園」が平成15年3月末で廃園となったため、平成15年度からは菅平高原の民間ホテル等の宿泊施設を利用して実施しています。また、平成17年度から、菅平高原以外の場所でも移動教室を行い、平成30年度は、苗場、舞子高原で計2校が移動教室を実施しました。

移動教室の参加児童・生徒数（平成30年度）

移 動 教 室		参加者数（人）	延宿泊数（日）
小 学 校	富 士	3,508	7,004
	弓 ヶ 浜	3,065	6,122
中 学 校	菅 平 等	2,175	6,392

（各移動教室の宿泊数は上記のとおり）

3. 学校教育の充実

切れ目のない教育

学校教育の目的は、子どもが自身で選んだ人生をよりよく歩めるよう、その基盤となる生きる力を確実に育むことにあります。

そのため、就学前の遊びを通じた学びを円滑に小学校へとつなぐとともに、義務教育9年間は一人ひとりの多様性に応じながらも一貫した理念に基づく教育を行うことで、全ての子どもに「自らの道を拓く力」と「共に生きる力」を調和的に育んでいきます。

小 中 一 貫 教 育 〈済美教育センター、学校支援課〉

「杉並区小中一貫教育基本方針」及び「すぎなみ9年カリキュラム」に基づき、義務教育期間の終了までに、人生の基盤となる学力や体力、社会性を確実にかつ調和的に育成するために、学校内・外の様々な人材が協働し、各々の地域に根差した多様で一貫性のある教育（小中一貫教育）を推進しています。

連携する小・中学校のグループでは、学びのつながりである「系統性」と「連続性」、人材の活かし合いである「協働」の視点に立ち、土曜授業の機会なども活用しながら実践的な研究に取り組んでいます。

また、平成28年度から平成30年度にわたり区内初の施設一体型小中一貫教育校である杉並和泉学園の運営等に関する検証を行いました。検証において明らかになった成果や課題を、同学園の運営等の充実はもとより、全小・中学校における小中一貫教育の更なる充実に活かしていきます。

○『すぎなみ9年カリキュラム』の編成と実現

教育委員会では、「まちが育てる学校」「学校づくりはまちづくり」の理念に基づいた「すぎなみ9年カリキュラム」を編成し、系統的かつ連続的な学び、異校種や地域との協働について具体的な事例を交えて示すことで、各学校・地域の小中一貫教育の充実を支援しています。

今後は、生涯にわたる学びと成長の視点に立ち、すぎなみ地域大学などによる生涯学習との接続を見据えながら、幼保小の連携、区内の都立学校や高等教育機関、関係団体との協働についても充実を図ることで、「まちが育てる学校」「学校づくりはまちづくり」の理念の実現を目指していきます。

就 学 前 教 育

〈(仮称)就学前教育支援センター開設準備担当、子ども家庭部保育課〉

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、生きる力の基礎を育むために、全ての幼児が質の高い就学前教育を受けられるよう、区内の就学前施設における教育・保育の質の向上を図っています。

平成30年度から改訂・実施の幼稚園教育要領・保育所保育指針等の考え方について、研修会や連絡会等を通して、全ての就学前教育施設での理解促進と共有を図り、新たな教育課題に対応した教育・保育を展開していきます。また、公立・私立を問わず、子供園、幼稚園、保育園の保育者が共に学ぶ幼児教育研修を充実させ、区内全体の保育者の資質・能力の向上につなげていきます。

平成29年度に改定した「杉並区立子供園育成プログラム」は、各子供園の取組等を踏まえて検証しながら、今後も内容の充実を図っていくとともに、区内にある他の就学前教育施設（私立幼稚園や保育所など）に対しても、積極的な情報提供に努め、区内全体の幼児教育の質の向上に努めていきます。

幼保小連携教育

〈済美教育センター、(仮称)就学前教育支援センター開設準備担当〉

子どもの成長や発達、学びの連続性を踏まえ、就学前教育から小学校教育への円滑な移行を図るとともに、より効果的で切れ目のない教育を展開するため、幼稚園・幼稚園・保育園と小学校による幼保小連携教育を推進しています。

令和元年度は、「幼保小連携校」を小学校全校に拡大し、「杉並区立幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム」に基づく先進的な実践を行い、互惠性のある幼保小連携の交流・連携活動を一層充実させていきます。

また、小学校教員を対象に実施している「幼児教育公開」について、区立子供園のほか、新たに私立幼稚園2園及び保育園2園による公開を実施し、小学校教員や保育士の積極的な参加を促して、幼保小の相互理解と連携を深める機会の充実を図ります。

就学前教育支援センターの開設準備

〈(仮称)就学前教育支援センター開設準備担当〉

区内の就学前教育施設における幼児教育の質の向上に資する教育的支援を総合的・一体的に行う、「就学前教育支援センター」の開設準備を進め、令和元年9月に開設する予定です。

また、併設する成田西子供園と連携・協働して幼児教育に関する調査・研究を進めます。

学力向上の支援 〈済美教育センター〉

人生の基盤となる学力の確実な育成に向け、緊要の教育課題を中心に、各学校・教員の取組を支援する様々な事業を展開しています。また、授業においては、教科等の別なくICTの利活用を推進するとともに、一人ひとりに異なる多様な学習者の視点に立った「個別化」「探究化」「協同化」による学びの構造転換を進めることで、新学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。

○理科教育〈済美教育センター、教育人事企画課〉

児童・生徒の科学に対する興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力を育むために、理科室の整備や教員による授業の補助等を行う理科支援員を小学校に配置しています。

また、済美教育センター理科指導員と各学校の担当教員の協働による「理科出前授業（実験授業・移動式プラネタリウム）」を全小・中学校で実施し、各校の理科の授業の充実を図ります。

○外国語・国際理解教育〈済美教育センター〉

言語や文化の違いを超えて共に生きる感度を基盤に外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、これまで以上に系統的・連続的で充実した外国語教育を実施していきます。「入門期」となる小学校第1学年から第4学年では、異文化交流・体験を目的にネイティブ・スピーカーを主としたALT（外国人英語指導助手）を、「基礎期」となる第5・6学年ではALTに加え自ら外国語を学んだ経験を生かすことのできるJTE（日本人英語指導助手）を、「充実期」となる中学校ではALTを配置し、教員を支援しています。



移動式プラネタリウム

○プログラミング教育（済美教育センター、庶務課）

平成30年1月に開催した「杉並教育ICTフォーラム」では、人間の知性と人工の知能が学び合い支え合うこれからの時代を「共生する知の時代」と表現しました。プログラミング教育は、計算機科学やロボティクスなどのテクノロジーが実現するこうした時代の到来を見据え、プログラミングの体験を通じて論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成を図るものであり、計画的に整備してきたICT環境によって、算数科、理科、総合的な学習の時間、技術科等での実施を支援しています。

パワーアップ教室 〈済美教育センター〉

学校の授業内では解決の難しい学び残しやつまずきの解消、より発展的な内容への挑戦など、児童・生徒一人ひとりの学習状況により応じる学びの機会を提供するために、補習やその支援事業を実施しています。

○小・中学校夏季パワーアップ教室

全ての児童・生徒の学ぼうとする意欲に応えるため、全区立小・中学校において、夏季休業中に実施する補習授業（小・中学校夏季パワーアップ教室）を実施しています。

○中学3年休日パワーアップ教室

各区立中学校において授業や放課後、夏季休業中の補習では解決が難しい学習課題の解決や、より一層学習したいという中学校3年生の意欲に応えるため、平成25年度から区立中学校等を会場に長期休業中と休日を利用し外部講師による補習授業（中学3年休日パワーアップ教室）を実施しています。

体力向上の支援 〈済美教育センター〉

人生の基盤となる体力の確実な育成に向け、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を視野に入れた小・中学校「一校一取組」を支援するために、運動の楽しさや技術などを専門家から学ぶ「体力づくり教室」、中学校武道指導の安全と質的充実を図る「武道指導員」の派遣などを行っています。

また、杉並区教育課題研究指定校の一つとして体育・健康教育を課題とする「体力向上センター校」を指定し、区内の全ての小・中学校に、運動能力、食、生活習慣を一体的に捉えた体育・健康教育の取組を広げています。

オリンピック・パラリンピック教育の推進 〈済美教育センター〉

東京都教育委員会「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針を踏まえ、杉並区教育委員会が定める4つのテーマ（障害のある人への理解、スポーツ、文化、環境）と4つのアクション（学ぶ、観る、する、支える）による教育活動を教育課程に位置付け、全ての区立学校（園）でオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。

防災教育。〈済美教育センター〉

東日本大震災の発災を受け、「杉並区立学校（園）における震災時対応及び防災対策の指針」に基づき、自助・共助・公助の視点から、都市型災害も想定した取組を推進しています。また、防災教育の一層の充実を図るため学校安全に関する教員研修を実施するとともに、防災副読本及び防災マニュアルミニブックを配布しています。さらに、小学生を対象とした体験型防災教育や、区立学校を核にして進める防災意識高揚に向けた取組の一環として小・中学生を対象とした防災作文コンクールを実施しています。

中学生レスキュー隊 〈学校支援課〉



中学生レスキュー隊

中学生レスキュー隊は、区立中学校において生徒会活動や部活動として生徒の有志により編成するものです。地域で生活する中学生が、救命救急技術をはじめ災害時に役立つ知識、技能を身に付ける活動を通して、防災意識や地域社会等に貢献しようという意識等を高めることを目的としています。

平成26年3月には、「杉並区中学生レスキュー隊活動指針」を改定し、「杉並区教育ビジョン2012」に掲げる教育目標である学びの成果の還元・地域とのかかわりを意識した活動を実施しています。

具体的には、消防署の協力による合同訓練や、防災体験学習施設への見学等を実施しています。また、学校においては、自主訓練として、行政機関や震災救援所運営連絡会等の地域組織の協力を得て実施しています。

平成30年度も区立中学校全校に設置され、476人の生徒が参加しました。

社会とかがわる力を育む教育の推進 〈済美教育センター〉

人生の基盤は、学んだことを、日常生活や社会生活とのかかわりの中で相互に関連付けながら活用し、自らの生き方に結び付ける活動によって確かなものになります。生き方を学ぶ教育活動や職場体験学習は、そうした総合的な学びの機会として展開しています。

○生き方を学ぶ教育活動

生き方を学ぶ教育活動は、社会へ主体的に参画する資質・能力を育むことを目的に、繰り返し地域と関わる活動を通して、地域の実態や課題について探究的に学び、創造的、協同的に解決に取り組む活動です。

特に、小学校第6学年、中学校第3学年では、各校種での学びの成果を還元し、学校づくりを通じたまちづくりに資するために、各々の地域に即した社会貢献活動を実施しています。

○職場体験学習

中学校では、原則第2学年において、「自立した社会人となるための心構えを養うこと」「生徒が、自身への自己有用感を高め、生きる意欲を引き出すこと」、また、「地域と生徒との交流を図り、地域の学校及び教育への理解を深めることで、地域の教育力を高めること」をねらいとした職場体験学習を実施しています。生徒は、事前学習を行った上で、地域にある民間事業所・行政機関等で実際の業務に従事することで、地域を形成する自立的な共同体の存在に気付くとともに、体験を基にした探究的な学習を進めています。

これらの学びは、生徒一人ひとりの人生の基盤を確実に築くのみならず、持続可能な社会を志向し、次代を共に支え、創ることにもつながっていきます。

フレンドシップスクール **〈学務課〉**

フレンドシップスクールは、充実した中学校生活を送るための良好な人間関係を構築できる力を養い、以後の学校生活において、スムーズなコミュニケーションがとれるようになることを目的に実施しているものです。中学校に進学して間もない時期に生徒一人ひとりが「人間関係の構築力」の育成を図り、充実した中学校3年間の学校生活を送るための基盤づくりにつながっています。

交流自治体との友好関係を生かし、地元農家などでの農業体験や自然体験を通して、生徒にとってより充実した体験活動となるように交流自治体で実施します。

〈令和元年度〉

実施校	23校
対象学年	中学校1年生
実施期間	1学期中、2泊3日から3泊4日以内で実施
実施場所	群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市、 福島県北塩原村

特色ある学校づくりの充実 **〈済美教育センター〉**

各区立学校には、校長が策定・編成する経営計画や教育課程の下、「まちが育てる学校」「学校づくりはまちづくり」の理念に基づいて各々の地域の良さを生かし、自校に特有の課題を解決していく自主的・自律的な「特色ある学校づくり」が求められます。

済美教育センターでは、特色ある学校づくりの充実に向けた支援のため、教育委員会事務局の他課と連携を図りながら、実情に応じた予算配分をしています。

危機管理体制の強化 **〈庶務課、済美教育センター、学校整備課〉**

子どもたちが安心して学校に通い、学校生活を送れるよう、地震などの自然災害や火災等のあらゆる事態に対して、安全対策の手引きや危機管理マニュアルに基づく、児童・生徒への安全指導、施設の安全管理に努めています。学校においても、訓練の実施、地域との連携、協力体制の構築により、マニュアルの実効性を高め、それぞれの学校に応じた安全対策、危機管理体制づくりを進めています。また、児童・生徒の水・食糧の備蓄や児童への防犯ブザーの貸与、緊急地震速報や校門への防犯カメラの設置、民間警備員の配置、地域住民で構成される学校安全支援隊への支援助成や、災害時の保護者等への緊急連絡網の運用などにより体制の強化を図ります。

学校では、教職員一人ひとりがそれぞれの役割と責任を果たすとともに、地域や保護者などと互いに連携・協力しながら、組織的な取組を行い、学校の経営力・教育力を高めていく必要があります。

そのために、豊富な経験を有する指導教授や教育指導教員等を配置し、区内全ての学校の教育力の更なる向上に努めていきます。

また、学校司書や区が採用している教員（区費教員）をはじめとする各学校に配置した様々な人材を有効に活用していきます。

指導教授・教育指導教員の配置 〈教育人事企画課、済美教育センター〉

若手教員の育成・支援のため、豊富な経験を有する元校長等を指導教授として配置し、拠点校を中心に継続的な巡回指導を行っています。

また、教育指導教員を済美教育センター内に配置し、各学校を巡回、教員への教科等に関する指導を行うとともに、自らが模範となる授業を公開するなど、教員全体の指導力向上に関わる事業を実施しています。

教員研修の活性化と授業力向上塾の運用 〈済美教育センター〉

教科等の指導力に優れた指導教諭や杉並区教科等教育推進委員の任命を受けた教員を中核人材として活用し、教員研修の活性化を図っています。このうち授業力向上塾は、校長や指導教諭、教科等教育推進委員、指導主事等が連携し、模範授業や公開授業の参観、協議会への参加、研究授業の実施等により、将来における教科等教育推進委員への任命を視野に入れた人材育成を行っています。

学校司書の配置 〈教育人事企画課、済美教育センター〉

「読書センター」「学習・情報センター」としての学校図書館運営機能の充実を図るため、区立小・中学校全校に学校司書を配置し、司書教諭、ボランティアとの協働により、蔵書の充実・適正管理、教員への授業支援等を行っています。

また、学校図書館サポートデスクが、学校司書等への研修の実施や、学校図書館の運営、授業での活用等について、教員や学校図書館関係者からの相談に応じています。

区費教員の効果的な活用 〈教育人事企画課〉

区が採用している教員（区費教員）について、小学校における区独自の30人程度学級の実施のほか、特別支援教育の充実等に資するため、小・中学校、特別支援学校への効果的な配置・活用を図っています。

補助教員の活用 〈教育人事企画課〉

教員とのチームティーチングによる授業補助等を行う補助教員を、中学校及び特別支援学校へ重点的に配置し、学校の実情に応じた教育活動の充実を図っています。

学校法律相談の実施 〈庶務課〉

校長・副校長が弁護士から必要な助言等を得る「学校法律相談」により、学校における法律問題等への対応力を高めています。

部活動の支援 〈学校支援課〉



部活動の支援

生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するとともに、運動部活動が持続可能なものとするための指針「杉並区教育委員会運動部活動の在り方に関する指針（ガイドライン）」（平成31年3月策定）の趣旨に添い、以下の事業を実施しています。各学校の実情に応じて、選択・活用することで、効果的・効率的に部活動を行えるよう支援しています。

○外部指導員事業

地域の人たちが学校の求めに応じて、顧問教員の指導補助を行っています。指導資格などは問わず、自らの知識、技能、経験を活かし、部活動を支えています。

○部活動活性化事業

指導が困難な顧問教員の負担軽減として、区が技術指導を専門事業者等に委託し、専門性のある指導資格を有したコーチが指導を行っています。

平成28年度からは、平成25年度～27年度に土日の練習を対象に実施してきたモデル事業の検証・評価を踏まえ、顧問教員の指導技術向上を図るプロフェッショナル事業や複数校による合同部活動事業を包含するとともに、平日の実施及び種目により試合での指示・指導にも対応しています。

区内都立学校との連携協働 〈済美教育センター〉

教育委員会と区内都立学校9校とが互いに連携して教育活動を支援し、相互の交流・活用を図り、地域の発展と相互の交流、人材育成等に寄与するため、平成26年3月「杉並区教育委員会と区内都立学校との連携協働に関する包括協定」を締結しました。都立学校の敷地を活用した小・中学校の学習活動を行ったり、都立校生徒と合同の地域清掃や防災訓練を実施したりしています。

学校評価 〈済美教育センター〉

学校評価は、各学校・子供園が、自らの教育・保育活動その他運営について振り返り、組織的・継続的な改善を図るための取組です。杉並区立学校においては、自校の教職員が行う「自己評価」に加え、保護者や地域住民、連携する他校種の校長や有識者等の関係者による「関係者評価」も実施しています。

関係者評価は、自己評価の客観性や透明性を高める効果があります。また、地域運営学校や学校支援本部の取組と合わさることで、保護者や地域住民の学校に対する理解と参画を促し、一校の教職員でできる範囲を超えたより質の高い学校づくりにつながっています。

教員の働き方改革の推進 〈教育人事企画課〉

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、学校に求められる期待や役割は増加し続け、教員の業務負担の増大や長時間労働が大きな問題となっていることから、教員が心身の健康を保持し、授業や授業準備等に集中でき、教育の質を高められるよう、教員の働き方改革を推進しています。

そのため、「杉並区立学校における働き方改革推進プラン」（平成31年3月策定）に基づき、教員が子どもたちと接する時間をより多く確保するとともに、勤務時間を縮減し、学習指導要領に示された内容を確実に身に付けさせる指導を継続的に行うことができる環境を作ります。

子どもたちの確かな成長を促すためには、一人ひとりの多様性に応じた教育を行い、きめ細かな支援をしていくことが求められます。「特別支援教育推進計画」に基づき、特別な支援を必要とする子どもへの教育の充実を図るとともに、個に応じた学習環境の整備を進めます。

また、健康づくりを効果的に進めることにより、子どもたち一人ひとりの調和的な心身の成長を支えます。

特別支援教育 〈特別支援教育課〉

障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行っています。こうした特別支援教育の充実に向けた支援として、主に次のような取組を行っています。(P. 36 に関連記事「特別支援学級」があります。)

○教育支援チームの充実

特別支援教育の更なる推進のため、教員経験者等が、区内全子供園、小・中学校を計画的に訪問し、特別支援教育の理解推進、啓発を行い、各学校(園)が特別支援教育に取り組むための体制づくりを支援します。

校内支援体制の進捗状況の把握と今後の支援の提案、校内委員会等への情報提供等、専門的な視点からニーズに応じた支援や助言を行います。

○専門家チームの充実

専門家チームは構成員をより充実させ、医師、発達心理士、指導主事、言語聴覚士、済美養護学校特別支援教育コーディネーター等とし、知的障害や知的障害のない発達障害等の判断、教育的対応及び環境に関する助言を行います。

○校内支援体制の充実

区立学校全校で、校内委員会を立ち上げ、特別支援教育コーディネーターを指名し、学校全体で、特別支援教育への取組体制を整えています。さらに、教育支援チームと連携して個別指導計画を作成し、必要な支援について学校と保護者の共通理解を図ります。今後は学校と家庭・関係機関が連携して適切な支援を行うため、学校生活支援シートの活用を進めていきます。

○就学支援シート「すばる」の活用

配慮を要する子どもの乳幼児期から学齢期への支援を継続するために、保護者が就学期における幼児の家庭や子供園、幼稚園、保育園、療育機関での様子、保護者の願いなどを記入します。就学先の学校に提出されたシートは、就学後の支援に役立てます。

○通常学級支援員・介助員ボランティアの配置

障害のある児童・生徒の学校生活における安全確保と集団参加の促進、保護者の負担軽減を図るため、通常学級支援員及び介助員ボランティアを配置しています。

令和元年度計画

通常学級支援員 36名 介助員ボランティア 延5,000人

○副籍制度による特別支援学校と地域の小・中学校の児童・生徒の交流

区内に居住し、特別支援学校に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区立小・中学校に副次的な籍を持つとともに、交流を通じて、地域とのつながりを図ります。

平成30年度は、小学校34校、中学校22校が地域指定校として、特別支援学校7校の児童・生徒154人と副籍制度による交流を行いました。

特別支援学級（知的障害）の整備 〈特別支援教育課〉

令和2年度開校予定の高円寺地区小中一貫教育校に小・中特別支援学級を新設するとともに、今後の需要推移等を踏まえた特別支援学級の増設などを今後とも検討していきます。

学習支援教員の配置 〈教育人事企画課〉

区立学校の通常の学級において、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症等により、学習面で困難を抱える児童・生徒のために、学習支援教員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別的な支援を行うことにより、学習上の困難の克服・改善と校内支援体制の充実に努めます。

副校長校務支援員の配置 〈教育人事企画課〉

校長・副校長経験者を副校長校務支援員として配置し、大規模校または特定の課題を有する学校の副校長の校務遂行を支援することにより、当該副校長による教職員の指導・育成や地域との連携・協働等の充実に努めています。

平成30年度は16校の小・中学校に配置しました。

教育SAT 〈教育相談担当、済美教育センター〉

教育SAT（School Assist Team）は、指導主事、学校管理職経験者、スクールソーシャルワーカー、相談員で構成されており、学校の生活指導にかかわる課題解決力の向上に向け、各々が専門性を発揮し、担当の指導主事と関係部局・諸機関との連携を図りながら組織的な支援を行っています。

教育相談 〈教育相談担当〉

主に就学児童から中学生までの「学校生活での悩み（いじめ、不登校、友人関係）」などの相談を行います。教育、心理や福祉の専門職により相談を担っています。

○受付時間

月・水・金・土曜日 午前9時～午後5時

火・木曜日 午前9時～午後7時

※祝日・年末年始を除く

○来所教育相談

子どもの教育に関する心配ごとについて、専門的な立場からカウンセリングや助言を行うなど、総合的な相談支援を行います。

また、関係機関と連携して支援を行います。

来所教育相談受付件数（平成30年度）

相談内容	就学前	小学低	小学高	中学生	高校生	その他	合計
①不登校	1	48	80	214	11	0	354
②精神・身体症状	0	3	8	4	0	0	15
③内気・緘黙	6	6	6	1	0	0	19
④情緒の問題	4	69	95	47	0	1	216
⑤非行・盗み	0	2	9	4	0	0	15
⑥反抗・乱暴	0	6	9	6	0	1	22
⑦集団不応	5	40	23	10	0	0	78
⑧いじめ	0	4	5	2	0	0	11
⑨学業不振	1	53	36	25	0	0	115
⑩進路	188	41	79	12	1	0	321
⑪発達障害	23	153	81	36	3	3	299
⑫身体障害	0	0	0	0	0	0	0
⑬言語	4	22	2	0	0	0	28
⑭病・虚弱	0	0	0	1	0	0	1
⑮子育て	2	31	23	13	0	1	70
⑯家庭・家族	0	16	26	36	1	0	79
⑰対教師・学校	0	5	4	3	0	0	12
⑱余暇の問題	0	0	0	0	0	0	0
⑲性の問題	0	0	0	1	0	0	1
⑳その他	1	7	3	1	0	0	12
合計	235	506	489	416	16	6	1,668

来所相談件数	継続件数	626
	新規件数	1,042
	総件数	1,668

○電話教育相談

来所が困難な場合など電話による相談を行っています。

電話教育相談受付件数（平成30年度）

相談内容	就学前	小学低	小学高	中学生	高校生	その他	合計
①不登校	0	2	0	1	1	0	4
②精神・身体症状	0	0	1	1	0	0	2
③内気・緘黙	0	0	0	0	0	0	0
④情緒の問題	1	1	1	2	0	0	5
⑤非行・盗み	0	0	0	1	0	0	1
⑥反抗・乱暴	0	0	1	0	0	0	1
⑦集団不応	0	2	0	0	0	0	2
⑧いじめ	0	0	0	0	0	0	0
⑨学業不振	0	2	0	0	1	0	3
⑩進路	1	1	0	3	0	1	6
⑪発達障害	0	5	2	0	0	1	8
⑫身体障害	0	0	0	0	0	0	0
⑬言語	0	0	0	0	0	0	0
⑭病・虚弱	0	0	0	0	0	0	0
⑮子育て	1	2	1	1	1	0	6
⑯家庭・家族	0	1	0	1	0	0	2
⑰対教師・学校	0	6	1	2	0	0	9
⑱余暇の問題	0	0	0	0	0	0	0
⑲性の問題	0	0	0	0	0	0	0
⑳その他	0	2	4	0	1	0	7
合計	3	24	11	12	4	2	56

スクールカウンセラーの配置

〈教育相談担当〉

いじめや不登校、問題行動等の未然防止・解消のため、スクールカウンセラーを全小・中学校に配置し、相談機能の充実を図ります。スクールカウンセラーは、児童・生徒、保護者との相談活動、校内支援に関わる学校内の連携や学校外専門機関との連携を行うほか、児童・生徒の健やかな育ちに役立つ研修を行います。

小学校スクールカウンセラーの相談内容・件数（平成30年度）

相談内容	児童	保護者	教員	その他	合計
①長期欠席・不登校	541	791	834	46	2,212
②いじめ	53	34	82	2	171
③友人問題	853	227	458	3	1,541
④問題行動等	96	66	167	4	333
⑤情緒不安定	307	292	449	16	1,064
⑥性格・行動	553	888	1,167	16	2,624
⑦生活習慣	13	63	52	1	129
⑧身体・健康	44	61	62	2	169
⑨学習・進学	130	257	352	23	762
⑩家庭・家族	170	229	349	27	775
⑪虐待	16	11	38	10	75
⑫対教師	150	118	110	8	386
⑬部活等	0	0	0	0	0
⑭自己理解	36	7	6	0	49
⑮子育て	0	308	92	2	402
⑯発達障害	95	607	919	42	1,663
⑰カウンセリングの方法	5	6	45	0	56
⑱学外との連携	4	31	45	108	188
⑲話相手	1,142	8	126	0	1,276
⑳貧困の問題	140	0	0	0	140
㉑その他	249	38	390	27	704
合計	4,597	4,042	5,743	337	14,719

研修会は、教員対象 3回 保護者 5回 開催

中学校スクールカウンセラーの相談内容・件数（平成30年度）

相談内容	生徒	保護者	教員	その他	合計
①長期欠席・不登校	581	682	1,279	38	2,580
②いじめ	46	43	108	0	197
③友人問題	128	27	169	1	325
④問題行動等	42	20	95	1	158
⑤情緒不安定	157	111	479	16	763
⑥性格・行動	77	112	262	0	451
⑦生活習慣	6	14	17	0	37
⑧身体・健康	33	18	44	0	95
⑨学習・進学	70	150	197	16	433
⑩家庭・家族	121	126	436	21	704
⑪虐待	52	1	106	9	168
⑫対教師	21	16	47	0	84
⑬部活等	18	2	21	0	41
⑭自己理解	25	1	3	0	29
⑮子育て	0	34	13	0	47
⑯発達障害	25	95	234	4	358
⑰カウンセリングの方法	0	0	16	0	16
⑱学外との連携	0	27	110	127	264
⑲話相手	567	0	1	0	568
⑳貧困の問題	4	0	7	0	11
㉑その他	28	29	159	4	220
合計	2,001	1,508	3,803	237	7,549

研修会は、教員対象 1回 保護者 1回 開催

「杉並区いじめ防止対策推進基本方針」に基づいて、学校・家庭・地域等と連携を図りながら、いじめ対策を総合的かつ効果的に推進しています。

全小・中学校では、「学校いじめ防止基本方針」を策定して学校いじめ対策委員会を設置するとともに、「いじめ対応マニュアル」を活用した校内研修を実施し教職員の意識向上を図るなど、組織的な対応を図っています。

教育委員会では、電話相談である「すぎなみいじめ電話レスキュー」やメール相談機能等を備えた「すぎなみネットでトラブル解決支援システム」によりいじめの早期発見・早期対応を図るとともに、教育SATを核として問題解決に向けた学校支援を図っています。また、児童・生徒自身がいじめ問題を協議する場として「すぎなみ小・中学生未来サミット」を実施し、子どもたち自身のいじめはしない、させない、許さない意識を高めています。さらに、平成29年度には、重大事態への対応を図るため、いじめ防止対策推進法に基づく教育委員会の附属機関「いじめ問題対策委員会」を新設しています。

○すぎなみいじめ電話レスキュー

受付時間 月～金曜日 午前10時～午後7時 ※祝日・年末年始を除く

電話 0120-949-466

○すぎなみネットでトラブル解決支援システム（ネット相談アプリ）

杉並区のホームページ及び相談先を示したカードのQRコードからダウンロード

こちらでも相談を受け付けています。

- 文部科学省
24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310 (24時間受付)
- 東京都教育相談センター
教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン
0120-53-8288 (24時間受付)
*メールでも相談できます。
<https://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>
- 東京都児童相談センター
東京子供ネット
0120-874-374
毎日午前9時～午後9時（土日祝は午後5時）
*12月29日から1月3日を除く
- NPO法人チャイルドライン支援センター
チャイルドライン
0120-99-7777 (毎日午後4時～午後9時)
18歳までの子ども専用電話
*チャットでも相談できます。
<http://www.childline.or.jp/chat/>
- NPO法人ストップいじめ!ナビ
ストップいじめ!ナビ いますぐ役立つ出策
<http://stopijime.jp/>
相談先に関する情報・いじめQ&A・攻略アイテム

相談してみよう!!

すぎなみ いじめ電話レスキュー
0120-949-466 (フリーダイヤル)

080-8825-0119 (通話料がかかります)
電話相談の受付: 月曜日～金曜日の午前10時～午後7時
* 土日、12月29日～1月3日はお休みです。

すぎなみ ネットでトラブル解決支援システム
ネット相談アプリ

スマートフォンでQRコードを読み取ってね

まってるよ!

すぎなみネットで
トラブル解決支援




アプリにアクセスする手順について、www.suganami.or.jpから2.1.Aや2.1.Bから2.1.Cの3段階の手順でダウンロードできます。* 詳細は2.1.Aや2.1.Bから2.1.Cの3段階の手順でダウンロードしてください。(2019年9月現在)

不登校対策 〈教育相談担当〉

不登校等の小・中学生を対象とした適応指導教室で、きめ細かな支援を行います。また、福祉的な支援が必要な子どもに対しては、スクールソーシャルワーカー（SSW）が、学校と関係機関を調整し、社会的自立や学校への復帰に向けた支援を行います。

また、不登校相談支援チームが、各学校で取り組む「不登校解消に向けた支援システム」を活用し、不登校傾向の児童・生徒を早期に発見できるようきめ細かく支援していきます。

○「さざんかステップアップ教室」の充実

「さざんかステップアップ教室（適応指導教室）」は、不登校の小・中学生が集団生活を通して社会性を育み、社会的自立や学校生活に復帰することを目的とした支援をしています。

児童・生徒は、在籍校に籍を置いたまま通室します。支援に当たっては、教科学習・教育相談・レクリエーション・体験的活動等を組み合わせた、個別の活動計画を作成します。児童・生徒の学習や生活の状況について、家庭・学校と適宜連絡を取り合い、連携を図りながら支援をしています。

小学生対象の教室

名 称	所 在 地	電 話	開設年月
さざんかステップアップ教室 【萩窪教室】	杉並区天沼3-15-20	5397-5211	平成24年7月

※平成31年4月移転

中学生対象の教室

名 称	所 在 地	電 話	開設年月
さざんかステップアップ教室 【天沼教室】	杉並区本天沼3-10-20 (天沼中学校内)	3390-7440	平成5年11月
さざんかステップアップ教室 【和田教室】	杉並区和田1-41-10	3382-8251	平成13年9月
さざんかステップアップ教室 【宮前教室】	杉並区宮前5-5-27	5941-3545	平成27年9月

○ふれあいフレンド

不登校等の児童・生徒を対象に、訪問相談員による家庭訪問・在宅支援を行っています。

平成30年度は、4名の児童・生徒（小学生0名、中学生4名）に、1年間延べ96回の家庭訪問・適応指導教室での活動支援を行いました。

スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置 〈教育相談担当〉

スクールソーシャルワーカー（SSW）は、支援を要する児童・生徒が安心して生活できるように学校、家庭、地域の関係機関をつなぎます。また、より専門的な観点から学校を支援します。

新就学児童の発達障害支援 〈教育相談担当〉

保護者にはペアレント・トレーニングのグループ相談を実施し、子どもの発達特性を理解し、適切で効果的な関わり方を伝えていきます。

健康教育・健康相談 〈学務課、済美教育センター〉

子どもたちの健康づくりを効果的に進めるため、小児生活習慣病予防検診の事後指導として、食生活や運動習慣の改善方法について、個別に健康相談室とフォロー相談室を実施します。

肥満・偏食・虚弱等の健康課題のある子どもと保護者を対象に、親子健康教室を実施し、子どもたち自らが健康への関心を高め、健康づくりに継続的に取り組めるように支援します。

また、学校歯科医及び歯科衛生士による口腔保健指導を実施するとともに、平成27年度から4年間にわたり実施した「歯と口の健康づくり推進事業」の効果・検証を踏まえ、口腔保健指導の方針を改定し、生涯にわたって健康的な生活が送れるように支援します。

さらに、児童・生徒が、薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響、薬物から身を守るための方法などについて理解を深める機会として、「薬物乱用防止セーフティ教室」を実施しています。

食育の推進 〈学務課〉

区立学校では、食育全体計画、食育年間指導計画を作成し、組織的・計画的に食育を推進しています。そして、学校給食を生きた教材として捉え、各教科で取り上げた食材を給食に取り入れるなど授業と連携した取組を進め、児童・生徒が健康的な食生活を営むことができる判断力を培い、食を通じて生命、自然を尊重する態度を養います。

また、東京都より配置された栄養教諭を中心に、食育に関する研修や各学校の食育リーダーへの支援、指導資料の配布や公開授業の実施及び民間企業や地域・保護者との連携による食育出前授業を実施するなど、効果的に食育を推進するための支援を行います。

アレルギー対策の推進 〈学務課〉

アレルギー疾患のある子どもたちの学校生活を安全・安心なものとするため、「区立学校におけるアレルギー対応の手引き」に基づき、学校全体で給食における食物アレルギー対応に取り組むとともに、教職員や保護者を対象とした講習会を実施し、アレルギー疾患への理解の促進とアレルギー発症の未然防止に努めています。あわせて、区内医療機関と連携し、「アレルギー対応ホットライン」を効果的に運用することにより、緊急時の体制強化を図っています。

*アレルギー対応ホットラインとは、区内の救急医療機関と協定を締結し開設したホットライン（緊急非常用の直通電話）で、アレルギー症状の判断等に係る相談及び救急搬送の受入れ確保などを行うものです。

30人程度学級 〈学務課〉

子どもたちの学力向上と豊かな人間性を育み、課題に対して柔軟かつ的確に対応した学級展開を行うことを目的として、平成20年度から「30人程度学級」を小学校低学年から段階的に実施してきました。

きめ細かな教育指導を高学年にまで広げるため、平成24年度からは原則として小学校全学年で実施しています。



国際交流の集い
(久我山会館 ホール)

日本語指導が必要な帰国児童・生徒、外国人児童・生徒を対象に、指導者が在籍校を訪問して日本語の指導を行う「訪問指導」、補充的な教科指導を行う「補充指導」を行い、児童・生徒が安心して学校に適応できる環境を整えています。また、地域の人たちとの交流を図ることを目的とした「国際交流の集い」も開催しています。

「杉並区次世代育成基金」は、子どもたちが経済的な理由などにかかわらず、様々な国や地域の文化・芸術、自然に触れたり、スポーツ交流などに参加したりすることを通じ、自らの道を拓き、共に生きる人として成長できることを願い、「区民とともに育てる基金」として創設されました。

学校教育の関連事業としては、「中学生小笠原自然体験交流事業」や「中学生海外留学事業」、「小学生名寄自然体験交流事業」などがあり、一人ひとりの生涯にわたる学びを拓くとともに、事業で学んだ成果を地域へと還元する取組を実施しています。

○中学生小笠原自然体験交流事業



中学生小笠原自然体験交流

杉並区内の中学生30名を世界自然遺産である小笠原に派遣し、自然の中での体験学習や現地の人々との様々な交流を通して、生徒自らが設定した課題の解決に向けた学習を行います。これらの学習を通して、各学校・地域における環境保全活動の推進役となり、世界的視野で持続可能な社会を考えることができる資質・能力の形成を目指しています。

○中学生海外留学事業



中学生海外留学事業

杉並区内の中学生25名を本区の友好都市であるオーストラリア・ウィロビー市に派遣し、ホームステイや現地校における生徒との交流等を通して、生徒自らが設定した課題の解決に向けた学習を行います。これらの学習を通して、英語によるコミュニケーション能力、多様な文化、見方や考え方を理解・受容する態度など、国際社会において必要な資質・能力の形成を目指しています。

○小学生名寄自然体験交流事業



小学生名寄自然体験交流事業

杉並区内の小学生25名を本区の交流自治体である北海道名寄市に派遣し、豊かで厳しい自然に触れるとともに、国内最大級の望遠鏡での観測などの体験、地元の子どもたちとの交流を行っています。これらの活動を通して、科学への知的好奇心や豊かな人間性を育むことを目指しています。(P.81に関連記事「小学生名寄自然体験交流」があります。)

家庭・地域・
学校の協働

地域と共にある学校づくりを目指した様々な仕組みの相互連携を図り、その役割を十分に果たしていける環境を整えています。また、生涯学習施策と連動させながら活動に取り組む人々の裾野を広げ、子どもの学びを共に支える教育に取り組んでいます。そうした取組で育まれた地域コミュニティと共に、地域の状況に応じ、子どもたちの望ましい学習環境を提供していくため、新しい学校づくりを進めています。

子どもたちに望ましい教育環境を提供していくため、将来にわたる児童・生徒数の動向を見据え、地域ごとの状況に応じた新しい学校づくりを推進します。また、義務教育9年間を通して一貫した教育活動を図るための施設一体型小中一貫教育校の設置などの新しい学校づくりを行っています。

○新しい学校づくりの推進

平成16年7月に策定した「杉並区立小中学校適正配置基本方針」に基づき、平成18年2月に「杉並区立小中学校第一次適正配置計画（小学校の統合）」を決定しました。同計画により、杉並第五小学校と若杉小学校を統合し、区内初の統合校である天沼小学校が平成20年4月に開校しました。

平成21年2月に当面の区内学齢人口の動向やそれまでの取組の経緯等を踏まえて、基本方針を改定し、著しく小規模化している学校（小学校6～7学級以下、中学校3～4学級以下）を適正配置検討対象校とし、最優先に対応を図ることとしました。

この方針に基づき平成22年3月に「杉並区立小中学校適正配置計画（永福南小学校と永福小学校の統合）」を、平成22年5月に「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画（新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合）」を、平成25年11月に「高円寺地域における新しい学校づくり計画」を決定しました。

永福南小学校と永福小学校の統合校は、地域関係者、学校関係者による「永福南小学校・永福小学校統合協議会」での開校に向けた諸課題の検討を経て、平成25年4月に新しい永福小学校として開校しました。

平成26年2月には、従来の適正配置基本方針を発展的に継承し、「杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針」を策定しました。この基本方針に基づき、学校適正規模の確保と学校の適正配置、学校施設の老朽改築、小中一貫教育の推進など、各施策と相互に連携して取り組むとともに、児童・生徒の教育環境の向上を第一に考え、新しい学校づくりの検討対象地域の学校関係者、地域の方々と十分に意見交換を重ね、計画を策定し、新しい学校づくりを推進します。

○施設一体型小中一貫教育校の設置

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校が統合し、小中一貫教育基本方針を踏まえ、同一校舎内で小中学生が共に学習、生活する施設一体型の小中一貫教育校として、杉並和泉学園が平成27年4月に開校しました。開校に当たっては、地域関係者、保護者及び校長等で構成する「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会」で、教育内容、校章、校歌などについて意見交換を行いました。

また、令和2年4月に、杉並第四小学校・杉並第八小学校・高円寺中学校を対象として、現在の高円寺中学校の校地に、施設一体型小中一貫教育校を開校する予定です。今後は、新校の教育方針、通学の安全対策等について、「高円寺地域における新しい学校づくり懇談会」において、地域関係者、保護者の方々の意見を踏まえ、協議のうえ決定します。



学校運営協議会

地域運営学校（コミュニティ・スクール）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、学校運営の基本方針を承認するなど学校運営及び運営に対する必要な支援に関して協議等するために保護者や地域住民等で構成された学校運営協議会が設置された学校です。

学校運営協議会は、学校運営に関する基本的な方針（教育課程の編成など）の承認を行うとともに、教職員の任用について任命権者に意見を述べたり、学校運営について教育委員会や校長に対して意見を述べることができます。また、学校運営協議会は、校長、学識経験者、校長推薦の委員及び公募委員で構成され、委員の任期は原則として2年間です。

今後も地域運営学校を拡大し、地域と共にある学校づくりの実現を目指していきます。

平成30年度 学校運営協議会の状況

	地域運営学校名	指定日	委員数	年間開催回数
小学校	桃井第四	平成17年4月1日	11人	12回
	三谷	平成17年4月1日	11人	11回
	杉並第一	平成20年4月1日	10人	9回
	沓掛	平成21年1月1日	10人	10回
	永福	平成21年1月1日	9人	10回
	富士見丘	平成21年10月1日	8人	10回
	堀之内	平成22年4月1日	10人	10回
	天沼	平成22年4月1日	12人	14回
	高井戸	平成23年4月1日	9人	11回
	方南	平成24年4月1日	12人	8回
	松ノ木	平成24年4月1日	10人	11回
	荻窪	平成25年4月1日	8人	11回
	高井戸第二	平成25年4月1日	11人	8回
	東田	平成26年4月1日	10人	9回
	高井戸東	平成26年4月1日	9人	10回
	久我山	平成26年4月1日	10人	11回
	大宮	平成26年10月1日	12人	11回
	杉並第二	平成27年4月1日	12人	12回
	和田	平成27年4月1日	12人	9回
	新泉和泉	平成27年10月1日	9人	10回
	桃井第五	平成28年10月1日	12人	11回
	桃井第三	平成29年1月1日	11人	11回
	杉並第十	平成29年10月1日	11人	11回
	西田	平成29年10月1日	11人	12回
	馬橋	平成29年10月1日	10人	9回
	高井戸第四	平成29年10月1日	9人	11回
	松庵	平成29年10月1日	11人	10回
	桃井第一	平成30年1月1日	7人	10回
八成	平成30年4月1日	9人	8回	
四宮	平成30年10月1日	6人	4回	
井荻	平成30年10月1日	11人	6回	
高井戸第三	平成30年10月1日	10人	5回	
杉並第三	平成31年1月1日	9人	3回	
中学校	杉森	平成17年4月1日	9人	10回
	向陽	平成17年4月1日	11人	12回
	井草	平成19年4月1日	9人	8回
	和田	平成19年4月1日	10人	8回
	天沼	平成21年10月1日	12人	14回
	荻窪	平成21年10月1日	11人	12回
	富士見丘	平成23年4月1日	12人	15回
	中瀬	平成24年10月1日	11人	11回
	井荻	平成25年4月1日	9人	11回
	松ノ木	平成25年4月1日	9人	10回
	西宮	平成27年10月1日	11人	11回
	和泉	平成27年10月1日	9人	10回
	東原	平成28年10月1日	11人	12回
	神明	平成28年10月1日	9人	11回
	宮前	平成28年10月1日	10人	10回
	泉南	平成28年10月1日	10人	6回
	東田	平成29年10月1日	12人	12回
	大宮	平成29年10月1日	9人	11回
	阿佐ヶ谷	平成30年1月1日	12人	11回
	高井戸南	平成30年4月1日	12人	8回
計	53校		540名	平均10回

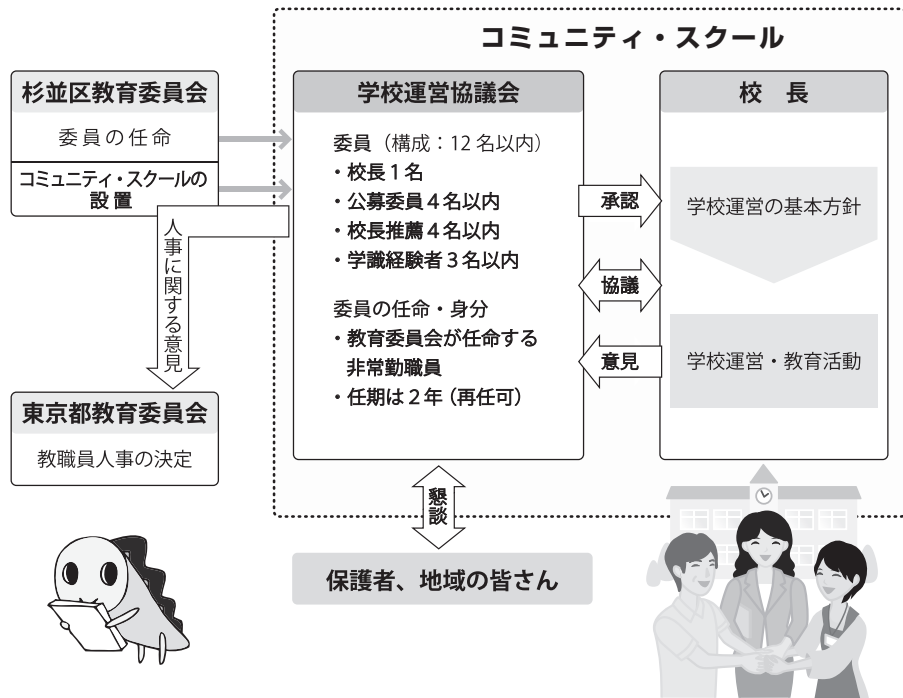
※委員数は平成31年3月31日時点の人数。

※平成21年1月に指定した永福小学校は、永福南小学校との統合に伴い、統合新校を平成25年4月1日付けで指定した。

※新泉和泉小学校および和泉中学校は、小中一貫教育校杉並和泉学園を構成する小中学校として同時に指定した。

学校運営協議会は合同で開催し、委員は両校を兼務する。

地域運営学校(コミュニティ・スクール)のイメージ



学校評議員 (学校支援課)

学校評議員制度は、学校が地域・家庭と連携協力しながら、児童・生徒の健全な成長を担うとともに、地域に開かれた学校づくりを一層推進するため平成13年度に設けられました。

学校は、学校評議員(会)の活動を通じて、経営方針や安全対策など、その時々の課題について意見交換を深め、保護者や地域住民等の意向を把握したり、方針を説明したりすることで地域の信頼に応えます。また、教育委員会では、学校評議員代表者会議を実施し、意見・情報交換や意識啓発など活動の活性化を図りながら、保護者や地域住民の参画と協働による学校づくりを進めています。

なお、学校運営協議会を設置する学校においては、学校評議員を置かないこととしています。

平成30年度 学校評議員会開催状況

	学校名	設置年	委員数	年間開催回数
小学校	杉並第四小学校	平成13年度	11人	学期に1回程度
	杉並第六小学校		10人	
	杉並第七小学校		8人	
	杉並第八小学校		15人	
	杉並第九小学校		10人	
	桃井第二小学校		10人	
	浜田山小学校		10人	
	済美小学校		10人	
中学校	高円寺中学校	11人		
	松溪中学校	10人		
	高井戸中学校	9人		
特別支援学校	済美養護学校	10人		
計	12校		124人	

学 校 支 援 本 部 〈学校支援課〉

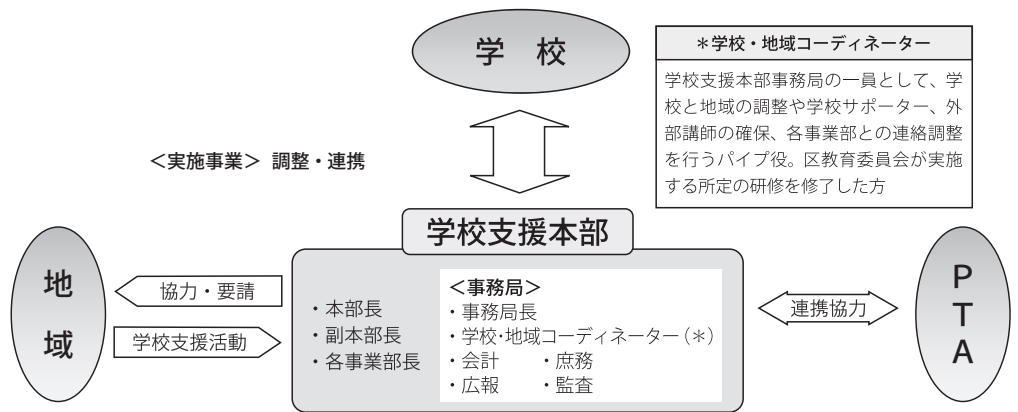
学校支援本部は、各学校で行われる様々な教育活動（例：授業支援、登下校安全管理、芝生の管理、図書室の運営等）を支援する組織です。平成22年度末までに済美養護学校を除く全ての小・中学校に設置されました。学校支援本部には、学校・地域コーディネーターを配置し、学校と地域の調整や学校サポーター、外部講師の確保、各事業部との連絡調整を行っています。

多様な人材の参画による教育活動支援が組織的・継続的に行われるよう、学校・地域コーディネーターへの研修等を通じて地域人材による学校支援活動を推進し、学校支援本部の基盤を強化していきます。



学校支援本部

学校支援本部の組織・活動(イメージ)



学校教育活動(学校管理下の活動)		「学校教育活動」外の諸活動
教育課程内 (学校指導要領に基づく領域)	教育課程外 (学校が計画する領域)	○子ども子育て支援事業 (青少年委員・育成委員会) ○地域まつり(町会・P T A) ○おやじの会(P T A) ○スポーツ少年団(地域団体) ほか
○各教科 ○道徳 ○総合的な学習の時間 ○土曜授業 ○特別活動	○部活動 ○休憩時間 ○登下校中 ほか	
学校支援本部の活動(例)		
○授業のゲストティーチャーの紹介 ○授業中の本の読み聞かせ者の調整 など	○図書室運営支援 ○授業前の学習支援 (「朝の読み聞かせ」等) ○部活動外部指導員紹介 ○登下校安全管理 ○校庭芝生の管理 など	○土曜日学校 ○放課後子ども教室 ○学校支援本部の独自事業

学校の依頼による活動

校長の承認による活動

○学校サポーター

地域の人たちが自らの知識、経験、技能を活かし、学校の求めに応じて総合的な学習の時間や授業などを支えています。

学校サポーター活動を通じて、学校と地域との結び付きを強め、豊かな関係を築いていきます。

平成30年度実績

	小学校・特別支援学校	中学校
登録人数	852人	268人
活動回数	延 2,980回	延 1,118回

※杉並和泉学園は「中学校」に計上

○学生ボランティア

大学生等が学生ボランティアとして区に登録し、学校の希望に応じた支援を行っています。

学生の持つ知識や経験を活かし、小・中学校の授業補助や放課後学習の支援など、多彩な活動を行っています。

平成30年度実績

	小学校・特別支援学校	中学校
登録人数	2人	4人
活動回数	延 12回	延 21回

※杉並和泉学園は「中学校」に計上

○土曜日学校・放課後子ども教室の実施

土曜日や放課後の学校を舞台に、子どもたちが地域の中で広く様々なことに挑戦・体験できるよう、保護者や学校等の意見をもとに学習・スポーツや体験・交流活動の機会を提供しています。

各地域の力を活用し、子どもたちのための事業を実施しています。

平成30年度実施校数

・土曜日学校	小学校	22校
	中学校	14校
・放課後子ども教室	小学校	14校

子どもの健全な育成を目指すPTA活動の円滑な運営を図るため、PTA委員・役員の研修会等を実施し、PTA活動を支援しています。

PTA研修会等の実施状況（平成30年度）

	実施時期	回 数	会 場
小・中学校PTA活動セミナー	5月	1回	セッション杉並
中学校特別研修会	8月	1回	TOKYO GLOBAL GATEWAY
中学校合同研修会	12月	1回	セッション杉並
小学校専門委員会	6月～3月	随時	各学校等
中学校専門委員会	6月～3月	随時	各学校等



プレート（ピーポークン110番）

○ピーポークン110番

子どもたちが登下校時の通学路や、下校後の一般道路・児童公園・広場などで、知らない人から「不審な声かけ、痴漢・つきまとい行為」などの被害を受けたり、その他身の危険を感じた場合に、助けを求めることができる緊急避難場所（非常通報箇所）を設置する事業です。

ご協力いただける民家・商店・事業所の方には、警視庁のマスコットである「ピーポークン」が描かれた緑色のプレートを玄関等の目立つ場所に掲示していただいています。

プレート（ピーポークン110番）設置数 3,700枚（平成30年度実績）

家庭教育の支援 〈学校支援課〉

全ての教育の原点である家庭教育への支援について、家庭・地域・学校の連携と協働のもとに推進しています。



家庭教育講座

○家庭教育講座（主催）

保護者から出された子育てや家庭教育の不安や疑問をもとに企画した講座を小学校PTA連合協議会と協働し、開催しています。

平成30年度実績

開催月	開催回数	参加者数
10月～12月	7回	518人

○家庭教育講座（共催等）

PTAや地域の大人たちが構成する団体が、日頃、子どもとの関わりのなかで気になっていたことをテーマに講座等を開催し、教育委員会が共催しています。また、団体が独自に行う講座についての講師紹介や周知方法の相談なども行っています。

平成30年度実績

開催月	開催回数	参加者数	講師紹介等相談件数
6月～2月	25講座	1,423人	25件



家庭教育フォーラム

○家庭教育フォーラム

家庭教育、子育てに関わる団体や家庭教育講座を開催した団体が、地域で取り組む様々な活動や事業の質を高めるため、団体同士で情報や意見を交換するなど、相互学習を行っています。

平成30年度実績

開催月日	開催回数	参加者数
1月29日	1回	50人

青少年委員 〈学校支援課〉



青少年委員

青少年委員は、区内17地区の青少年育成委員会からの推薦により、教育委員会が委嘱する非常勤の公務員です。

担当の小・中学校区を持ち、地域教育連絡協議会や地域教育推進協議会の事務局を担っているほか、児童館や学校支援本部の運営にも求めに応じて関わっています。

青少年教育の振興のため、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役となり、地域の教育力向上の要として活動しています。(任期2年)

青少年委員 43人 (令和元年度)

地域教育連絡協議会 〈学校支援課〉

家庭・地域・学校が密接に連携し地域教育の機能を高め、子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりを目指して、各中学校区単位で組織される「地域教育連絡協議会」が行う下記の事業に対して、分担金の支給等により支援を行っています。

○地域教育懇談事業

子どもたちの健やかな成長を目指して、家庭・地域・学校がきめ細かな情報交換・懇談・学習等を行うことで、地域の教育力を高めています。

平成30年度 実施回数 37回
参加者数 延 1,338人

○子ども地域活動促進事業

地域の諸問題に関する体験学習、子どもたちが企画・運営等に参画して実施する事業など、地域の特色を生かした教育活動を支援するために実施しています。

平成30年度 19中学校区 参加者数 延 10,682人

地域教育推進協議会 〈学校支援課〉

地域教育推進協議会は0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、家庭・学校・地域が責任を分担し合って、子どもたちが生きる力と豊かな心を育みながら健やかに育つ、活力あるまちを実現するための組織です。

現在、地域教育連絡協議会の組織・活動の成果を発展的に継承した天沼中学校区・高円寺地区及び杉並和泉学園校区において、地域における教育や子育てに係る既成の組織・事業について相互に情報共有を図るとともに、構成メンバーの持ち味を生かしながら、世代を超えた交流・学び合い活動を進めています。

平成30年度 運営支援 3地区

子どもの居場所づくり 〈子どもの居場所づくり担当〉

放課後子ども教室の実施校や学童クラブ校内設置校などの小学校施設内に安全・安心な子どもの居場所を提供できるよう、児童青少年部門と連携しつつ実施していきます。

学校教育 環境 の整備

児童・生徒の教育環境の整備・充実を図るため、区立小・中学校の改築を進めていきます。また、学習環境の維持向上を図るため、引き続き小・中学校の修繕を計画的に実施するとともに、特別教室及び体育館への空調設備の設置に取り組みます。

区立小・中学校の改築 〈学校整備課〉

今後、築50年を経過する学校が増加するため、「杉並区立小中学校老朽改築計画」に基づき、改築を進めています。また、「杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針」により統合校や小中一貫教育校などの施設整備に取り組み、子どもたちの望ましい教育環境の向上に努めていきます。

令和元年度計画

- ・高円寺地域における小中一貫教育校の施設整備
平成30年度に引き続き新校舎建設工事を行うほか、旧校舎解体工事及び校庭整備等の環境整備工事を行います。
- ・桃井第二小学校の改築
校庭整備等の環境整備工事を行います。
- ・富士見丘小・中学校の改築
平成30年度に策定した改築基本計画を踏まえ、改築検討懇談会との意見交換等を行い、設計を進めます。
- ・杉並第二小学校の改築
改築検討懇談会を設置し、そこでの意見を踏まえ、改築基本設計を策定します。



高円寺学園建設工事

学校教育諸施設の整備充実 〈学校整備課〉

児童・生徒が安全で、より良い教育環境のもとで学習効果を十分に発揮することができるよう、学校施設の整備充実を図っています。

令和元年度計画

校舎屋上防水、校舎外壁補修、給食室改修、便所・配水管改修、受変電設備取替、乗用エレベータ取替、プール改修、給食リフト改修、自動火災報知設備取替、防球網改修、教室増改修、体育館屋根張替、体育館床改修、屋内運動場照明設備改修

空調設備整備 〈学校整備課〉

児童・生徒の教育環境の改善・充実を図るため、中学校の特別教室と小・中学校の体育館に空調設備を設置します。

令和元年度計画

小学校 13校（体育館）

中学校 6校（体育館）

16校（美術室）

エコスクールの推進 〈学校整備課〉

学校教育施設の緑化を推進し、みどりの保護・育成を図るとともに自然環境への負荷を軽減したエコスクールの整備を行っています。校舎改築や既存校のエコスクール改修等による平成30年度までの主な取組状況は、校庭緑化が28校、校舎屋上緑化が32校、ビオトープが25校、校舎壁面緑化が23校、庇・バルコニーの設置が17校、ナイトページ（自然換気）の設置が29校です。

杉並第一小学校長寿命化対策 〈学校整備課〉

杉並第一小学校の長寿命化を図るため、施設の整備を行います。

令和元年度計画

工事 内装改修、照明設備改修

学校ICTの推進 〈庶務課〉

教職員1人に1台配備した校務パソコンを専用ネットワークで結んだ校務システムの活用により、校務処理の効率化、授業時間の充実、学校情報セキュリティの向上を図っています。

また、全普通教室に設置した電子黒板機能付プロジェクターや全校の蔵書検索が可能な図書館システムを活用する学習系ネットワークを整備・運用しています。

今後も、日常の授業で児童・生徒一人ひとりが、協働学習や個別学習で利用することができる学習者用タブレットパソコンを計画的に増やしていきます。

令和元年度計画

学習者用タブレットパソコン配備校の拡大 ICT公開授業の実施

4. 済美教育センター

済美教育センターの概要

杉並区立済美教育センターは、昭和26年3月、杉並区立学校における教育の充実・振興を図ることを目的に「済美教育研究所」として開設しました。それ以来、都内でも最も歴史のある教育研究所として、教育界に誇りある伝統を積み上げています。

当センターは、私立日本済美学校の広大な敷地と校舎を「杉並区の教育のために」と寄付された故今井政吉先生の崇高な精神を受け継ぐものです。平成17年には、総合教育センターを目指し現在の「済美教育センター」に改称、平成19年の教育委員会組織改正以降は、主として、区立学校・子供園における教育課程内の活動を支援する事業を実施しています。

なお、平成19年4月より、帰国・外国人児童・生徒への日本語指導や教科等の補充指導が当センターの主管事業となりました。これは、昭和58年開始の「杉並区帰国子女教育センター校」、その発展として平成4年4月に杉並第四小学校内に設置された「帰国児童生徒教育センター」の事業を継承するものです。平成28年4月からは、大宮中学校内に設置した分室において事業を実施しています。



施設概要

開設年月日	昭和26年3月10日（平成元年7月5日改築）
所在地	杉並区堀ノ内2-5-26
電話・FAX	☎3311-0021 FAX3311-0402
敷地面積	6,669.17㎡
延床面積	2,998.53㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建（一部地下1階）
施設内容	1階：特別支援教育課事務室（2室）、面接室（7室）、遊戯室（3室）、相談室（2室）、研究室、管理係事務室、応接室 2階：教育指導係・就学前教育担当事務室、会議室、研究室（4室）、和室、教育図書館（教科書センター）、理科室、応接室、ミーティングルーム

教育・保育活動の支援

済美教育センターの主な事業

当センターの全ての事業は、区立学校・子供園が、地域の実情や特有の課題に応じて取り組む多様な活動を支援するためにあります。また、所管事業の多くは、教育委員会事務局の他課、子ども家庭部をはじめとする関係部、関係諸機関等と連携・協働して実施しています。加えて、教育研究所としての伝統を継承し、次代の学校教育や公教育の在り方を見据えた調査・研究開発なども行っています。

- 小中一貫教育、就学前教育・幼保小連携教育に関すること
- 新しい学習指導要領・幼稚園教育要領への対応、ICTを活用した教育など緊要の課題に関すること
- 教育に係る調査・研究開発に関すること
- 特色ある学校づくり、学校経営に関すること
- 学校評価に関すること
- 学校・子供園の教育課程の管理に関すること
- 学力や体力の向上、社会性の育成に関すること
- 生活指導・学校安全に関すること
- 教員・保育者人材の育成に関すること
- 学校図書館・教育情報の活用に関すること
- 教科用図書に関すること
- 帰国・外国人児童・生徒への日本語指導・補充指導に関すること

教育課題研究指定校・園の指定、自主研究の奨励

次代を見据えた学びの構造転換の実現やICTの利活用の推進、学校に対する支援の充実など、当面する本区の教育課題については、「教育課題研究指定校・園」を指定し、指定校間の連携、指定校を中心とした小中一貫教育グループ校の協働を強化しつつ、日常の教育・保育活動を通じた実践的な取組を推進しています。また、その成果については、研究発表会に限らず、指定期間中の継続的な還元研修の実施等を通じ、区立学校・園において広く共有・活用していきます。

さらに、「杉並教育研究会」を通じた区立学校教員・子供園保育者による自主研究を奨励しています。杉並教育研究会は、平成19年5月、就学前から義務教育期間を通じた一貫性のある教育、その支えとなる校種を超えた協働を推進するため、「杉並区教育研究会」「杉並区立中学校教育研究会」「杉並区立幼稚園教育研究会」を発展的に統合した研究団体です。

1 平成30・令和元年度教育課題研究指定校・園

No.	教育課題	校種	学校・園名	発表予定年月日
1	学力向上に関わる研究	小・中	東田小学校	令和元年11月8日(金)
2		小・中	泉南中学校	令和2年1月20日(月)
3	ICTの活用に関わる研究	小・中	浜田山小学校	令和2年1月23日(木)
4	次代の教育課題に関わる研究	小・中	荻窪小学校	令和元年12月6日(金)
5	子どもの発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育の質の向上	子供園 小学校	高円寺北子供園 (杉並第四小学校)	令和元年10月18日(金)

()内は研究推進に協力する小学校

2 令和元・2年度教育課題研究指定校・園(令和2年度発表)

No.	教育課題	校種	学校・園名	指定期間
1	学力向上に関わる研究	小・中	東田中学校	2か年
2	ICTの活用に関わる研究	小・中	杉並第六小学校	
3	次代の教育課題に関わる研究		杉並第三小学校	
4		高井戸第二小学校		
5	子どもの発達や学びの連続性を踏まえた就学前教育の質の向上	子供園 小学校	堀ノ内子供園 (大宮小学校)	1か年 ※発表は行いません
6	学校図書館活用実践校	小・中	杉並第二小学校 西田小学校 松庵小学校 中瀬中学校 向陽中学校 西宮中学校	

()内は研究推進に協力する小学校

3 令和元年度体力向上センター校

No.	教育課題	校種	学校・園名	指定期間
1	体育・健康教育	小	桃井第三小学校 (西荻北子供園)	1か年
2		小	済美小学校	

()内は研究推進に協力する子供園

4 令和元年度幼保小連携校

No.	教育課題	校種	学校名	指定期間
1	幼保小連携推進	子供園 小学校	杉並区立全小学校	

5 東京都教育研究協力及び研究奨励

事業名	学校名	委託期間	備考
オリンピック・パラリンピック教育推進校	全ての区立小学校・中学校・子供園・特別支援学校	令和元年度	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）を、子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、国際社会に貢献し、東京、そして日本の更なる発展の担い手となる人材を育成していくとともに、東京2020大会の経験を通じ、その後の人生のレガシーを子どもたち一人ひとりの心と体に残していく。
オリンピック・パラリンピック教育推進校（アワード）	杉並第二小学校 済美小学校 高井戸東小学校 永福小学校		
パラリンピック競技応援校	杉並第三小学校	令和元年度	東京2020大会の開催に向けて、障害者スポーツへの一層の理解促進と普及・啓発のため、選択したパラリンピック競技（パワーリフティング）を観戦、体験やボランティアへの参加等を行う。
夢・未来プロジェクト「YOKOSO」プログラム	堀之内子供園 高井戸子供園 杉並第一小学校 杉並第二小学校 杉並第四小学校 荻窪中学校	令和元年度	夢・希望・感動との出会いやスポーツへの親しみを促進し、自己実現に向けての努力や困難に立ち向かう意欲等を育成することをねらいとして、特別講演、競技紹介、実技指導等を実施する。
夢・未来プロジェクト「Welcome」プログラム	該当校なし	令和元年度	外国人アスリートとの交流を通じた国際理解の推進、スポーツへの関心の向上等をねらいとして、外国の文化・習慣の紹介、スポーツを通じた交流、おもてなしの実践等を実施する。併せて、希望する学校にマナー講座の講師を派遣し、外国人に対する挨拶や日本文化紹介方法等を実践的に演習する。
夢・未来プロジェクト「自分にチャレンジ」プログラム	杉並第七小学校 阿佐ヶ谷中学校 東原中学校 富士見丘中学校	令和元年度	パラリンピック協議等障害者スポーツへの興味・関心の向上や、障害のある人への理解を深めることをねらいとして、特別講演、競技紹介、実技指導等を実施する。
世界ともだちプロジェクト	すべての区立小学校・中学校・子供園・特別支援学校	令和元年度	東京2020大会に向け、世界の多くの国々の様々な人種や言語、文化、歴史、スポーツなどを学ぶことを通して、単に知識を広げるだけでなく、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解する。
文化プログラム・学校連携事業	杉並第二小学校 杉並第七小学校 富士見丘小学校 済美小学校 新泉和泉小学校 大宮中学校	令和元年度	オリンピック・パラリンピック教育のテーマの一つである「文化」について、今まで各学校が行ってきた「伝統・文化」、「国際理解」に関する教育に加え、様々な文化に対する理解を深めるため、文化プログラム・学校連携事業を実施する。

事業名	学校名	委託期間	備考
持続可能な社会づくりに向けた教育推進校	該当校なし		
プログラミング教育推進校	和田小学校 天沼小学校	平成30年度～ 令和元年度	新学習指導要領に基づく「プログラミング的思考」を育むことを目的とした授業等の実施に当たり、支援団体及び企業と学校とが効果的な連携を推進していき、その成果を、公開授業の実施や指導事例の作成等により広く他校に普及・啓発を図る。
コーディネーショントレーニング地域拠点校	四宮小学校	令和元年度	脳・神経・筋肉等の調和的発達を促進し、児童・生徒の体力向上を図ることが期待できるコーディネーショントレーニングの都内公立学校への導入に当たり、体育授業等における先進的な取組を行い、実践内容を地域に発信していく。
東京都道徳教育推進拠点校	該当校なし		
親子情報モラル教室	馬橋小学校 杉並第七小学校 杉並第九小学校	令和元年度	情報活用能力の育成、情報モラルに関する意識の向上を図るため、学校に専門家を派遣し、情報モラル・情報リテラシーに関する訪問講座を実施することにより、児童への指導及び保護者への啓発を行う。

6 国等における教育事業取組実施校

事業名	学校名	委託期間	備考
「文化芸術による子供の育成事業」(巡回公演事業)	済美小学校 高井戸東小学校 泉南中学校	令和元年度	一流の文化芸術団体による巡回公演を行うことにより、文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる。
「文化芸術による子供の育成事業」(芸術家の派遣事業)	松庵小学校 富士見丘小学校 済美小学校 高井戸東小学校	令和元年度	個人又は少人数の芸術家を派遣し、講和、実技披露、実技指導を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的とする。
子供のため伝統文化・芸術体験事業	該当校なし		

杉並区教育委員会が主催する研修一覧（令和元年度）

研修については、教育公務員特例法により、教員の職責を遂行するために絶えず研究と修養に努めなければならないこと、また、教員には研修を受ける機会が与えられなければならないこと、が規定されています。

済美教育センターでは、学校・教員による自主的・主体的な研修の実施を推進するため、従来の悉皆・集合型研修を必要にして十分な回数に精選するとともに、ICTを活用したオンライン教育機会の活用も視野に、庶務課をはじめとした関係課と連携しつつ、個別型・訪問型・教員提案型の研修や校内OJTを支援する体制を充実していきます。

1 経験年次必修研修

No.	研修名	回数	研修の目的
1	若手教員育成研修（1年次）	10	教員としての使命感、幅広い知見、実践的指導力などの向上を図る。
2	若手教員育成研修（1年次） 水泳実技研修（一部必修）	1	採用1年目の教員に対し、水泳指導における危機管理及びその指導についての実践的な指導力の育成を図る。
3	若手教員育成研修（2年次）	3	採用2年目の教員に対し、「学習指導」「生活指導・進路指導」を中心とした、実践的な指導力の育成を図る。
4	若手教員育成研修（3年次）	2	採用3年目の教員に対し、「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を中心とした、課題解決力・対応力の拡充を図る。
5	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	8	学習指導、学校運営、生活指導・進路指導などに関する指導力の向上及び教育公務員としての資質・能力の向上を図る。
6	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ	3	学校保健に関する指導力及び教育公務員としての資質能力の向上を図る。
7	民間企業研修	1日・2日・3日	民間企業における研修を通して、企業活動の考え方や企業の環境問題への取組み等について理解を深め、その体験を教育活動に活用する。

2 職層／専門性向上研修

No.	研修名（実施主体）	回数	研修の目的
1	校長・園長研修 （教育人事企画課）	6	学校経営計画の策定等自主的・自立的な学校経営を進めるためのリーダーシップ、マネジメント能力、危機管理能力等を育て、管理職としての資質・能力を養う。
2	副校長研修・副園長研修 （教育人事企画課）	5	自主的・自立的な学校経営を進めるため、副校（園）長の責務を果たすために必要な資質・能力を育成する。
3	新管理職研修 （教育人事企画課）	2	杉並区立学校の管理職として区の施策である「小中一貫教育」「特別支援教育」「地域との協働」等の内容や方法について理解するとともに、学校経営を進めるための管理職としての資質・能力を養う。
4	主幹教諭・主幹養護教諭研修	1~2	監督、人材育成、調整、副校長補佐等の主幹の職務に必要な資質や能力の向上を図る。
5	指導教諭による模範授業	3	教科等の指導技術を普及していくために必要な資質や能力の向上を図る。
6	主任教諭・主任養護教諭研修【小学校】	1	主任教諭・主任養護教諭として求められる教育指導の専門性を高め、同僚や若手教員への助言・支援などの具体的な方法についての資質を養う。
	主任教諭・主任養護教諭研修【中学校】	1	
	主任教諭・主任養護教諭研修【特別支援学校】	1	

3 推進者養成研修

No.	研修名	回数	研修の目的
1	幼児教育研修	3	環境を通じた自発的な活動としての遊びを中心とした総合的な指導の在り方についての知識を習得し、幼児教育の充実を図る推進者を養成する。
2	幼保小連携教育研修	4	幼稚園教育要領、保育所保育方針、小学校学習指導要領の目標や内容を理解し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を踏まえた保育や指導の工夫について理解を深める。
3	教科等におけるICT活用研修	1	ICTの活用について実践的な知識や技術を学び、授業改善を図るとともに、校内でのICTの活用を普及させる推進者を養成する。
4	「特別の教科 道徳」に係る研修	3	新学習指導要領の趣旨についての理解を深めるとともに、「考える道徳」「議論する道徳」に向けた実践的な指導方法についての知識を習得する。

No.	研修名	回数	研修の目的
5	主体的・対話的で深い学びのための研修	2	主体的・対話的で深い学びを実現するための実践的な指導方法についての知識を習得する。
6	理科におけるものづくり研修	1	理科における「ものづくり」を通して主体的・対話的で深い学びを実現する指導技術を各学校に普及させる推進者を養成する。
7	プログラミング教育研修	2	プログラミング的思考の育成について、実践的な知識や技術を学び、授業改善を図るとともに、校内でのプログラミング教育を普及させる推進者を養成する。
8	外国語教育担当者研修	小2 中3	新学習指導要領の内容及び、改訂に伴う移行期間等における外国語教育に関する制度改編の動向について理解を深め、各学校に普及する推進者を養成する。
9	英語教育推進リーダーによる還元研修(小・中)	5	文部科学省から提供される新学習指導要領や新教材等について知識を習得する。
10	武道(柔道・剣道等)指導技術研修	1	「武道(柔道・剣道等)」に関する具体的な指導の内容及び方法を学ぶとともに、安全指導及び安全管理の方法について理解を深め、指導の充実を図る。
11	水泳・救命実技研修(「杉並区学校安全対策の手引」周知・徹底)	1	学校事故及び水泳事故の防止のため、安全指導及び安全管理の在り方について理解を深め、危機管理の推進に必要な資質・能力の育成を図る。
12	司書教諭研修	2	司書教諭の役割、業務について理解し、校内での学校図書館に関する活動を推進するための知識や技術を身に付ける。
13	人権教育研修	2	校内における組織的・計画的な人権教育が推進できるようにするとともに、人権課題の理解と認識を深め、児童・生徒の発達段階に応じた指導ができる実践力の育成を図る。
14	特別支援教育コーディネーター研修	5	特別支援コーディネーターとしての役割を理解し、校内支援体制づくりや関連機関との連携などの内容や方法について理解を深め、各学校における特別支援教育の充実を図る。

4 教科等指導に関する研修

No.	研修名	回数	研修の目的
1	国語科	1	『すぎなみ9年カリキュラム』を基に、各教科等の目標・内容(事項)の【系統性】や方法の【連続性】を学び、より実践的な学習指導や【協働】・協力的指導の在り方について理解を深める。
2	算数・数学科	1	
3	外国語活動・外国語科	1	
4	教科等における学校図書館活用・学校司書連携研修	2	教科等の指導における学校図書館や図書を使った授業の効果的な進め方、ワークシートの活用の仕方、学校司書との連携について理解を深める。
5	杉並教育研究会と連携して行う教科等指導に関する研修	1	杉並教育研究会の各部により、杉並区内教員の授業力のスキルアップのための基礎・基本を学び、教科等指導を実践する資質・能力を高める。
6	指導教諭による模範授業・研究協議会への参加	1	指導教諭の模範授業の参観と研究協議会への参加をとおして、教科等の専門性に関する知識を深め、教科等指導に係る資質・能力を高める。
7	英語力向上研修	2	都立高入試におけるスピーキングの技能の評価及び中学校における英語四技能育成に向けて、パフォーマンステストの指導の充実及び教員のスピーキング・発音能力の育成を図る。

5 教育課題等選択研修

No.	研修名	回数	研修の目的
1	区立私立保育共同研修	1	公立私立の枠を超えて、子どもたちの成長を支え、幼児教育に携わる保育者の資質の向上や保育内容の充実を図る。
2	特別支援教育研修	2	特別支援教育に関する基礎的な知識を習得する。
3	幼児期の特別支援教育研修	2	集団の中で生活することを通して取り組む幼児期の特別支援教育の在り方について、基礎的な知識を習得する。
4	学級経営力の向上を目指した研修	3	学級経営の充実を図るために、学び合いを通じた社会的包摂を目指し、学級の質や人間関係の把握、集団を育て経営する視点や方法に関する知識を習得し、実践的な資質や能力を養う。
5	教育課題研究指定校の成果還元研修	1	杉並区教育課題研究指定校発表校の実践の成果等を区立学校に広め、各校の研究推進等に生かす。

6 次世代リーダー育成研修

No.	研修名(実施主体)	回数	研修の目的
1	スクールマネジメントセミナー (教育人事企画課)	10	これからの日本の教育の在り方や学校教育の役割について、グローバルな視点から見つめ直すとともに、自らの実践力や折衝力、調整力等の資質・能力の向上を図る。

教 育 図 書 館

区立学校・子供園や教職員の研修などのため、教育に関する図書・資料・雑誌を収集し、閲覧・貸出を行っています。

蔵書冊数

(平成30年度末現在)

教育図書	28,219
教育資料	56,606
教育雑誌	5,023
教科書	17,322
合計	107,170

貸出冊数

(平成30年度)

教育図書	153
教育資料	106
教育雑誌	30
教科書	29
合計	318

教育資料の内訳

杉並区関係 26,947冊

区外・全国 29,659冊

教 科 書 セ ン タ ー

現在使用している小・中学校の文部科学省の検定済み教科書見本本と収集した過去の教科書について、区民や教職員が利用できるよう常設展示を行っています。

また、毎年6月上旬から、小・中学校で使用する教科書見本本を展示する「教科書展示会」を開催しています。教科書採択を行う年度においては、この展示会を区民が文部科学省の検定済み教科書見本本に対する意見を述べる機会として活用しています。

III 社 会 教 育



1. 社会教育の推進

生涯学習の支援

教育委員会では、区民の生涯学習活動のより一層の振興を図るため、学校の余裕教室を有効活用した「生涯学習振興室」の運営などを行っています。

生涯学習振興室 〈生涯学習推進課〉

生涯学習振興室（愛称：ゆうゆうハウス）は、個人学習室を備えた施設として多くの区民の学習活動に利用されています。



杉九ゆうゆうハウス学習室

生涯学習振興室の利用状況（平成30年度）

施設名	所在地	開館時間 休館日	個人学習室 (延利用者数)
西田ゆうゆうハウス (平成7年4月開設)	荻窪1-38-15 (西田小学校内) ☎ 3220-9951	開館時間 午前9時～午後9時 休館日 (西田) 第2・4月曜 (杉九) 第1・3月曜 12月31日～1月3日	9,874
杉九ゆうゆうハウス (平成10年1月開設)	本天沼1-2-19 (杉並第九小学校内) ☎ 3399-6521		11,476

※杉九ゆうゆうハウスは令和元年8月から阿佐谷南3-2-19（産業商工会館内）に移転します。

生涯学習活動の指導者傷害保険 〈生涯学習推進課〉

区内で生涯学習活動をしている団体の指導者が生涯学習活動中の事故により、死亡あるいはケガ（入院・通院）をした場合に補償するものです。

平成30年度加入者 76団体 3,407人

社会教育事業への支援 〈生涯学習推進課〉

区内の生涯学習の振興を図るため、社会教育関係施設間の連携や社会教育関係団体などが区民に対して社会教育、生涯学習の機会を提供する事業を支援しています。

社会教育関係施設等連絡会議の開催

「夏休みの催し情報」作成・発行

杉並区教育委員会後援等名義使用の承認

区内大学等との連携協働事業 〈生涯学習推進課〉



すぎなみフェスタ

区と区内5大学等（女子美術大学・女子美術大学短期大学部、高千穂大学、東京女子大学、東京立正短期大学、明治大学）は、相互に連携し、区民の生涯学習の支援を行い、さまざまな分野で人的、知的、物的資源を交流・活用した協働事業に取り組んでいます。平成30年度には、すぎなみフェスタ2018に参加協力するとともに、各大学の専門性を生かす行政や地域との連携支援に取り組みました。

平成30年度

協議会の開催 延 4回

協議会事業等

内 容
『すぎ☆キャン!』5号(杉並区と杉並6大学の情報誌)発行
○すぎなみフェスタ実行委員会への参加 ○桃井原っぱ公園特設ステージプログラムへの出演 ・高千穂大学ダンス愛好会 (日程)11月3日 (会場)桃井原っぱ公園

小学生名寄自然体験交流 〈生涯学習推進課〉

区の交流自治体である北海道名寄市に、次世代育成基金を活用して派遣された小学5・6年生が、厳しい寒さと豊かな自然に触れるとともに、国内最大級の望遠鏡での天体観測や地元の子どもたちと交流するなど、普段経験できない貴重な体験をしています。

開催日・場所	内 容	参加者数
12月26～28日 北海道名寄市	天文台見学、博物館見学、スノーシュートレッキング体験・雪遊び(現地児童と交流)、カーリング体験 ほか	小学校5・6年生 25名

区民に文化・スポーツ活動の場を提供するとともに、地域での連帯意識を醸成するため、学校教育活動に支障のない範囲で学校施設の開放を行っています。

学校施設 の 開 放

遊びと憩いの場の開放 〈学校支援課〉

小学校(杉並第二小学校・杉並第十小学校・桃井第二小学校・桃井第五小学校・新泉和泉小学校を除く)の校庭を「遊びと憩いの場」として開放しています。児童及び高齢者、保護者の付添いのある幼児は、開放日には自由に利用できます。なお、「遊びと憩いの場」の開放時には、利用者の事故防止、遊具の管理のため、学校開放指導員を配置しています。

登録団体への開放 〈学校支援課〉

教育委員会に登録(1団体2校まで)した団体は、小・中学校の校庭(杉並第十小学校を除く)や体育館・教室などを有料で団体利用することができます。ただし、区内在住・在学の児童・生徒及びその指導者で構成された登録団体(少年団体)が利用する場合は、次世代育成支援の観点から無料です。(照明設備の使用料を除く。)

プール開放 〈学校支援課〉

夏季には学校開放の一環として、区立小・中学校プールを開放しています。開放時には、監視員を配置して利用者の危険防止にあたります。

平成30年度は、小学校3校、中学校5校を開放しました。

プール開放使用料は1回200円です。なお、次世代育成の観点から、中学生以下の利用者については無料です。

開放施設・日時等・利用者等

【遊びと憩いの場開放】

開放施設	日 時 等			利 用 者
	開放日	3月から10月までの 開放時間	11月から2月までの 開放時間	
小学校校庭 (杉並第二小学校・ 杉並第十小学校・ 桃井第二小学校・ 桃井第五小学校・ 新泉和泉小学校 を除く。)	水曜日 土曜日 日曜日 祝日 学校休業日 (年末年始を除く。)	午前9時から午後5時 まで ただし、水曜日は午後 1時30分から午後5 時まで、土曜日と夏季・ 春季の学校休業期間の 月曜日から金曜日まで は午前又は午後の半日	午前9時から午後4時 まで ただし、水曜日は午後 1時30分から午後4 時まで、土曜日と冬季 の学校休業期間の月曜 日から金曜日までは午 前又は午後の半日	・保護者の付添いの ある幼児 ・児童、高齢者 ・児童・高齢者の付 添い者

【団体開放】

開 放 施 設	日 時 等			登 録 の 区 分	利 用 者
	開放日	3月から 10月までの 開放時間	11月から 2月までの 開放時間		
校	照明設備を有しな い小学校(杉並第 十小学校・新泉和 泉小学校を除く。)	校長の意見に基づき、教育委員会が別に定める。		少年団体	原則として、当該校の 通学区域に居住する 児童で構成された少年 団体
	庭	照明設備を有しな い中学校	土曜日 日曜日 祝日 学校休業日 (年末年始を除く。)		
	照明設備を有する 学校	毎日 (年末年始を除く。)	午後7時から午後9時まで ただし、土曜日、日曜日、祝日、 学校休業日は午後5時から午後 9時まで	少年団体 一般団体	原則として、区内に在 住・在勤・在学する 10人以上の者で構成 された団体
屋内運動場 特別教室・会議室	土曜日 日曜日 祝日 学校休業日 (年末年始を除く。)	午前8時から午後9時まで			
	平日	午後6時から午後9時まで			

付記

- 1 開放施設欄中の照明設備を有する学校とは、馬橋小学校、方南小学校、松ノ木中学校及び向陽中学校である。
開放施設欄中の特別教室、会議室を開放する学校は教育委員会が別に定める。

遊びと憩いの場の開放、団体開放及び目的外利用の実施状況（平成30年度）

学校名	遊びと憩いの場の開放				登録団体開放				目的外利用										
	全日 (実施 回数)	平日 (実施 回数)	利用者 数	延利用 団体数	延利用 者数	校庭	体育館	教室等	合計	全日 (実施 回数)	平日 (実施 回数)	利用者 数	延利用 団体数	延利用 者数	校庭	体育館	教室等	合計	
杉並第一	0	101	2,397	443	9,940	35	42	44	121	松ノ木	0	151	2,278	145	5,194	71	166	70	307
杉並第二	0	7	240	474	13,960	1	2	78	81	高井戸東	56	106	3,225	673	26,826	1	1	47	49
杉並第三	0	96	465	517	10,068	1	7	10	18	久我山	20	181	3,249	559	19,755	40	5	42	87
杉並第四	45	101	4,354	814	16,762	33	30	65	128	天沼	0	138	4,732	603	11,107	1	2	208	211
杉並第六	30	34	224	410	7,983	22	121	45	188	永福	64	106	3,765	489	12,486	0	14	9	23
杉並第七	0	77	2,663	401	10,126	52	16	60	128	新泉和泉	△	△	△	△	△	△	△	△	0
杉並第八	50	100	2,141	454	10,267	9	16	47	72	計	891	3,840	96,307	19,503	608,217	566	713	3,093	4,372
杉並第九	43	132	4,080	498	15,501	2	75	308	385	高円寺	△	△	△	385	4,760	0	24	45	69
杉並第十	△	△	△	526	8,656	0	22	52	74	高南	△	△	△	410	7,262	0	2	32	34
西田	65	115	4,622	497	13,750	49	7	56	112	杉森	△	△	△	329	9,114	2	0	26	28
東田	44	65	1,681	160	3,414	8	11	38	57	阿佐ヶ谷	△	△	△	782	9,614	0	16	191	207
馬橋	42	62	1,561	929	32,270	12	13	101	126	東田	△	△	△	650	9,289	6	3	40	49
桃井第一	11	15	132	468	20,962	0	9	40	49	松溪	△	△	△	332	7,914	0	13	25	38
桃井第二	0	1	11	443	7,801	0	1	18	19	天沼	△	△	△	263	6,252	0	9	1	10
桃井第三	0	148	4,825	584	21,674	5	4	6	15	東原	△	△	△	251	6,823	3	17	1	21
桃井第四	0	168	1,175	308	9,416	14	19	27	60	中瀬	△	△	△	379	9,162	10	1	77	88
桃井第五	8	100	1,002	436	13,918	3	13	34	50	井荻	△	△	△	602	17,097	0	4	94	98
四宮	63	98	3,443	236	11,534	0	0	39	39	井草	△	△	△	368	5,269	0	1	8	9
荻窪	32	82	1,849	325	13,795	108	2	252	362	荻窪	△	△	△	244	4,425	0	9	4	13
井荻	5	129	2,649	547	14,863	0	3	25	28	神明	△	△	△	198	3,244	0	0	6	6
沓掛	0	162	3,516	672	24,651	30	8	32	70	宮前	△	△	△	321	7,445	25	8	27	60
高井戸	61	112	2,102	690	15,490	4	12	205	221	富士見丘	△	△	△	482	7,012	2	10	12	24
高井戸第二	0	129	2,111	688	26,679	0	0	201	201	高井戸	△	△	△	210	4,061	0	21	30	51
高井戸第三	54	103	4,323	393	15,465	6	5	173	184	向陽	△	△	△	663	19,260	59	4	11	74
高井戸第四	21	128	3,841	605	19,517	10	29	28	67	松ノ木	△	△	△	637	15,339	8	1	25	34
松庵	1	45	573	369	15,110	14	12	87	113	大宮	△	△	△	507	11,281	1	2	103	106
浜田山	59	67	6,628	613	23,995	0	0	211	211	泉南	△	△	△	619	12,130	1	3	17	21
富士見丘	0	63	499	487	32,161	1	23	28	52	和田	△	△	△	462	7,453	0	2	13	15
大宮	0	36	391	220	7,142	0	3	56	59	和泉	△	△	△	467	10,966	3	3	25	31
堀之内	55	90	1,866	551	14,331	0	2	55	57	西宮	△	△	△	298	3,717	0	3	2	5
和田	2	81	1,726	498	13,794	0	0	45	45	計	△	△	△	9,859	198,889	120	156	815	1,091
方南	0	133	3,674	576	14,321	1	0	146	147	済美養護	△	△	△	△	△	3	128	200	331
済美	0	114	468	307	7,324	0	5	0	5	合計	891	3,840	96,307	29,362	807,106	689	997	4,108	5,794
八成	1	159	4,831	468	22,362	13	12	50	75	前年度実績	914	4,034	109,973	27,392	760,411	540	1,036	3,856	5,432
三谷	59	105	2,995	427	13,847	20	1	55	76										

Ⅲ 社会教育

プール開放の実施状況（平成30年度）

学校名	開放日数	利用者数
小学校		
堀之内	10	188
八成	10	167
馬橋	12	201
中学校		
阿佐ヶ谷(昼)	12	756
阿佐ヶ谷(夜)	12	374
松溪	10	220
和泉	10	139
井荻	10	272
天沼	10	275
合計		2,592

文化財 の 保護

文化財は、私たちの先祖の歴史、文化の貴重な遺産であり、郷土の歴史、文化を正しく理解し、豊かな地域文化を創造していくために欠くことのできないものです。

教育委員会では、このかけがえのない文化財の保護・保存に努めるとともに広く区民に紹介するほか、様々な調査・研究も実施しています。

また、文化財の保護について、継続的かつ体系的に行政施策を推進するため、昭和57年4月に「杉並区文化財保護条例」を制定し、区民の文化向上、郷土文化の振興と発展に努めています。

文化財の指定・登録 〈生涯学習推進課〉

「杉並区文化財保護条例」に基づき、学識経験者で構成される文化財保護審議会の答申を得て、区にとって重要と思われる文化財を選定・登録し、その中でも特に貴重な文化財を指定しています。

杉並区指定・登録文化財種別一覧

種 別	登 録	指 定
有 形 文 化 財	98	69
建 造 物	14	10
絵画・彫刻・工芸品	28	21
書 跡 ・ 典 籍	4	4
古 文 書	31	19
考 古 資 料	15	12
歴 史 資 料	6	3
無 形 文 化 財	0	0
有 形 民 俗 文 化 財	31	14
信 仰	27	13
娯 楽 ・ 競 技	4	1

種 別	登 録	指 定
無 形 民 俗 文 化 財	5	1
民 俗 芸 能	5	1
史 跡	9	3
遺 跡	1	1
墓 碑	8	2
名 勝	0	0
天 然 記 念 物	4	4
植 物	4	4
合 計	147	91

*登録文化財のうち、特に貴重なものを指定文化財としている。
指定件数は、登録件数の内数。



光明院南遺跡 F地点出土石棒

文化財の保護・奨励 〈生涯学習推進課〉

指定・登録文化財の所有者などに対して保護奨励金を交付し、文化財の保護を図っています。

杉並区文化財保護奨励金の交付状況

種 別	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
指定文化財	65	1,300,000	64	1,280,000	64	1,280,000
登録文化財	53	525,000	53	525,000	53	525,000
合 計	118	1,825,000	117	1,805,000	117	1,805,000

文化財の調査 〈生涯学習推進課〉

区内には、昔の記録をとどめた古文書や、寺社の建築物などの様々な文化財があります。これらの文化財の所在や状況を把握して、区民に紹介したり、保護するために、分野ごとに専門的調査を実施しています。

また、平成28年3月、日本政治史上、重要な場所として、国の史跡指定を受けた「荻外荘」（近衛文磨旧宅）の建物等の復原に向けて、引き続き関係資料調査等を進めます。

埋蔵文化財の調査 〈生涯学習推進課〉

杉並区は、都内でも遺跡数の多いことで知られ、井草川、妙正寺川、善福寺川、神田川流域の各遺跡は、早くから学界の注目を集めています。

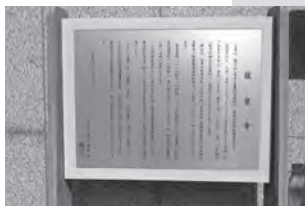
これらの貴重な埋蔵文化財については、文化財保護の立場から、必要に応じて発掘調査やその指導・助言などを行っています。

文化財保護ボランティア 〈生涯学習推進課〉

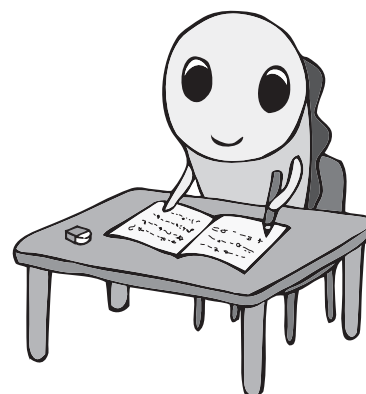
地域の中で、文化財保護の普及や文化財調査などを補佐する活動を行うため、文化財保護ボランティアが活動しています。

文化財案内標示板等の設置 〈生涯学習推進課〉

身近にある貴重な文化財の紹介と保護普及のために、文化財案内標示板を設置しています。また、区指定文化財については、その概要を記した標柱を設置しています。



文化財案内標示板



2. 社会教育センター

社会教育センターの概要

社会教育センターは、区内の社会教育活動の拠点として、区民の生涯にわたる学習の機会と場を提供し、教育・文化活動の充実を図ることを目的に、高円寺地域区民センターとの複合施設として建設されました。



施設概要

開設年月日	平成元年6月1日
所在地	梅里1-22-32(高円寺地域区民センターと併設)
電話・FAX	☎3317-6621 FAX3317-6620
敷地面積	7,614.51㎡
延床面積	8,006.23㎡ (うち社会教育センター分4,003.12㎡)
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地下1階、地上4階建
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	毎月第2・第4木曜日、毎月第2木曜日の前日の水曜日、年末年始

施設内容及び利用状況(平成30年度)



ホール舞台

室名	面積(㎡)	使用回数(回)	室名	面積(㎡)	使用回数(回)
ホール	767.21	687	第3集会室	14.55	945
展示室	287.78	896	第4集会室	28.27	755
リハール室	88.27	333	第5集会室	44.74	636
視聴覚室	113.07	502	第6集会室	42.97	596
料理室	82.86	294	第7集会室	44.74	627
工芸室	72.02	333	第8集会室	68.62	705
第1和室	49.89	469	第9集会室	65.90	648
第2和室	53.92	464	第10集会室	63.18	727
第3和室	17.63	572	第1音楽室	86.07	1,938
第4和室	16.20	573	第2音楽室	38.05	2,709
第5和室	19.35	663	体育室	270.74	3,624
第1集会室	33.74	786	軽運動室	77.63	2,869
第2集会室	14.55	939			

※ ■ は社会教育センター

情報資料コーナー

情報収集・発信の場として、官公庁や大学、NPO等のパンフレットやチラシ、冊子など、社会教育に関する様々な資料を配布しています。

団体交流室

社会教育関係団体の打合せや団体相互の交流の場として設置しています。また、社会教育に関する図書・資料等の閲覧ができます。

平成30年度 登録団体 46団体

成人学習
支援

学級・講座・講演会等

社会環境の変化等に伴い、多様化する区民の学習意欲に応え、知識・技能の習得や心豊かな暮らしに資するため、各種学級・講座・講演会等を実施しています。

学級・講座・講演会等の実施状況（平成30年度）

講座名等		開催時期	講座数	延べ回数	出席者数(人)	
すぎなみ大人塾 (P88参照)	総合コース	6月～2月	1	11	45	
	高円寺コース	9月～2月	1	10	32	
	西荻コース	9月～2月	1	6	31	
すぎなみ社会教育セミナー(P89参照)	講演会	5月	1	1	30	
	連続講座	6月～8月	1	5	20	
区民企画講座(P89参照)		11月～3月	1	3	42	
杉並区内大学 公開講座	高千穂大学	地域における身近な活動と身近な話題	9月	1	1	12
	女子美術大学	プチトマトを描こう	12月	1	1	16
	東京女子大学	近現代ドイツを考えるための6章一虚像と実像とのあいだで	5～6月	1	6	136
		日本人のパリ体験	9～11月	1	6	142
	明治大学	神社と祭りの日本精神史(1)	5～8月	1	8	783
		中国思想と西洋思想の出会い	6月	1	1	128
		「恋愛」の日本近代文学(3)	10月	1	4	57
		神社と祭りの日本精神史(2)	10～1月	1	8	320
	立教女学院短期大学	長崎潜伏キリシタンの信仰世界	10月	1	1	230
		図書館主催講座	11月	1	1	73
	東京立正短期大学	聖マーガレット礼拝堂パイプオルガン見学会	12月	1	1	140
		教養講座	10月	3	3	165
		水墨画教室	10月	1	3	8

すぎなみ大人塾

自由で、新しい発想を育む学習の場として、学習支援者のアドバイスを交えた受講者相互の学習や討論を基本にしています。魅力的なゲスト講師の講義も手がかりにして、区民相互のネットワーク構築と学びを深めていくプログラムです。

平成29年度からは、総合コース・高円寺コース・西荻コースの3コースを開設しています。企画運営にあたっては、アドバイザー・学習支援者・修了生等の協力を得て行っています。

平成30年度

総合コース

テ－マ	コトバ・ラボ
日程・場所	6月～2月 全11回（合同成果発表会含む） 金曜日・午後7時～9時 セッション杉並ほか
学習支援者	伊藤 剛（(株)アソボット）
参加者	45人
内 容	・オリエンテーション「いまコトバを学ぶ意味とは何だ？」 ・日本語を知らない私たち（「ニホンゴ」って何だ？ / 「オノマトペ」って何だ？ / 「役割語」って何だ？ / 「標準語」って何だ？） ・コトバと私たちの関係性（「なぜ言葉は誕生したのか？」 / 「子どもはどのように言葉を獲得するのか？」 / 「A」はどのように言葉を獲得するのか？」 / 「コトバと時代の関係性」） ・まとめ
公開講座	7月13日（金） / 講師：窪田 晴夫（国立国語研究所） 「オノマトペ」って何だ？」

高円寺コース

テ－マ	もっと高円“人” まちの“たまり場”をデザインする
日程・場所	9月～2月 全10回（合同成果発表会含む） 水曜日・午後7時～9時 高円寺障害者交流館、まちのシェアスペース「Book Café Diner イココチ」、まちのフリースペース「ヒトツナ」、ほか
学習支援者	川上 和宏（コミュニティカフェ経営）
参加者	32人
内 容	・人が集まる“たまり場”のつくりかた ・“たまり場”をデザインする ・“たまり場”のプロジェクト活動実践
“たまり場”プロジェクト実践	1月23日（水） シェアミュージック Night Vol.1（場所：まちのフリースペース「ヒトツナ」） 1月26日（土） 高円寺のたまり Ba 大人塾（場所：ヒトツナ Villa） 1月27日（日） みんなでつくろうたまり場創造 PROJECT（場所：高円寺純情商店街 まちの駅） 1月27日（日） 初心者どうして楽しむ“まずは”おひろめ会（場所：Book Cafe Diner イココチ）

西荻コース

テ－マ	ぷらっと西荻パート2 ～新しい大人、西荻で始めよう
日程・場所	9月～2月 全6回（合同成果発表会含む） 土曜日・午後1時30分～4時30分 西荻南区民集会所、東京女子大学、桃井第三小学校、ほか
学習支援者	船尾 卒（クリエイティブディレクター）
参加者	31人
内 容	・ゲスト講師による「地域」や「つながり」をテーマにしたお話し ・「2枚目の名刺」を作り、プロセスデザインを体感しながら地域活動デビューをめざす

3（総合・高円寺・西荻）コース合同

テ－マ	合同成果発表会
日程・場所	2月16日（土）午後1時30分～5時・セッション杉並
参加者	92人

すぎなみ大人塾&すぎなみ地域大学共同開催

開講記念講演会	5月19日（土）午前10時30分～正午・セッション杉並・参加者346人 「バックンマックンの笑撃的コミュニケーション術」 講師：バックンマックン（コメディアン）
特別講演会	3月16日（土）午後1時30分～4時・杉並第四小学校・参加者70人 「南伊豆 感じて、学んで、つながって」
学びと参加のシンポジウム	10月21日（土）午後1時30分～4時30分・西荻地域区民センター・参加者36人 「まちピタ会議 in 西荻2018」 講師：伴 裕和（西荻地域区民センター協議会事務局長） 中島 敦（生活支援コーディネーター）

※アドバイザー 専門的な視点からすぎなみ大人塾の方向性やPRの面で助言する
 笹井 宏益（玉川大学学術研究センター教授／杉並区社会教育委員の会議議長）
 正田 恵子（杉並区社会福祉協議会）

すぎなみ社会教育セミナー

先駆性（専管部署がない課題や認識されていない問題の掘り起こし）、総合性（多様な地域連携を生みだす働きかけ）、自発性（生活者の実感が活かされる仕組みづくり）を講座テーマ決定の判断基準とし、実施しています。

平成30年度

講演会

事業名	2050未来の暮らしの話をしよう～社会や環境はどう変わる？～
日時	平成30年5月26日（土）午後1時～3時
場所	セシオン杉並
内容	人口問題や気候変動など2050年の世界や日本がどういう状況になるのかという予測を知り、今から自分たちにできることを考える。
講師	安井 至（東京大学名誉教授）
参加者	30人

連続講座

講座名	スギナミライフ学～持続可能なライフスタイルをデザインしよう
日時	平成30年6月16日～8月25日（全5回） いずれも土曜日の午前10時～正午
場所	セシオン杉並、ゆうゆう館ほか
内容	戦前の暮らし方に潜む利点を現代に甦らせ、豊かな暮らしを創造していくための活動「90歳ヒアリング」について学び、環境制約下における未来のライフスタイルをデザインする。 ・未来のライフスタイルを描くための「90歳ヒアリング」 ・デザイン力を高めるための聞き方、話し方 ・「90歳ヒアリング」の実践 ・未来に残す価値を考える ・バックキャストで描く未来のライフスタイルデザイン
講師	古川 柳蔵（東京都市大学環境学部教授）
参加者	20人

区民企画講座

「区民企画講座」は、区民参加で講座等の事業を企画実施しています。平成30年度は、高校生・大学生が、区内教育関係者等の協力を得ながら、自らの課題や興味関心をもとに事業を企画実施し、学校外での学びを広げました。

平成30年度

講座名	魅せる！生かせる！引き寄せる！落語に学ぶ話し方
内容	・落語実演「阿武松」等 ・講演「『話す』『伝える』とは何か～修業時代の体験から」 ・フリートーク
日時	平成30年11月4日（日）午後2時～5時30分
場所	高円寺 commons
ゲスト講師	柳家小きん（落語家）
参加者	15人

講座名	伝え方の十人十色
内容	・グループワーク（「伝え方」で気を付けていることやその具体的技術、参加者の「伝え方」に関する悩みや思いを話し合う） ・プレゼンテーション（学んだことなどを自分なりの形で発表する）
日時	平成31年2月10日（日）午後2時～5時
場所	高円寺 commons
ゲスト講師	新田 哲嗣（構成作家）、中篤 美査（バスガイド）
参加者	10人

講座名	イケてるキキテ
内容	・グループワーク①（「聞くこと」について考えを深める） ・グループワーク②（参加者同士で夢を聞き出し合い、グループでその夢を紹介し合う）
日時	平成31年3月24日（日）午後2時～5時
場所	セシオン杉並
参加者	17人

広報すぎなみ～なかま集まれコーナー

区内を中心として自主的に活動しているサークルのメンバー募集の情報提供を行っています。

平成30年度 年間情報掲載件数 130件
掲載号 4・7・10・1月 各15日号

社会参加 支 援

にほんご教室

杉並で暮らす外国人が、日常生活に支障のない程度の日本語能力を取得するために実施しています。

平成30年度

講座名	開催時期		クラス数	回数	延べ参加者数(人)
にほんご教室	第1期	4月～7月	5	21	398
	第2期	9月～11月	5	21	433
	第3期	1月～3月	5	21	521

済美日曜教室

区内に在住する中学校の特別支援学級及び特別支援学校を卒業した方、又は愛の手帳所持者で、原則として1人で通所できる方を対象に、社会で役立つ一般教養の向上と仲間づくりの場として、年間を通じて日曜日に開設しています。

平成30年度 実施回数 16回 参加者数 延910人

芸術・文化 活 動

杉並区総合文化祭

文化の創造や芸術に親しむ機会を広げるため、区内の芸術家や区民の参加を得て、区、教育委員会、文化団体連合会の共催で開催しています。

平成30年度

作品展示

開催月日	種 目	出品者数(人)	来場者数(人)	主催団体
9月28日～10月3日	華 道 展	145	880	華 道 連 盟
10月5日～10月9日	書 道 展	126	715	書 道 人 協 会
	絵 手 紙 展	200	572	絵 手 紙 文 化 連 絡 会
10月13日～17日	区 民 写 真 展	58	458	フ ォ ト 連 合 会
10月19日～23日	ア マ 美 連 盟 美 術 展	105	535	ア マ 美 連 盟
合 計		634	3,160	5団体

舞台発表

開催月日	種 目	来場者数(人)	主催団体
10月6日	洋舞フェスティバル	1,820	洋 舞 連 盟
10月7日	歌 謡 大 会	405	歌 謡 連 盟
10月13日	民 謡 舞 踊 大 会	416	民 謡 連 盟
			民 謡 舞 踊 連 合 会
			民 謡 舞 踊 協 会
10月14日	吟 剣 詩 舞 道 大 会	100	吟 剣 詩 舞 道 連 盟
10月20日	コ ー ラ ス 大 会	1,183	コ ー ラ ス 連 盟
10月21日	親 子 で 楽 し く フ ェ ス テ ィ バ ル	1,878	児 童 文 化 連 盟
			音 楽 教 育 振 興 会
10月27日	舞 踊 大 会	565	舞 踊 連 盟
10月28日	三 曲 演 奏 会	600	三 曲 協 会
合 計		6,967	11団体

参加型競技会・講演会

開催月日	種目	来場者数(人)	主催団体
10月13日	歴史文化講演会	128	歴史研究団体連絡会
10月14日	将棋大会	90	将棋連盟
10月20日	マジック大会	142	奇術連盟
10月21日	俳句大会	360	俳句連盟
10月27日	短歌大会	146	短歌連盟
10月28日	囲碁大会	123	囲碁連合会
10月21日	点茶会	419	茶道連盟
合計		1,408	7団体

美術作品展

開催月日	種目	出品点数(点)	来場者数(人)	主催団体
10月26日～30日	洋画、日本画、 工芸、彫刻、書道	78	419	洋画家クラブ 日本画家クラブ 工芸家クラブ 彫刻家クラブ 書道人協会

区民文化の日

開催月日	種目	出品・出演者数	来場者数(人)
11月1日～3日	展示部門	20組	567
11月3日	舞台部門	267(人) / 20(組)	572

ユネスコ活動

日常生活の中にユネスコの平和理念を取り入れて、国際理解を深め、平和の推進を図る趣旨のもとに、杉並ユネスコ協会と共催で各種事業を実施しています。

平成30年度

名称		対象	実施時期	回数	参加者数(人)	会場
一般事業	ユネスコ運動の日	区内在住・在勤・ 在学者	7月	1	18	セシオン杉並
	ユネスコのつどい (教育フォーラム)		11月	1	153	セシオン杉並
	ユネスコ料理教室		12月	1	18	セシオン杉並
	ユネスコ文化講座		2月・3月	4	延142	セシオン杉並等
	親子科学教室		3月	1	83	セシオン杉並
青少年事業	国際中学生交歓会	区内中学生と セントメリーズ校 生徒	4月	2	延66	セシオン杉並 セントメリーズインター ナショナルスクール(世田谷区)
	国際子ども交歓会	区内小学生と セントメリーズ校児童	10月	1	151	松庵小学校
	ユネスコ教室※	区内中学生と 外国人学生	8月	5	延180	セシオン杉並 那須甲子青少年自然の家
	ユネスコ 中学生クラブ	区内中学生	4月～3月	11	延301	セシオン杉並等

※悪天候のため、最終日のJICA訪問は中止。

団体育成等

文化団体等の助成

杉並区文化団体連合会に加盟している各文化団体が発表や研究会等を開催する場合などに教育委員会の共催事業として実施し、団体を助成しています。

平成30年度 助成団体 15団体

社会教育団体の支援

区内の社会教育関係団体が講演会やイベント等を実施する場合などに教育委員会の共催事業として実施しています。

平成30年度 10団体

社会教育活性化支援プログラム

社会教育セミナー受講生有志等でつくる団体と協働し、学びの成果を活かした事業を実施しました。

平成30年度

事業名	すぎなみ大自然発見・秋編
日時	平成30年11月11日(日) 午前9時30分～午後0時30分
内容	区立郷土博物館から和田堀公園・善福寺川周辺・大宮八幡宮を散策し、秋の植物について、樹木の特徴や識別、活用方法などを学ぶ。また、それらをどのように暮らしに活かしていくことができるかを考えることで、地球に負荷のかからない暮らし方を知り、参加者が自分のライフスタイルを見直すきっかけとする。
講師	古川 柳蔵(東京都市大学環境学部教授)、自然観察の会・杉並
参加者	22人

事業名	すぎなみ再発見! 建物語り・昔語り～浴風会の歴史ある建物見学と車座トーク
日時	平成31年3月24日(日) 午前10時00分～午後0時30分
場所	浴風会敷地内、浴風会ホール
内容	東京都選定歴史的建造物の指定を受けた本館をはじめ、大正から昭和初期にかけて造られた敷地内の建物を見学し、その歴史的背景を学ぶ。見学後は、講演と映像作品の観賞をとおして、人口問題や気候変動等の環境制約下において、高齢になっても安心して地域に住み続けるために何ができるか、グループに分かれて懇談する。
講師	川崎 貞(浴風会参与、浴風会第二南陽園元園長) 他
参加者	45人

次世代型
科学教育
の推進

移動式プラネタリウム上映会

地球の外から星の位置関係を見る、星の軌跡を残すなど、多様な投影が可能なデジタル式投影機を用いたドーム型の移動式プラネタリウムを使用して、区内各地で上映会を開催しています。

平成30年度

上映回数	来場者数
25日(100回)	3,269人

移動式天文台車「ポラリス2号」による観望会

杉並区の交流都市である北海道名寄市、その名寄市立天文台「きたすばる」から、移動式天文台車「ポラリス2号」を杉並区に招き、区内各地で観望会を実施しています。

平成30年度

開催日	会場	内容	来場者数(人)
11月2日	高井戸東小学校	小学校授業	214
		観望会	189
11月3日	桃井原っぱ公園	太陽観測会	328
		観望会	162
11月4日	三谷小学校	太陽観測会	548
		観望会	曇天のため中止
11月5日	富士見丘小学校	小学校授業	107
3月15日	セッション杉並	小学校授業	106
		観望会	192
		太陽観測会	80
3月16日	名寄市天文台職員による天文講座「太陽はマグネットモンスター？」	48	
	杉並第四小学校	観望会	曇天のため中止
3月17日	四宮小学校	太陽観測会	85
		名寄市天文台職員による天文講座「数字で見る太陽のいろいろ」	30
3月18日	桃井第三小学校	観望会	158
		小学校授業	85

科学巡回展示

気軽に科学に親しむことができるよう、日本科学技術振興財団の巡回展示を利用して、夏休み・春休みの期間に科学展示を実施しています。

平成30年度(会場はいずれもセッション杉並)

開催期間	展示名	来場者数(人)
8月11日～22日	ラ・ピレット展 【同時開催イベント】ボードゲーム体験会(8/11・12)	885
3月15日～27日	究める!マグネット展	588

展示「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」

ニュートリノやカミオカンデのパネルと光電子増倍管の展示で、杉並名誉区民・小柴昌俊博士の功績を紹介しています。

平成30年度

開催期間	会場(イベント名)	来場者数(人)
4月17日～20日	区役所1階ロビー(科学技術週間)	549
10月27・28日	杉並第四小学校(高円寺フェスタ)	347
3月3日	セッション杉並(すぎなみサイエンスフェスタ)	84

すぎなみサイエンスフェスタ

実験や工作、最新技術の紹介を通して、科学の不思議さや面白さを知ってもらう科学の祭典です。

平成30年度（会場はいずれもセシオン杉並）

開催日	内 容	来場者数（人）
3月3日	ステージ部門 ・杉並子どもサイエンス・グランプリ受賞者表彰式 ・ミキ&マコによるスーパーサイエンスショー ブース部門 ・区内の科学団体、NPO、企業、学校などを中心に、 25の体験ブースが出展	1,624

サイエンスワークショップ・科学講演会

科学実験などを気軽に体験してもらう「サイエンスワークショップ」や、ゲスト講師を招いて科学に関する講義をしていただく「科学講演会」を実施しています。

平成30年度

開催日	内 容	会 場	講 師	参加者数(人)
8月6日	ロボット教室（初級1回目）	セシオン杉並	(株)トゥールースアカデミー	28
8月7日	ロボット教室（初級2回目）	セシオン杉並		29
8月10日	ロボット教室（中級）	セシオン杉並		18
8月18日	算数レストラン	セシオン杉並	済美教育センター 高槻 義一	184
10月8日	サイエンス縁日	セシオン杉並	工学院大学 学生プロジェクト Science Create Project	605
10月27日	サイエンス ワールド in高円寺フェス	ギンギンロボを作ってみよう！	杉並第四小学校 蔵前理科教室ふしぎ不思議	70
10月27日		おさかなキャッチャー	杉並第四小学校 だがしや楽校サイエンスくらぶ	146
10月28日		ちりめんモンスターを探せ！	杉並第四小学校 サイエンスホッパーズ	103
10月28日		よく飛ぶ竹とんぼ作り！	杉並第四小学校 NPO 法人 すぎなみ環境ネットワーク	83
11月18日	もっと知りたい！街のニホンミツバチ	セシオン杉並	一般社団法人養蜂文化情報ネットワーク 代表 山口 朝	44
3月23日	つくってあそぼう！「パタパタ」	セシオン杉並	だがしや楽校サイエンスくらぶ	144
3月24日	つくってあそぼう！「くるくる」	セシオン杉並	だがしや楽校サイエンスくらぶ	140

フューチャーサイエンスクラブ（FSC）

科学に興味を持つ小学校5・6年生、中学生を対象に、最先端の科学技術に触れる特別授業を夏休みに実施しています。

平成30年度

（中学生フューチャーサイエンスクラブ／会場は高円寺中学校、座・高円寺）

開催日	内 容		参加者数 (人)
	Aコース	Bコース	
7月31日	太陽光発電で温暖化防止 ～パネル実物で構造を解説。 スパコンの映像「2100年の地球」	レゴで作ろう！宇宙エレベーターロボット！ ～プログラミングしてミッションに挑戦～	85
8月1日	君も星空案内人① ～やってみよう プラネタリウム番組作り～	鳥の不思議な世界へようこそ！ ～とっても素敵な鳥の卵・巣・羽根・骨～	82
8月2日	君も星空案内人② ～やってみよう プラネタリウム解説～	熱中症対策 ～自作ポカリスエットを作ってみよう～	84
8月3日	ドローンレーサー入門！ ～ドローンを学ぶあれこれ	電子顕微鏡でミクロの世界を探検しよう ～みんなで・観て・触って・写真を撮ろう～	85

（小学生フューチャーサイエンスクラブ／会場は杉並第十小学校）

開催日	内 容		参加者数 (人)
	Aコース	Bコース	
8月21日	洗剤（せんざい）のふしぎ ～どうしてよごれが落ちていくの？～	見えないものが見える？不思議な世界	92
8月22日	イライラ棒ゲームをつくろう！ ～プログラミング(Scratch)をやってみよう～	玉ねぎの皮でハンカチ染色	93
8月23日	本気で飛ばそう！折り紙飛行機のひみつ	ホバークラフトってなに？ ～空気と摩擦の性質を知ろう～	92

3. 郷土博物館

郷土博物館 の 概 要

郷土博物館は、都立和田堀公園内に設置された本館と、天沼弁天池公園内に設置された分館からなっています。本館敷地内には本館のほか、江戸時代後期の建物で区指定文化財である井口家長屋門と篠崎家主屋を移築復原しています。

本館の施設は、原始・古代から近現代までの郷土杉並の歴史を展示した常設展示室と杉並にちなんだテーマの展示を開催する特別展示室があります。なお、令和元年度には、開館30周年を記念し、区と覚書を結んでいる陽明文庫の協力を得て、豫楽院近衛家瀬の茶杓筆筥に収められた、利休、織部、宗旦などの名品31点の特別展を開催します。

また、図書の閲覧ができる情報普及コーナー、講演会や映画会などを実施するための視聴覚室、研究のための研究図書室、資料の保管に必要な設備を備えた収蔵庫があります。

本館の付近には、付属施設として古墳時代の松ノ木古代復元住居及び竪穴式住居跡があります。

平成19年4月に開館した分館は、規模は小さいものの和風庭園のなかにある落ち着いた博物館です。1階展示室では、「区民との協働による運営を目指す」という分館の基本理念に基づき、区民有志の参加・企画による展示を行っています。

このように、郷土博物館は様々な調査・研究などを通じて、広く区民、児童・生徒の社会教育の学習の場となるよう努めています。

施設概要

区 分	郷土博物館 本館	郷土博物館 分館
開設年月日	平成元年5月2日	平成19年4月7日
所在地	杉並区大宮1-20-8	杉並区天沼3-23-1
電話・FAX	☎ 3317-0841 FAX 3317-1493	☎ 5347-9801 FAX 5347-9802
敷地面積	3,384.58㎡	5,295.66㎡
延床面積	1,495.88㎡	437.45㎡
構 造	本館：鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 地下1階、地上2階建 長屋門：木造平屋建 古民家：木造平屋建	東棟・西棟 ：鉄筋コンクリート造 地上2階建
観覧料	一般100円（中学生以下無料）、20名以上の団体は1人80円 分館は当分の間無料	
開館時間	午前9時～午後5時	
休館日	毎週月曜日・毎月第3木曜日（ただし、当該日が祝日・休日の場合は、翌日が休館日）、年末年始（12/28～1/4）	



郷土博物館入口
(旧井口家長屋門)

観覧者数（平成30年度）

区 分	郷土博物館 本館	郷土博物館 分館
開館日数	294日	294日
一 般	14,356人	9,013人
中 学 生 以 下	7,196人	4,193人
合 計	21,552人	13,206人

収蔵資料数

平成30年度末現在(点)

区 分	考古資料	歴史資料	民俗資料	文学資料	その他資料	合 計
資 料 数	108,149	21,021	10,304	1,949	2,366	143,789

郷土博物館 の 事業

郷土博物館では、特別展をはじめ企画展、収蔵資料展を年数回行っています。また、分館では、区民が中心となり調査・企画した区民参加型の展示も行っています。そのほか「子ども博物館教室」、「古文書講座」、「年中行事」などの開催や博物館資料の充実にも力を入れ、郷土文化の普及に努めています。

事業実績（本館 平成30年度）

展 示



三人をつなぐ荻外荘



愛新覚羅浩展

区 分	展 示 名	開 催 期 間	日数	観覧者数(人)
準 常 設 展	杉並文学館	(3月10日)～5月13日	36	1,300
特 別 展	杉並区有形文化財「荻外荘近衛家関係資料」指定記念企画展 三人をつなぐ「荻外荘」－入澤達吉・伊東忠太・近衛文麿－	5月26日～7月16日	44	1,896
企 画 展	昆虫展 In すぎなみ2018	7月28日～9月9日	37	5,114
準 常 設 展	杉並文学館	9月15日～10月14日	25	1,210
特 別 展	愛新覚羅浩展 ーラストエンペラーの実弟に嫁いだ日本人女性の愛と苦悩ー	10月27日～12月2日	31	6,191
収 蔵 資 料 展	家族で語ろう！昔の暮らしと今の暮らし	12月15日～2月24日	71	4,202
企 画 展	すぎなみの地域史Ⅱ 高井戸	3月9日～(5月6日)	19	824

()内は29年度・〈 〉内は元年度、日数・観覧者数は30年度内のもの、観覧者数は会期中の入館者数

講座・教室・講演会等



ヘラクレスオオカブトに触れよう！



まゆだんごを作ろう！

区 分	事 業 名	講 師 等	開 催 期 間	参加者(人)
特 別 展 関 連 行 事	荻外荘限定公開及び展示解説	職 員	6月2日	103
	講演会「伊東忠太と「荻外荘」」	倉 方 俊 輔	6月10日	89
	アトラスオオカブトの標本をつくろう！	須 田 研 司	8月17日	19
	「観察の森」で昆虫を観察しよう！	宮 内 隆 夫	8月11日・25日	249
	ヘラクレスオオカブトに触れよう！		8月3日・10日・17日・ 24日・31日、9月7日	1,024
	朗読講演 「流転の子 最後の皇女・愛新覚羅溥生 ー語り継ぐ歴史」	本 岡 典 子	11月4日	344
	映画上映会「ラストエンペラー」		11月24日	578
	特別展展示解説	職 員	11月17日、12月2日	166
	炭を使うくらしを体験しよう！	職 員	1月19日、2月17日	50
子 ども 博 物 館 教 室	勾玉を作ろう！	職 員	8月4日・5日	46
	組紐を作ろう！	職 員	8月18日・19日	30
親 子 博 物 館 教 室	七夕馬を作ろう！	本 橋 成 一	7月1日	26
	まゆだんごを作ろう！	職 員	1月13日	30
年 中 行 事 関 連	博物館でひなまつり（箏演奏・甘酒配布）	職員・玉慶会・ NPO ムーサ	3月3日	98
講 座	古文書講座	久 保 貴 子	6月、11月（計8回）	延192
講 演	平家物語の響き	古 澤 月 心	10月7日	48

年中行事



大宮前の獅子舞・大黒舞



桃の節供

事業名・内容	開催期間	観覧者数(人)
端午の節供	4月20日～5月16日	1,031
七夕	7月1日～8日	305
十五夜	9月22日～30日	273
十三夜	10月20日～24日	212
荒神様のおたち	10月20日～31日	899
荒神様のお帰り	11月23日～30日	1,523
ヨウカゾ	12月2日～8日	488
すす払い	12月13日	26
もちつき	12月23日	469
小正月	1月13日～20日	477
節分	2月3日	167
初午	2月2日～6日	465
桃の節供	2月22日～3月21日	936

観覧者数は開催期間中の入館者数

伝統芸能

事業名・内容	開催期間	観覧者数(人)
大宮前の獅子舞・大黒舞	1月6日	77

観覧者数は開催日の入館者数

事業実績（分館 平成30年度）

展 示



杉並銭湯いまむかし



ムシムシ探検隊

区 分	展 示 名	開 催 期 間	日数	観覧者数(人)
企 画 展	杉並銭湯いまむかし～つながる人、まち～	7月28日～9月30日	54	2,110
	石山太柏 武蔵野の風景画人と杉並	10月27日～1月20日	64	3,148
準 常 設 展	荻窪の古老が描いた記憶画からみた杉並	6月30日～8月26日	48	1,492
区 民 参 加 型 展 示	江戸狹嶺資料展【1924旅】	(2月17日)～5月6日	30	1,663
	荻窪の記憶 大田黒公園周辺100年の歴史	(3月17日)～6月17日	65	3,062
	荻窪の記憶Ⅱ 天沼100年の歴史	1月12日～3月10日	48	2,665
	杉六小の“博物館”～学校と地域のたからもの～	3月23日～(6月30日)	8	319

()内は29年度・〈 〉内は元年度、日数・観覧者数は30年度内のもの、観覧者数は会期中の入館者数

講座・講演会等

区 分	事 業 名	講 師 等	開 催 期 間	参加者(人)
企 画 展 示 関 連 行 事	トークイベント 「銭湯×暗渠～その魅力を探る～」	塩谷歩波、吉村生、 高山英男	9月9日	60
	石山太柏 展示解説	職 員	11月3日、12月16日、 1月12日	30
区 民 参 加 型 展 示 関 連 行 事	江戸狹嶺資料展 展示解説	展 示 参 加 区 民	(3月24日)、4月14日	32
	現代に伝えたい狹嶺の魅力 ～その時代と人物像～	岩 崎 正 弥	4月7日	36
	荻窪の記憶 展示ガイド	展 示 参 加 区 民	(3月25日)、4月28日、 5月26日、6月9日	35
	荻窪の記憶Ⅱ 展示ガイド	展 示 参 加 区 民	1月26日、2月23日	42
資 料 体 験	足踏みミシンを使ってみよう！	職 員	6月17日、8月25日、 2月24日	56
観 察 体 験	ムシムシ探検隊	小 林 弘 一	4月22日、7月8日、 9月16日	138

()内は29年度

郷土資料 展示室

西田小学校郷土資料展示室

西田小学校内の郷土資料展示室は、昭和20年代から30年代にかけてのまちの暮らしがテーマになっています。当時の子どもの一日を「まなび」「あそび」「くらし」といった形で表しました。展示室では、昭和30年代の家の中を再現した展示をご覧いただけるほか、漫画やおもちゃを実際に手にとって読んだり、遊んだりすることができます。

所在地	杉並区荻窪1-38-15（西田小学校内、西田小生涯学習振興室と併設）
電話	問合せは郷土博物館へ
観覧料	無料
開室日	土曜日・日曜日・祝日（学校行事による開校日は除く）及び西田小学校の春・夏・冬休み期間中（第2・第4月曜日、12/31～1/3は除く）
開室時間	午前9時～午後5時

4. 図書館

図書館の概要

区立図書館は、生涯学習に必要な図書資料や情報を提供し、区民の学習や文化活動を支援する社会教育機関です。

また、レファレンス（調査・相談）による区民の課題解決に応えるサービスや、講演会などの事業を通じて、利用者の活動意欲を高める役割を担っています。

施設概要

図書館名	開設年月日	所在地	電話番号	敷地面積	延床面積	構造等
中央図書館	昭和57年 10月5日	荻窪 3-40-23	3391-5754	5,097.84㎡	4,397.14㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階建 別棟1階建
永福図書館	昭和40年 8月1日	永福 4-25-7	3322-7141	1,692.55㎡	1,190.85㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階建
柿木図書館	昭和40年 8月1日	上井草 1-6-13	3394-3801	1,658.62㎡	1,162.61㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階建
高円寺図書館	昭和42年 11月1日	高円寺南 2-36-25	3316-2421	1,295.00㎡	1,895.28㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階建
宮前図書館	昭和47年 11月1日	宮前 5-5-27	3333-5166	1,690.00㎡ (他施設と共用)	1,974.02㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階建
成田図書館	昭和60年 9月3日	成田東 3-28-5	3317-0341	974.09㎡	851.38㎡	鉄筋コンクリート造 2階建
西荻図書館	平成2年 5月5日	西荻北 2-33-9	3301-1670	1,237.68㎡	1,195.38㎡	鉄筋コンクリート造 2階建
阿佐谷図書館	平成5年 2月11日	阿佐谷北 3-36-14	5373-1811	1,138.95㎡	1,086.67㎡	鉄筋コンクリート造 2階建
南荻窪図書館	平成5年 11月23日	南荻窪 1-10-2	3335-7377	1,008.93㎡	1,061.24㎡	鉄筋コンクリート造 2階建
下井草図書館	平成9年 5月1日	下井草 3-26-5	3396-7999	1,193.36㎡	1,104.30㎡	鉄筋コンクリート造 2階建
高井戸図書館	平成10年 5月1日	高井戸東 1-28-1	3290-3456	1,096.38㎡	1,622.89㎡	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階建
方南図書館	平成17年 11月3日	方南 1-51-2	5355-7100	1,877.71㎡ (他施設と共用)	815.16㎡	鉄筋コンクリート造 2階建のうち1階
今川図書館	平成19年 12月16日	今川 4-12-10	3394-0431	1,680.66㎡ (他施設と共用)	1,083.32㎡	鉄筋コンクリート造 2階建



中央図書館



展示コーナー

※中央図書館は大規模改修工事に伴い、平成31年4月から令和2年8月末（予定）まで休館。堀ノ内2-5-26（済美教育センター内）仮設事務所（6304-9010）に移転。

※荻窪臨時窓口（天沼3-23-1 郷土博物館分館東棟1階）（3398-2021）開設。

開館時間：平日・・・午前9時～午後8時（今川図書館は、午後9時まで）
日曜日・祝日、12月29・30日・・・午前9時～午後5時
休館日：中央・永福・宮前・成田・西荻・下井草図書館は、毎月第1・3木曜日
柿木・高円寺・阿佐谷・南荻窪・高井戸・方南・今川図書館は、毎月第1月曜日、第3木曜日
※祝日と重なったときは、土曜・日曜・祝日以降の直近の平日が休館日
年末年始（12月31日～1月4日）及び特別整理期間（不定期）

蔵書

区立図書館の総蔵書数は約216万冊です。中央図書館では新刊図書、参考図書、学術図書、外国語図書など合わせて約1万5千冊を毎年購入し、調査・研究機能を高めるように努めています。また、各地域図書館は、毎年約7千冊の新刊図書を購入し、蔵書内容の充実に努めています。

蔵書冊数の推移

各年度3月末現在

図書館名	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	一般	児童	合計	一般	児童	合計	一般	児童	合計
中央図書館	556,713	105,455	662,168	540,020	104,733	644,753	528,404	103,721	632,125
団体貸出	13,412	70,148	83,560	12,138	68,204	80,342	21,333	51,902	73,235
馬橋ふれあい	1,519	3,094	4,613	1,539	3,053	4,592	1,587	3,059	4,646
永福図書館	90,578	31,970	122,548	86,389	32,142	118,531	77,640	31,660	109,300
柿木図書館	85,718	28,509	114,227	84,832	28,340	113,172	83,081	28,576	111,657
高円寺図書館	101,451	40,733	142,184	88,516	40,115	128,631	79,840	40,956	120,796
宮前図書館	105,400	31,615	137,015	100,178	29,624	129,802	96,711	29,772	126,483
成田図書館	69,145	32,017	101,162	67,003	31,531	98,534	67,266	31,393	98,659
西荻図書館	104,473	41,920	146,393	97,752	41,187	138,939	95,099	40,599	135,698
阿佐谷図書館	103,701	42,219	145,920	99,274	41,774	141,048	88,194	39,835	128,029
南荻窪図書館	105,929	41,494	147,423	103,569	39,512	143,081	100,258	39,932	140,190
下井草図書館	100,590	38,724	139,314	92,599	36,575	129,174	86,076	35,064	121,140
高井戸図書館	101,470	33,594	135,064	96,417	33,013	129,430	93,037	33,376	126,413
方南図書館	67,255	55,924	123,179	64,615	51,806	116,421	61,268	49,822	111,090
今川図書館	87,839	41,905	129,744	86,741	40,612	127,353	83,850	41,569	125,419
合計	1,695,193	639,321	2,334,514	1,621,582	622,221	2,243,803	1,563,644	601,236	2,164,880

貸出



書架

平成30年度中の区立図書館の個人貸出者数（延べ人員）は約138万人、貸出総冊数（延べ貸出冊数）は約471万冊（平成31年3月末現在）となっています。

貸出状況及びリクエスト件数の推移

区 分	平成28年度			平成29年度			平成30年度			
	一 般	児 童	合 計	一 般	児 童	合 計	一 般	児 童	合 計	
個人貸出	貸出登録者数	165,062 人	20,663 人	185,725 人	169,627 人	22,826 人	192,453 人	169,883 人	28,590 人	198,473 人
	貸出者数	1,214,545	174,421	1,388,966	1,172,819	176,844	1,349,663	1,193,584	183,074	1,376,658
	貸出冊数	3,833,919	882,816	4,716,735	3,723,219	905,203	4,628,422	3,778,678	935,831	4,714,509
団体貸出	登録団体数	1,076 団体			1,150 団体			1,120 団体		
	貸出回数	4,889 回			5,033 回			5,062 回		
	貸出冊数	220,316 冊			222,945 冊			226,104 冊		
リクエスト件数 （区内処理）	1,525,194 件			1,392,658 件			1,514,233 件			

各館別貸出状況（平成30年度）

図書館名	個人貸出						団体貸出	
	貸出者数			貸出冊数			貸出回数	貸出冊数
	一 般	児 童	合 計	一 般	児 童	合 計		
中 央	155,840 人	18,604 人	174,444 人	519,793 冊	101,091 冊	620,884 冊	230 回	2,742 冊
団体貸出	-	-	-	-	-	-	1,063	73,925
馬橋ふれあい	155	71	226	599	635	1,234	-	-
永 福	72,581	12,894	85,475	237,502	70,114	307,616	455	12,236
柿 木	62,466	10,962	73,428	198,735	56,670	255,405	192	14,479
高 円 寺	63,373	8,908	72,281	201,227	50,008	251,235	414	18,834
宮 前	91,567	18,632	110,199	304,634	94,040	398,674	543	16,157
成 田	79,993	11,926	91,919	253,718	61,646	315,364	351	13,890
西 荻	84,285	10,801	95,086	257,588	54,908	312,496	201	9,872
阿 佐 谷	88,196	11,559	99,755	265,580	58,189	323,769	147	6,072
南 荻 窪	68,834	11,709	80,543	224,816	58,641	283,457	147	8,003
下 井 草	81,538	15,122	96,660	271,123	73,417	344,540	301	10,421
高 井 戸	91,986	15,521	107,507	295,132	78,120	373,252	474	17,857
方 南	58,248	10,477	68,725	200,243	57,252	257,495	304	14,363
今 川	76,096	16,669	92,765	246,197	81,651	327,848	240	7,253
和田図書 サービスコーナー	9,699	989	10,688	24,520	3,859	28,379	-	-
高円寺駅前図書 サービスコーナー	46,293	1,344	47,637	107,992	4,718	112,710	-	-
桜上水北図書 サービスコーナー	15,072	627	15,699	34,487	2,255	36,742	-	-
高井戸地域 区民センター図書室	47,362	6,259	53,621	134,792	28,617	163,409	-	-
合 計	1,193,584	183,074	1,376,658	3,778,678	935,831	4,714,509	5,062	226,104

予約貸出冊数（平成30年度）

自区内処理	都立図書館等の協力	合 計
1,514,233冊	6,075冊	1,520,308冊

図書館 の 整備

区では、区全域を7つに分け、公共施設の整備に取り組んできました。図書館については、7地域に2か所の図書館を建設する14館構想に基づき図書館の整備計画を進め、現在13館が運営されています。また、3か所の図書サービスコーナーと1か所のふれあい図書室を設置し、図書の利用機会を提供し、利便性の向上に努めています。

こうした中、老朽化した図書館について、令和元年度は計画された工期に沿って中央図書館の設備等の更新や、図書館機能・サービスの充実を図る全面改修、また永福図書館の移転改築について工事等を行っていきます。

図書館 の 情報化推進

図書館ではホームページを開設し、蔵書検索サービス、リクエストサービス、貸出照会サービス、予約サービス及びメールによる予約確保のお知らせ、レファレンスの回答等を行っています。

平成29年度には、図書館システムの更新を行い、図書館からのお知らせや本の紹介等ホームページのサービスの充実を図りました。

また、図書館資料以外の情報が閲覧できるように、図書館内に利用者用のパソコンを設置するとともに、無線LANの利用ができるようにしています。

さらに、「図書館の電子情報サービスへの対応方針」に基づき、行政資料等のデジタルアーカイブ化や有料データベース・DAISY資料の充実を図っています。

図書館 の サービス機能

図書館が実施しているサービスには、図書館資料を提供するサービス、レファレンスや利用者自身が求める情報を検索できるようにデータベースを提供する情報サービスがあります。

また、ホームページによる情報提供や講座・講演・展示などの文化活動も行っています。利用者別の図書館サービスとして、児童・青少年サービス、障害者サービスなどがあります。

図書館では、これらのサービス機能を中央図書館と地域図書館（12館）との間で連携し、サービスの充実に努めています。

一般向け
サービス

レファレンス（調査・相談）サービス

図書館では、利用者の方の質問や相談を受け、図書館資料や関連する情報を提供する、レファレンスサービスを行っています。

各図書館の職員が、カウンターやフロアーなどで、いつでもどこでも受け付けています。また、電話、文書や図書館のホームページでも受け付けています。

レファレンスサービス受付件数（平成30年度）

中央図書館

調査内容別	件数	受付方法別	件数
所蔵調査	5,183	窓口	5,593
簡易な事実調査	122	電話	1,734
資料紹介	1,992	ホームページ	121
その他	151	合計	7,448
合計	7,448		

地域図書館

図書館名	件数
永福	1,127
柿木	940
高円寺	2,055
宮前	2,566
成田	1,015
西荻	1,615
阿佐谷	1,021
南荻窪	2,455
下井草	2,389
高井戸	2,488
方南	2,153
今川	2,946
合計	22,770

図書サービスコーナー及びふれあい図書室

図書館の補完機能として「図書サービスコーナー」と「ふれあい図書室」を運営し、図書の貸出や返却の取次ぎなどを行っています。

○和田図書サービスコーナー

開室日及び時間：月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時

休室日：毎月第1・3月曜日・第3木曜日、12月28日～1月4日

○高円寺駅前図書サービスコーナー

開室日及び時間：月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜日・祝日、12月29、30日 午前9時～午後5時

休室日：毎月第1・3木曜日、12月31日～1月4日

○桜上水北図書サービスコーナー

開室日及び時間：月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜日・祝日、12月29、30日 午前9時～午後5時

休室日：毎月第1・3木曜日、12月31日～1月4日

○馬橋ふれあい図書室（馬橋児童館2階）

開室日及び時間：毎週日曜日 午前10時～午後4時

区内大学図書館等との連携

区立図書館は、区内にある5つの大学・短期大学と協力協定を結び、各図書館を相互に開放しています。杉並区民は、各大学図書館で、図書資料の閲覧や貸出サービス、簡単な相談が受けられます。

また、高井戸地域区民センターで運営されている地域区民センター図書室との相互貸出など、他の施設との連携を推進しています。

図書館の行事活動

より多くの方々に図書館を利用していただくために、人形劇、お話し会、展示会などの行事を実施しています。

平成30年度

・お話し会	13館	1,233回
・映画会（対象：一般）	9館	49回
（対象：児童）	8館	28回
・人形劇、子ども会	13館	76回
・展示会	13館	869回
・講座、講演	13館	129回
・ブックトーク（館外行事）	9館	87回
・図書館見学	12館	43回



人形劇

視聴覚サービス

個人の利用者を対象としたサービスとしては、コンパクトディスク、カセットテープ、レコードの貸出を行っています。

団体を対象としたサービスでは、16ミリフィルム、映写機などの貸出を行っています。

視聴覚資料・機材の保有数及び貸出件数（平成30年度）

個人貸出

区	分	保有数	貸出件数
中 央	コンパクトディスク	10,768点	92,029 件
	カセットテープ	461	
	レコード	1,245	
西 荻		5,355	
阿 佐 谷		3,476	
南 荻 窪	コンパクトディスク	4,118	
下 井 草		2,543	
高 井 戸		2,264	
合 計		30,230	92,029

団体貸出

区	分	保有数	貸出件数	貸出点数
中 央	16ミリ映写機	4点	10件	10件
	16ミリフィルム	1,592	14	59
	スクリーン	13	10	10
合 計		1,609	34	79

※保有数は平成31年3月末現在

障害者向けサービス

障害者サービス

障害者サービスとして、①視覚に障害がある方への対面朗読の提供、②録音図書、録音雑誌の貸出、③点字図書、拡大写本の貸出を行っています。

なお、図書館への来館が困難な方に対して、図書等の郵送による貸出も行っています。

障害者サービスの実施状況（平成30年度）

登録者数

合計	障害別		年齢別		
	視覚障害	肢体不自由その他	大正生	昭和元年～	昭和41年生
			以前	昭和40年生	以降
162人	122人	40人	14人	121人	27人

※平成30年度末現在

対面朗読・録音の利用状況

図書館名	対面朗読			録音	
	利用者数	朗読者数	利用時間	利用件数	利用時間
中央	27	27	54	10	40
永福	0	0	0	0	0
高円寺	1	1	2	0	0
宮前	148	148	296	0	0
成田	0	0	0	0	0
西荻	28	28	56	3	10
阿佐谷	43	43	86	0	0
南荻窪	0	0	0	1	6
下井草	0	0	0	0	0
高井戸	34	34	68	2	6
方南	0	0	0	0	0
今川	10	10	20	0	0
合計	291	291	582	16	62

※平成30年度末現在

資料数・貸出数

区分	資料数		貸出数	
	タイトル数	冊(巻)数	タイトル数	冊(巻)数
点字図書	1,404冊	4,421冊	35冊	35冊
録音図書	2,889	9,528	1,477	1,999
拡大図書	—	1,175	—	—
一般図書	—	—	20	20
合計	4,293	15,124	1,532	2,054

※平成30年度末現在

国会図書館データ送信サービス（平成30年7月から参加）

区分	資料数	ダウンロード数
録音図書（音声 DAISY）	114	2,172

※平成30年度末現在

児童向けサービス

地域・家庭文庫の育成

地域の児童を対象として、自宅等で文庫活動をしている地域・家庭文庫に図書の貸与を行っています。

地域・家庭文庫一覧

地域・家庭文庫名	所在地	代表者
シルベルト文庫	高井戸西3丁目	柴田 由紀子
ちいさいおうち文庫	今川3丁目	坪内 美津子
のびのび文庫	下井草2丁目	休室 中
パンピぶんこ	高井戸東4丁目	澁川 慧子
ポケット文庫	天沼1丁目	湯沢 朱実
ポブラ文庫	井草1丁目	中島 眞理
このあの文庫	本天沼1丁目	小宮 由
すみれ文庫	浜田山4丁目	井口 眞理子
子どもの本の家ちゅうりっぷ	下井草2丁目	神保 和子

ブックスター

ブックスターは、赤ちゃんと保護者の方に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡しする子育て支援事業です。絵本を通してふれあい、温かいひとときを持つきっかけを届けたいと、区内5か所の保健センターで行われる4か月児健診会場で、ブックスターパックをボランティアと協働で手渡しています。

平成30年度実績 配布数 4,529 パック

子ども読書活動推進計画

杉並区子ども読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき平成15年度に策定しました。直近では平成30年3月に改定しており、改定後の計画は、未読者の割合を3割減らすことを目標に掲げ、子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書環境の充実に向けて、施策の方向性や取組を示しています。

具体的な取組としては、調べ学習資料の貸出や学校司書との連絡会を通し、学校との連携を強化するほか、保護者向けの「調べ方講座」を開催し「図書館を使った調べ方」についての案内を行います。また、若者の読書に対する興味・関心を高める企画を、中・高校生との協働により進めたり、YAコーナーの充実を図ります。図書館におけるあかちゃんタイムや保護者向けの講座等により、乳幼児期の読書活動も支援しています。

- *1 YAコーナー・・・YA（ヤングアダルト）世代向けの本を集めた棚があり、学習や読書のための居場所として自由に過ごすことができるスペース。
- *2 あかちゃんタイム・・・保護者が乳幼児と一緒に気兼ねなく図書館を利用できるよう、他の利用者の理解を求め利用しやすい環境づくりを進める時間帯

貴重な紙資源の保護と本に刻まれた文化を有効に活用したいという考えから、不要になった本を小・中学校や児童館などの区立施設に譲与したのが始まりで、現在は、区民や図書館利用者への本のリサイクルを全館で実施しています。

図書館のリサイクル

リサイクル図書冊数の推移

対象	平成28年度	平成29年度	平成30年度
図書館利用者等	84,228冊	92,940冊	106,942冊
区立施設等	1,435冊	2,604冊	1,804冊
合計	85,663冊	95,544冊	108,746冊

IV 教育委員会 の附属機関



1. 杉並区いじめ問題対策委員会

杉並区いじめ問題対策委員会は、いじめ防止対策推進法に基づき、教育委員会の附属機関として、平成29年8月に設置されました。

その役割は、いじめの防止、早期発見、いじめへの対処のための対策、区立学校において発生した重大事態に係る調査、当該重大事態への対処等に関して、調査・審議を行い教育委員会に意見を述べます。

委員は、学識経験者、弁護士、医師、公認心理師、社会福祉士5名で構成され、任期は2年です。

委 員 名 簿

○会長

氏 名	分 野	所 属 等
○大 竹 智	福祉	立正大学社会福祉学部教授
吉 岡 睦 子	法律	弁護士
東 出 香	医療	医師 東京都立中部総合精神保健福祉センター地域支援科医長
石 川 悦 子	心理	一般社団法人東京公認心理師協会副会長 こども教育宝仙大学こども教育学部教授
牧 野 晶 哲	福祉	社会福祉士 白梅学園大学子ども学部准教授

(令和元年7月現在)

2. 社会教育委員

社会教育委員は、社会教育法に基づき、社会教育行政に関する附属機関として、平成元年4月に設置されました。

その役割は、教育委員会の諮問に応じて、社会教育に関する事項について調査・審議して答申するとともに、自主的研究を重ね、教育委員会に意見を述べます。

委員は、学校教育及び社会教育の関係者5名、家庭教育の向上に資する活動を行う者1名、学識経験者3名の計9名で構成され、任期は2年です。

委員名簿

◎議長 ○副議長

氏名	所属等
赤池紀子	子育て団体「CREO(くれお)」代表(公募区民)
朝枝晴美	すぎなみ大人塾連会長(公募区民)
天野ひかり	特定非営利活動法人 親子コミュニケーションラボ代表理事 杉並区立郷土博物館運営協議会委員
石田光男	杉並区立高南中学校校長
○内山博子	女子美術大学教授
◎笹井宏益	玉川大学学術研究センター教授 国立教育政策研究所客員研究員
檜枝光太郎	荻窪地域区民センター協議会会長(公募区民)
南裕子	東京工業大学特任専門員(公募区民)
山口京子	杉並区立杉並第十小学校校長

(令和元年7月現在)

3. 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査・審議し、これらの事項について教育委員会に建議するため、昭和57年5月に設置されました。

委員は、文化財に関し広くかつ高い識見を有する学識経験者で構成され、任期は2年です。

委員名簿

◎会長 ○副会長

氏名	専門分野	所属等
稲木 吉一	美術史 彫刻	女子美術大学教授
○稲葉 和也	建築史	元東海大学助教授
内川 隆志	考古学・ 博物館学	國學院大學教授
大石 学	近世史	日本芸術文化振興会監事
黒沢 文貴	近代史	東京女子大学教授
後藤 治	建築史	工学院大学教授
佐野 賢治	民俗学	神奈川大学教授
◎関口 正之	美術史	元東京国立博物館次長
中込 睦子	民俗学・ 文化人類学	元筑波大学准教授

(令和元年7月現在)

4. 郷土博物館運営協議会

郷土博物館運営協議会は、博物館法及び郷土博物館条例に基づき、郷土博物館長の諮問に応じ、郷土博物館の基本的な運営に関して必要な事項を審議し、答申するとともに、郷土博物館長に対して意見を述べるため、平成元年4月に設置されました。

委員は、学校教育・社会教育の関係者4名以内、家庭教育の向上に資する活動を行う者1名、学識経験者7名以内の計12名以内で構成され、任期は2年です。

委 員 名 簿

◎会長 ○副会長

氏 名	所 属 等
天 野 ひかり	特定非営利活動法人 親子コミュニケーションラボ代表理事
◎稲 葉 和 也	元東海大学助教授
大 石 学	日本芸術文化振興会監事
久 保 貴 子	早稲田大学・昭和女子大学非常勤講師
鈴 木 祐 一	杉並区立沓掛小学校校長
高 橋 修	東京女子大学准教授
手 塚 佳代子	特定非営利活動法人 チューニング・フォー・ザ・フューチャー代表
○新 村 康 敏	杉並郷土史会会長
藤 井 和 重	杉並区立泉南中学校校長
古 屋 進	大宮二丁目自治会長
吉 田 優	元明治大学教授

(令和元年7月現在)

5. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館法及び杉並区立図書館条例に基づき、図書館の運営に関して中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて中央図書館長に対して意見を述べる機関として、昭和57年10月に設置されました。

平成19年度に公募枠を設けるなどの改正を行い、その後の条例、規則改正により、委員は、区内小・中学校の代表者2名、社会教育関係団体の代表者1名、社会教育委員1名、区内大学図書館連携代表者1名、家庭教育の向上に資する活動を行う者1名、利用者団体1名、公募区民3名、学識経験者3名の計13名で構成され、任期は2年です。

委員名簿

◎会長 ○副会長

氏名	所属等
赤池紀子	杉並区社会教育委員
有永初美	図書館サービスフロンティア会員
太田亮吾	公募区民
◎大谷康晴	日本女子大学准教授
○大場博幸	日本大学准教授
加藤理彩	公募区民
新井健之	高千穂大学図書館長
坂本智子	杉並区立高井戸東小学校校長
渋谷正宏	杉並区立富士見丘中学校校長
芹生英美	公募区民
竹田裕子	科学読物研究会運営委員
坪内美津子	杉並文庫・サークル連絡会会員
中島玲子	慶應義塾大学非常勤講師

(令和元年7月現在)

教育施設の一覧

令和元年
6月1日現在

小学校（41所）

杉並第一	阿佐谷北1-5-27	3338-8367
杉並第二	成田西3-4-1	3313-0564
杉並第三	高円寺南1-15-13	3314-1564
杉並第四	高円寺北2-14-13	3339-5241
杉並第六	阿佐谷南1-24-21	3314-2164
杉並第七	阿佐谷南3-19-2	3392-6328
杉並第八	高円寺南2-40-24	3314-2264
杉並第九	本天沼1-2-19	3390-0167
杉並第十	和田3-55-49	3313-1364
西田	荻窪1-38-15	3392-6828
東田	成田東1-21-1	3313-1464
馬橋	高円寺北4-28-5	3330-3411
桃井第一	桃井2-6-1	3390-3178
桃井第二	荻窪5-10-25	3392-6728
桃井第三	西荻北2-10-7	3399-3135
桃井第四	善福寺3-3-5	3390-3185
桃井第五	下井草4-22-4	3390-3188
四宮	上井草2-12-26	3390-3147
荻窪	宮前2-13-18	3333-6628
井荻	善福寺1-10-19	3390-3141
杳掛	清水3-1-9	3390-4158
高井戸	高井戸西2-2-1	3333-7628
高井戸第二	久我山4-49-1	3333-7728
高井戸第三	下高井戸4-16-24	3302-0181
高井戸第四	西荻南1-8-16	3333-7828
松庵	松庵2-23-24	3333-7928
浜田山	浜田山4-23-1	3313-1564
富士見丘	上高井戸2-16-13	3333-7028
大宮	堀ノ内1-12-16	3313-2164
堀之内	堀ノ内3-24-11	3313-2264
和田	和田2-30-21	3383-2425
方南	方南1-52-14	3322-7661
済美	堀ノ内1-17-24	3313-2364
八成	井草2-25-4	3399-3138
三谷	上井草3-14-12	3390-0164
松ノ木	松ノ木1-2-26	3313-2464
高井戸東	高井戸東1-12-1	3304-5711
久我山	久我山5-18-7	3331-3631
天沼	天沼2-46-3	3392-6428
永福	永福2-16-33	3322-7391
新泉和泉 (杉並和泉学園)	和泉2-17-14	3322-4254

中学校（23所）

高円寺	高円寺北1-4-11	3389-1581
高南和	和田3-40-10	3313-1361
杉森	阿佐谷北5-45-24	3330-3431
阿佐ヶ谷	阿佐谷南1-17-3	3314-2261
東田	成田東3-19-17	3313-1461
松溪	荻窪2-3-1	3392-7328
天沼	本天沼3-10-20	3390-0161
東原	下井草1-28-5	3390-0148
中瀬	下井草4-3-29	3399-2196
井荻	今川2-13-24	3399-0148
井草	上井草3-20-11	3390-3144
荻窪	善福寺1-8-3	3399-0196
神明	南荻窪2-37-28	3333-7428
宮前	宮前2-12-1	3333-8728
富士見丘	久我山2-20-1	3333-8928
高井戸	高井戸東1-28-1	3302-1762
向陽	下高井戸3-24-1	3302-2989
松ノ木	松ノ木1-4-1	3313-1561
大宮	堀ノ内1-16-38	3313-2161
泉南	堀ノ内1-3-1	3313-2361
和田	和田2-21-8	3383-2428
西宮	宮前5-1-25	3333-8828
和泉 (杉並和泉学園)	和泉2-17-14	3322-7671

特別支援学校（1所）

済美養護学校	堀ノ内1-19-25	3313-0561
--------	------------	-----------

子供園（6所）

下高井戸	下高井戸4-38-15	3303-9485
堀ノ内	堀ノ内1-9-26	3313-3437
高円寺北	高円寺北2-14-13	3330-0340
成田西	成田西1-28-6	3311-3876
高井戸西	高井戸西3-15-4	3332-9020
西荻北	西荻北1-19-22	3399-0848

社会教育センター（1所）

社会教育センター	梅里1-22-32	3317-6621
----------	-----------	-----------

博物館（2所）・郷土資料展示室（1所）

郷土博物館	大宮	1-20-8	3317-0841
郷土博物館分館	天沼	3-23-1	5347-9801
西田小学校郷土資料展示室	荻窪	1-38-15	問合せは郷土博物館へ

教育センター（2所）

済美教育センター	堀ノ内	2-5-26	3311-0021
就学前教育支援センター	成田西	2-24-21	未定 ※令和元年9月開設予定

適応指導教室（4所）

さざんかステップアップ教室	天沼教室	本天沼	3-10-20	3390-7440	(天沼中学校内)
さざんかステップアップ教室	和田教室	和田	1-41-10	3382-8251	
さざんかステップアップ教室	荻窪教室	天沼	3-15-20	5397-5211	
さざんかステップアップ教室	宮前教室	宮前	5-5-27	5941-3545	

生涯学習振興室（2所）

西田ゆうゆうハウス	荻窪	1-38-15	3220-9951
杉九ゆうゆうハウス	本天沼	1-2-19	3399-6521

※令和元年8月から阿佐谷南3-2-19（産業商工会館内）に移転します

図書館（13所）・ふれあい図書室等（4所）

中央図書館	荻窪	3-40-23	3391-5754	※大規模改修工事に伴い、平成31年4月から令和2年8月末（予定）まで休館。堀ノ内2-5-26（済美教育センター内）仮設事務所（6304-9010）に移転。
永福図書館	永福	4-25-7	3322-7141	
柿木図書館	上井草	1-6-13	3394-3801	
高円寺図書館	高円寺南	2-36-25	3316-2421	
宮前図書館	宮前	5-5-27	3333-5166	
成田図書館	成田東	3-28-5	3317-0341	
西荻図書館	西荻北	2-33-9	3301-1670	
阿佐谷図書館	阿佐谷北	3-36-14	5373-1811	
南荻窪図書館	南荻窪	1-10-2	3335-7377	
下井草図書館	下井草	3-26-5	3396-7999	
高井戸図書館	高井戸東	1-28-1	3290-3456	
方南図書館	方南	1-51-2	5355-7100	
今川図書館	今川	4-12-10	3394-0431	
馬橋ふれあい図書室	高円寺北	4-2-17	問合せは中央図書館仮設事務所へ	(馬橋児童館内)
和田図書サービスコーナー	和田	2-31-21	5340-6272	
高円寺駅前図書サービスコーナー	高円寺北	2-5-1	3223-8473	ホテルメッツ高円寺3階
桜上水北図書サービスコーナー	下高井戸	1-24-15	3306-7210	
荻窪臨時図書窓口	天沼	3-23-1	3398-2021	郷土博物館分館東棟1階



さくいん

あ

遊びと憩いの場の開放	81
新しい学校づくり	63
アレルギー対策の推進	61
いじめ対策	59
移動教室	47
移動式天文台車「ポラリス2号」による観望会	93
移動式プラネタリウム上映会	93
一般向けサービス	103
エコスクールの推進	71
主な事業とその内容	24
オリンピック・パラリンピック教育の推進	50

か

科学巡回展示	93
学習支援教員の配置	56
学力向上の支援	49
貸出	101
学級・講座・講演会等	87
学校ICTの推進	71
学校活動の支援	67
学校給食	46
学校給食の推進	46
学校教育環境の整備	70
学校教育諸施設の整備充実	70
学校教育の充実	48
学校支援本部	66
学校司書の配置	53
学校施設の開放	81
学校生活	38
学校の経営力・教育力	53
学校評価	54
学校評議員	65
学校法律相談の実施	53
学校保健	43
家庭教育の支援	68
家庭・地域・学校の協働	62
環境衛生	43
危機管理体制の強化	52
帰国児童生徒等への訪問指導・補充指導	62
教育委員会	10
教育委員会の活動	11
教育委員会の刊行物	30
教育委員会の制度と仕組み	10
教育委員会の組織	12
教育課題研究指定校・園の指定、自主研究の奨励	73
教育機関環境方針	29
教育SAT	56
教育施設の一覧	113
教育相談	56
教育・保育活動の支援	72
教育図書館	78
教育予算	22
教員研修の活性化と授業力向上塾の運用	53
教員の働き方改革の推進	54

教科書センター	78
郷土資料展示室	98
郷土博物館	95
郷土博物館運営協議会	111
郷土博物館の概要	95
郷土博物館の事業	96
切れ目のない教育	48
空調設備整備	71
区費教員の効果的な活用	53
区内大学等との連携協働事業	80
区内大学図書館等との連携	104
区内都立学校との連携協働	54
区民企画講座	89
区立学校等の施設規模	34
区立学校の概要	32
区立子供園の保育料の減免	42
区立子供園への入園	39
区立小・中学校における外国人就学数 及び帰国児童・生徒数	40
区立小・中学校の改築	70
区立小・中学校への入学	38
芸術・文化活動	90
研究・研修の充実	73
健康教育・健康相談	61
健康診断	43
広報すぎなみ～なかま集まれコーナー	90
子どもの居場所づくり	69
子ども読書活動推進計画	106
個に応じた学び・成長	55

さ

サイエンスワークショップ・科学講演会	94
30人程度学級	61
次世代育成基金を活用した体験交流事業	62
次世代型科学教育の推進	93
視聴覚サービス	104
児童・生徒・園児数、学級数	32
児童向けサービス	105
指導教授・教育指導教員の配置	53
社会教育委員	109
社会教育活性化支援プログラム	92
社会教育事業への支援	80
社会教育センター	86
社会教育センターの概要	86
社会教育団体の支援	92
社会教育の推進	80
社会参加支援	90
社会とかかわる力を育む教育の推進	51
就学援助費の支給	40
就学奨励	40
就学事務	38
就学前教育	48
就学前教育支援センターの開設準備	49
生涯学習活動の指導者傷害保険	80
生涯学習振興室	80

生涯学習の支援	80
障害者向けサービス	105
障害者サービス	105
奨学金の貸付	42
小学生名寄自然体験交流	81
小中一貫教育	48
情報資料コーナー	86
食育の推進	61
職員現員数	13
私立幼稚園等への助成	41
新就学児童の発達障害支援	61
すぎなみ大人塾	88
すぎなみサイエンスフェスタ	94
すぎなみ社会教育セミナー	89
杉並区いじめ問題対策委員会	108
杉並区教育委員会が主催する研修一覧	76
杉並区教育ビジョン2012	2
杉並区教育ビジョン2012推進計画	4
杉並区総合文化祭	90
杉並第一小学校校長寿命化対策	71
スクールカウンセラーの配置	58
スクールソーシャルワーカー (SSW) の配置	60
青少年委員	69
成人学習支援	87
済美教育センター	72
済美教育センターの主な事業	72
済美教育センターの概要	72
済美日曜教室	90
蔵書	100
組織機構図	12

た

体力向上の支援	50
団体育成等	92
団体交流室	86
地域運営学校 (コミュニティ・スクール)	64
地域・家庭文庫の育成	105
地域教育推進協議会	69
地域教育連絡協議会	69
中学生レスキュー隊	51
通学路の設定等	40
展示「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」	93
登録団体への開放	81
特色ある学校づくりの充実	52
特別支援学級	36
特別支援学級 (知的障害) の整備	56
特別支援学級・特別支援学校への入学	39
特別支援学級等就学奨励費の支給	41
特別支援学校	37
特別支援教育	55
独立行政法人日本スポーツ振興センター	
災害共済給付事業	45
図書館	99
図書館協議会	112
図書館の概要	99

図書館の行事活動	104
図書館のサービス機能	102
図書サービスコーナー及びふれあい図書室	103
図書館の情報化推進	102
図書館の整備	102
図書のリサイクル	106

な

西田小学校郷土資料展示室	98
にほんご教室	90

は

パワーアップ教室	50
P T A活動の支援	67
プール開放	81
部活動の支援	54
副校長校務支援員の配置	56
ブックスタート	106
不登校対策	60
フューチャーサイエンスクラブ (FSC)	94
フレンドシップスクール	52
文化財案内標示板等の設置	85
文化財の指定・登録	84
文化財の調査	85
文化財の保護	84
文化財の保護・奨励	84
文化財保護審議会	110
文化財保護ボランティア	85
文化団体等の助成	92
分掌事務	16
補助教員の活用	53
防災教育	51

ま

埋蔵文化財の調査	85
----------	----

や

ユネスコ活動	91
幼保小連携教育	49
予算の概要	22

ら

レファレンス (調査・相談) サービス	103
---------------------	-----

交通安全杉並区宣言

近時、車両運行の急激な増加にともない、区内における交通事情は悪化の一途をたどり、事故は日とともに激増の傾向にあることは、まことに憂慮に堪えないところである。杉並区は人命を尊重し、区民の生命財産をまもり、区内における交通事故の絶滅を期するため、これが施策を推進することを決意し、ここに交通安全都市を宣言する。

昭和四十年三月三十一日

杉並区

杉並区平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。いま、私たちの手にある平和ゆえの幸せを永遠に希求し、次の世代に伝えよう。ここに杉並区は、核兵器のなくなることを願い、平和都市を宣言する。

昭和六十二年三月三十日

杉並区

杉並区男女共同参画都市宣言

人は歴史を創り 人は未来を創る
思いやりの心をもとに
男女が 性別を超え 世代を超え
互いに個性や能力を尊重し
さまざまな分野に参画し
心豊かな 明日の世代へ夢をつなげ
平等と平和の輪を広げるため
杉並区は
ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成九年十二月一日

杉並区

杉並区の教育

登録印刷物番号

令和元年度

31-0033

令和元年7月発行

編集・発行 杉並区教育委員会事務局庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 (03) 3312-2111

頒価1,100円

◆杉並区教育委員会公式ホームページ

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/>





支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並